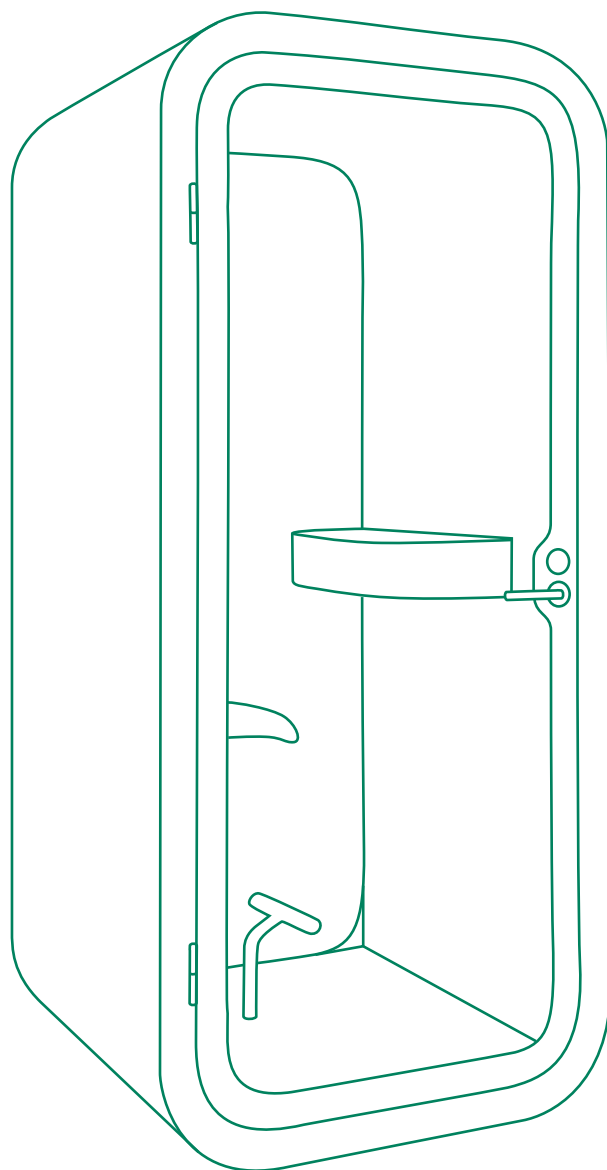


framery

SERIOUS ABOUT HAPPINESS



Framery O Japan
の設置方法

日本語
Version 1.2
Tampere, Finland 13.03.2023

目次

1 保証書チェックリスト.....	5
2 安全と製品に関する重要な注意事項.....	6
2.1 はじめに.....	6
2.2 製品情報.....	6
2.3 著作権について.....	6
2.4 取扱説明書の内容.....	6
2.5 使用目的.....	6
2.6 想定されていない使用法.....	6
2.6.1 使用環境条件.....	7
2.6.2 本取扱説明書に記載されている警告、情報、安全記号について.....	7
2.7 本製品の設置、保守、分解、使用に関する主な安全上のリスク.....	7
2.7.1 設置、メンテナンス、分解.....	8
2.7.2 電気的安全性.....	8
2.7.3 火災時の安全性.....	9
2.7.4 使用法.....	9
2.7.5 キャスターでの移動 (別売).....	11
3 設置条件.....	12
3.1 ツールと付属品.....	12
3.2 主な寸法.....	13
3.3 設置スペース.....	13
3.4 作業スペース.....	14
4 フロアモジュールの水準.....	15
5 ウォールモジュールの設置.....	18
5.1 ウォールカバーパネルの取り外し方.....	18
5.2 ウォールモジュールをフロアモジュールに接続してください。.....	20
6 ルーフモジュールをウォールモジュールに接続.....	23
7 ルーフカバーパネルの外し方.....	25
8 ポッド真直度の確認.....	26
9 テーブルと電子機器の設置.....	29
9.1 シリアル番号の確認.....	29

9.2	テーブルを壁に取り付ける方法.....	30
9.3	電子機器の接続方法.....	31
10	ドアの設置.....	38
10.1	フレーム付きドアの取り付け.....	38
10.2	ドアハンドルの設置.....	43
10.3	コードハンドルの暗証番号設定方法 (別売).....	46
10.4	コードハンドルの取り付け (別売).....	48
10.5	スマートロックドアハンドルの設置.....	50
11	ガラスウォールの設置.....	57
11.1	フロアカバーパネルの設置.....	61
12	インテリアの設置.....	62
12.1	スツールとカーペットの設置.....	62
12.2	カーペットの設置 (スツールなしの場合)	64
13	カバーパネル と電源コードの設置.....	66
13.1	ウォールカバーパネルの設置.....	66
13.2	フロアからの電気コード取付け方法.....	66
13.3	ルーフカバーパネルの設置.....	67
13.4	ボトムボディカバーの設置.....	67
13.5	ルーフボディカバーの設置.....	70
13.6	壁面ボディカバーの設置.....	72
14	スプリンクラーの設置.....	74
15	最終確認.....	76
15.1	ドアの位置確認.....	76
15.2	ドアの高さ調節.....	76
15.3	設置完了.....	80
16	火災報知器の音を聞こえやすくする方法.....	82
17	ポッドの移動 (別売).....	84

1 保証書チェックリスト

本製品の保証を有効にするにあたって：

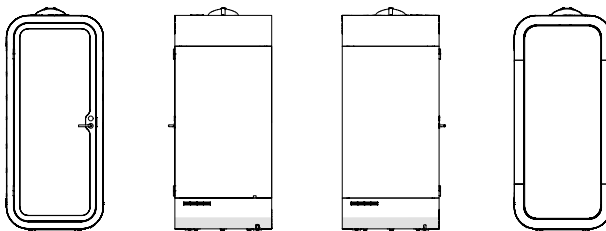
本チェックリストに記入して、ポッド設置後に**Framery**まで送付してください。記入したリストを写真に撮るかスキャンして、**Framery** の warranty@frameryacoustics.com 宛てに送信してください。記入が完了したリストは、ポッドのガラスドアに置いてください。

国名： _____
 市町村： _____
 顧客名： _____
 ポッドのシリアル番号： _____
 SO番号 _____
 設置業者： _____
 設置者名： _____

はい

- ☐ 全てのボルトが指示通りに締め付けられている
- ☐ ポッドが水平で、キャスターの上ではなく、水平調節脚の上に立っている
- ☐ ドアが開いている状態の時、自然に閉まる。または、その状態に止まる
- ☐ ドアの高さは、開口部の真ん中にくるように調節してある
- ☐ ドアハンドルに緩みがなく、取扱説明書通りに取り付けられている
- ☐ ポッドの電源コードが指示通りに接続されている
- ☐ 人がポッドに入ると、照明とファンのスイッチが入る
- ☐ ファンは静かで均一な音がしている
- ☐ ルーフモジュールの換気口からポッド内に空気が流れ込んでいる
- ☐ すべての家具が本取扱説明書通りにきちんと設置されている
- ☐ ドアを閉めるとポッドの換気口から空気が流れ出る
- ☐ 取扱説明書に従ってボディカバーを取り付けている
- ☐ 約8分間使用しない場合、ポッド内の照明が消える

傷など外観上の問題がある場合は、その箇所を丸で囲み、欠陥部分の写真と説明文を保証書に記載のメールアドレス宛に送ってください。



私は、本ポッドが**Framery**の設置手順に従って設置され、ポッドが正しく動作することを確認したことを証明します。

署名および日付: _____

2 安全と製品に関する重要な注意事項

2.1 はじめに

本取扱説明書では、本製品の設置方法を説明しています。本製品を設置する際には、関係者全員がこの設置・安全に関する指示書の内容を読み、理解してください。

本取扱説明書は、正しく設置していただくための必要な情報を記載しています。

2.2 製品情報

本取扱説明書に記載されている情報は、出荷時の本製品に対応しています。本取扱説明書に記載されているすべての情報は、発行時に有効です。

2.3 著作権について

本資料は、Frameryの明示的な許可なく、複製、提示、または第三者へ提供してはいけません。本資料をFrameryが許可した目的以外に使用することは禁止されています。Frameryは、別途通知することなく、本製品に関する説明を変更する権利を有します。

2.4 取扱説明書の内容

設置に関する取扱説明書には、以下の情報が記載されています。

- 取扱説明書の目的と内容に関する一般的な情報
- 安全に関する情報
- 設置方法

2.5 使用目的

Framery Oは、一度に1人の人が屋内で短期的に使用することを目的としたポッドです。

 **警告：** 警告－火傷、火災、感電、人身事故などの危険を避けるため、以下の注意事項に従ってください。

本製品は、取扱説明書に記載されている使用目的以外には使用しないでください。メーカーが推奨していない付属品は使用しないでください。

2.6 想定されていない使用法

設置、メンテナンス、トラブルシューティングをはじめ、本取扱説明書で明確に許可されていない本製品の使用やメンテナンスは、以下を含めて禁止されています：

- これらの行為に関する指示を読み理解することなく、ポッドの設置、メンテナンス、または分解を行うこと

- 使用限度を超えたポッドの使用
- ポッドの改造
- 明らかな欠陥や損傷があるにも関わらず、ポッドを使用する行為
- 屋外又は、温度や大気環境が安全でない状況でのポッドの使用
- 本製品の上に登ったり、本製品の屋根に荷物を載せる行為
- ポッド内での喫煙

2.6.1 使用環境条件

本ポッドは、以下の条件での使用を想定しています:

- 周囲温度 : +15°C ... +30°C (59°F ...86°F)
- 湿度 : 最大 50%
- 本製品の周囲に十分な空気環境が整っていること

2.6.2 本取扱説明書に記載されている警告、情報、安全記号について

本取扱説明書に記載されている警告は、以下の2つに分類されています:

- 「危険」とは、回避しないと死亡または重傷を負う可能性がある危険な状況を示しています。
- 「警告」は、回避しなければ死亡または負傷につながる可能性のある危険な状況を示しています。

本取扱説明書に記載されている安全記号は、本製品にも記載されています。本製品の設置、分解、メンテナンス、使用を行うすべての人は、作業に関するすべての安全記号、ラベル、指示を熟知し、遵守しなければなりません。

表 1: 危険

	色付きの三角形の中にある感嘆符のマークは、危険な状況を示しています。
	

表 2: 必須事項

	色月の円の中にある白色のマークは、危険な状況を回避するために取らなければならない行動を示しています。
---	--

表 3: 禁止事項

	斜めの線入りの円マークは、許可されていない行為を示しています。
---	---------------------------------

2.7 本製品の設置、保守、分解、使用に関する主な安全上のリスク

2.7.1 設置、メンテナンス、分解

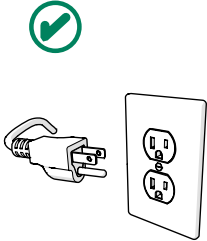
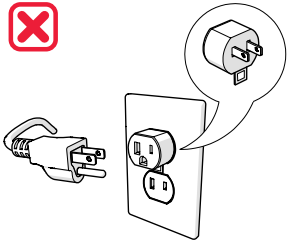
	警告! 火傷、火災、感電、人身事故などの危険を避けるため、以下の注意事項に従ってください:
	本製品の設置、メンテナンス、分解の際には、耐切創性のある安全手袋を使用してください
	本製品の設置、メンテナンス、分解の際には、つま先がスチール製の安全靴を使用してください。
	本製品の設置、メンテナンス、分解の際には、安全眼鏡を使用してください。
	取扱説明書を読んで理解し、事前に作業計画を立ててください。
	職場の安全に関するお住い地域の規則や規制をすべて遵守してください。
	設置、メンテナンス、分解の各工程において、作業現場を整理整頓し、ゴミのない状態にしてください。
	本製品の上に登ったり、本製品の屋根に荷物を載せたりしないでください。
	別売のキャスターをつけていない状態で、完成品を押して移動させないでください。 本製品は非常に重いため、組立後に別売のキャスターが無い状態で移動させるのは、かなりの力が必要になります。完成品 (別売のキャスターを使用しない場合) を分解・再組立せずに移動する場合は、本製品の移動を担当する者が現場でリスクアセスメントを行ってください。

2.7.2 電気的安全性

電気系統入力：100-240 VAC (10 A) 50-60 Hz

電気系統の最大負荷は6.6Aです。

	危険! 感電の危険を避けるために、以下の注意事項に従ってください:
	クリーニング、メンテナンス、分解の作業を始める前に、電源コードをコンセントから抜いてください。 電源コードは、プラグ着脱可能な機器の電源切断装置として機能します。電源コンセントは機器の近くにあり、簡単に使用できるものでなければなりません。

	警告! 火傷、火災、感電、人身事故などの危険を避けるため、以下の注意事項に従ってください:
	電源コードは適切に接地されたコンセントにのみ接続してください。
	本製品は、120ボルトの回路で使用され、下図のようなアースプラグが付いています。プラグと同じ形状のコンセントに接続されていることを確認してください。本製品にはアダプターを使用しないでください。  
	本製品の電源コードを加熱面に近づけないでください。
	電気機器に不具合や損傷がある場合は、本ポッドを使用しないでください。
	本機の電源コンセントに延長コードを接続しないでください。

2.7.3 火災時の安全性

Framery Oの火災荷重は、約3200MJです。

	警告! 火傷、火災、感電、人身事故などの危険を避けるため、以下の注意事項に従ってください:
	本製品内部で火災が発生した場合、安全に実行できる場合は、電源コードをコンセントから抜いてください。 電源コードは、プラグ着脱可能な機器の電源切断装置として機能します。電源コンセントは機器の近くにあり、簡単に使用できるものでなければなりません。

本ポッド内に火災安全装置 (警報器、スプリンクラーなど) を設置することも可能です (説明書はご要望に応じて提供いたします)。本ポッド内のエンドデバイスの必要性は、常に、該当する地方自治体によって決定されます。

2.7.4 使用法

テーブルの最大荷重は、60kgです。

Tovi スツールの最大荷重は、136kgです。

	警告! 火傷、火災、感電、人身事故などの危険を避けるため、以下の注意事項に従ってください:
	ご使用になる前に、使用説明書をよく読んで理解してください。
	❗ 注: 以下の注意事項は、日本国内での使用に適用されます。 本機器は、お子様がいると想定される場所での使用には適していません。
	❗ 注: 以下の注意事項は、他のすべての国での使用に適用されます。 本製品をお子様や病人、障がい者が使用する場合、あるいはお子様や病人、障がい者の近くで使用する場合は、厳重な管理の下で使用しなければなりません。 拡張されたフットサポート（またはその他の類似部品）に小さいお子様を近づけないでください。
	傷害の危険性!電動式高さ調整テーブルの天板を上下するときは、テーブルの側縁に手や体の一部を近づけないようにしてください。これは、電動調整式テーブルを備えたすべてのFrameryのポッドに適用されます。
	周囲の空気を利用して、ポッド内の空気を循環させています。周りの環境が少しでも危険な場合は使用しないでください。
	換気が機能していない場合は、使用しないでください。
	換気口がふさがれている場合は、使用しないでください。換気口に糸くずや髪の毛などが付着しないようにしてください。
	電気機器に異常がある場合や、本製品が正常に動作しない場合は、ポッドを使用しないでください。速やかに電源コードをコンセントから外し、お近くの販売店または製造元に連絡してください。
	本取扱説明書で特に指示されていない場合、開口部に物を落としたり挿入したりしないでください。
	屋外では使用しないでください。
	エアロゾル（スプレー）製品を使用している場所や、酸素を投与している場所では使用しないでください。
	本製品の上に登ったり、本製品の屋根に荷物を載せたりしないでください。

	本製品に寄りかからないでください。
	本製品の中では喫煙しないでください。
	建築物に設置されている警報機や通路誘導等などがポッド内から目視出来なくなる様なもの(ポスター、カーテン、ブラインドなど)は、フロント又は、バックガラスに貼らないでください。

2.7.5 キャスターでの移動 (別売)

	警告! 本製品は非常に重いです。キャスターで本製品を移動させるには、計画性と注意力が必要です。移動中に本製品が転倒しないようにしてください。
	本製品は平らな場所だけで移動させてください。移動したい経路上に 3mm (1/8 インチ) 以上の亀裂や段差がないようにしてください。
	本製品を移動するときは、垂直方向の真ん中より下を押してください。本製品を牽引しないでください。
	本製品がキャスターのみで立っている状態の時には、中に入らないでください。本製品を移動する際に限り、キャスターを使用してください。移動後は直ちに水平調節脚で製品を固定してください。

3 設置条件

3.1 ツールと付属品

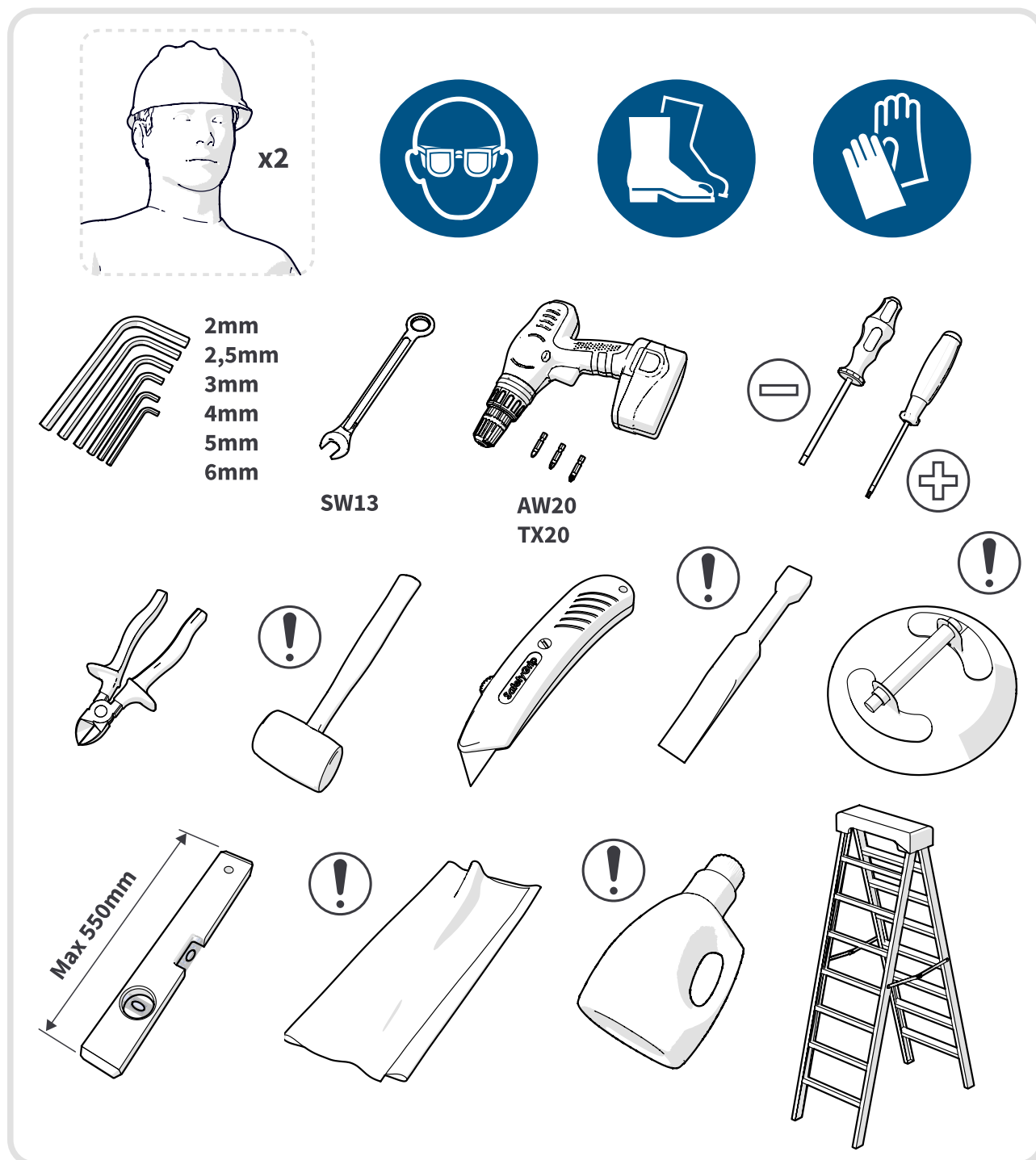


図 1：設置とメンテナンスに必要なツールと付属品

- ❗ 注：ボディカバーに跡が残らないように、白色のゴム槌を使用してください。
- ❗ 注：プラスチック製のノミを使って、ボディカバーを取り外してください。
- ❗ 注：本ポッドの清掃には、リントフリー布を使用してください。

- ① 注：本ポッドの洗浄には、アルコール系の低刺激性の洗浄液を使用してください。
- ① 注：ガラスウォールを持ち上げる際は、吸着カップを使用してください。

3.2 主な寸法

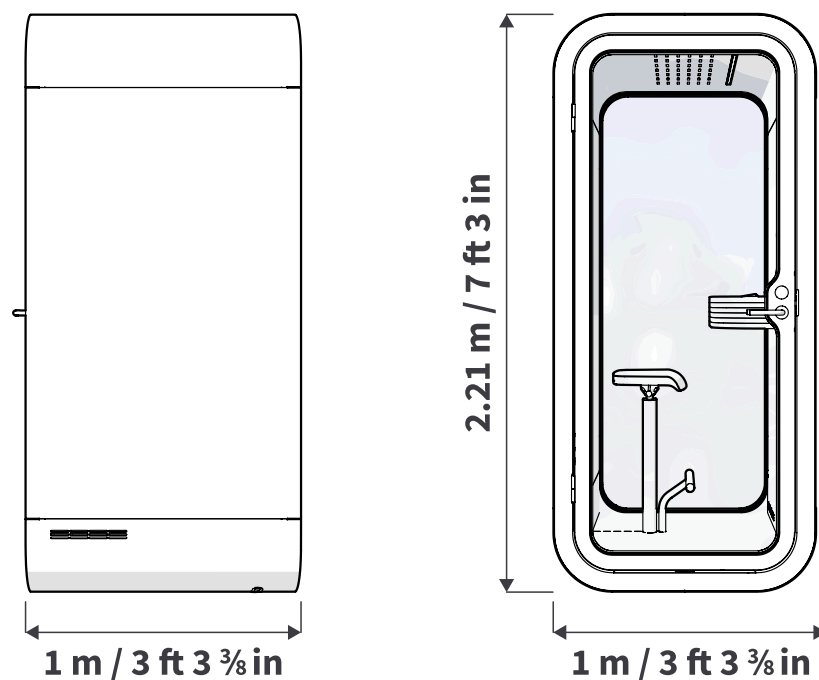


図 2：主な寸法

3.3 設置スペース

設置する前に、十分な設置スペースがあることを確認してください。ポッド後方には0.3mのスペースを確保してください。

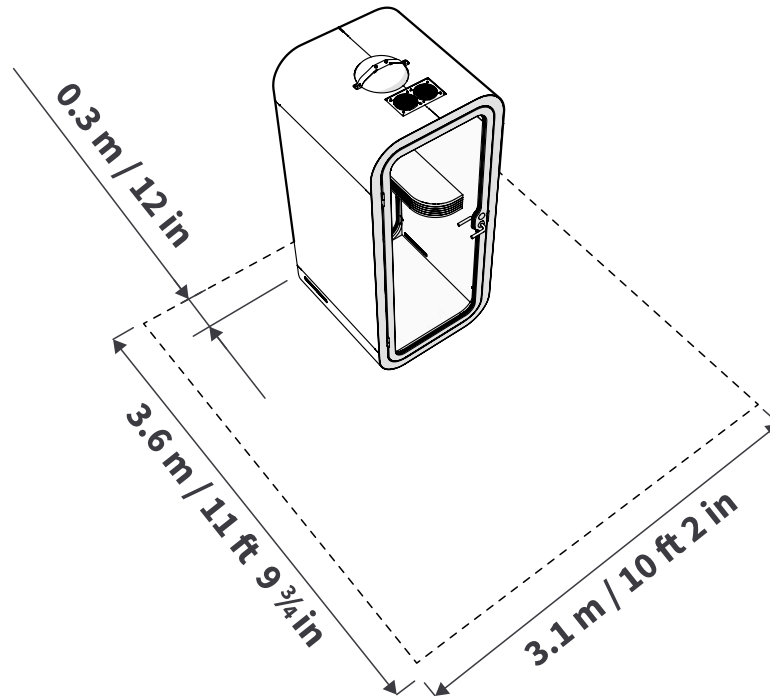


図 3 : 設置スペースの確保

3.4 作業スペース

空気を正しく循環させるために、ポッド周辺に十分なスペースがあることを確認してください。

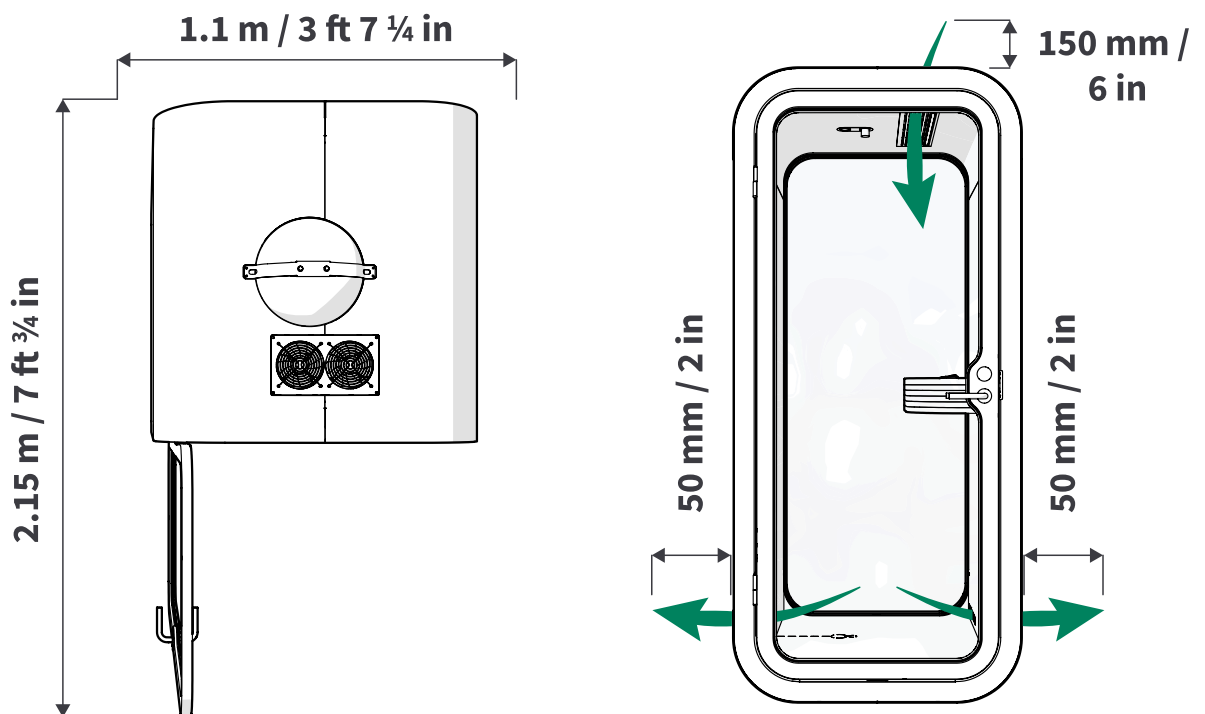
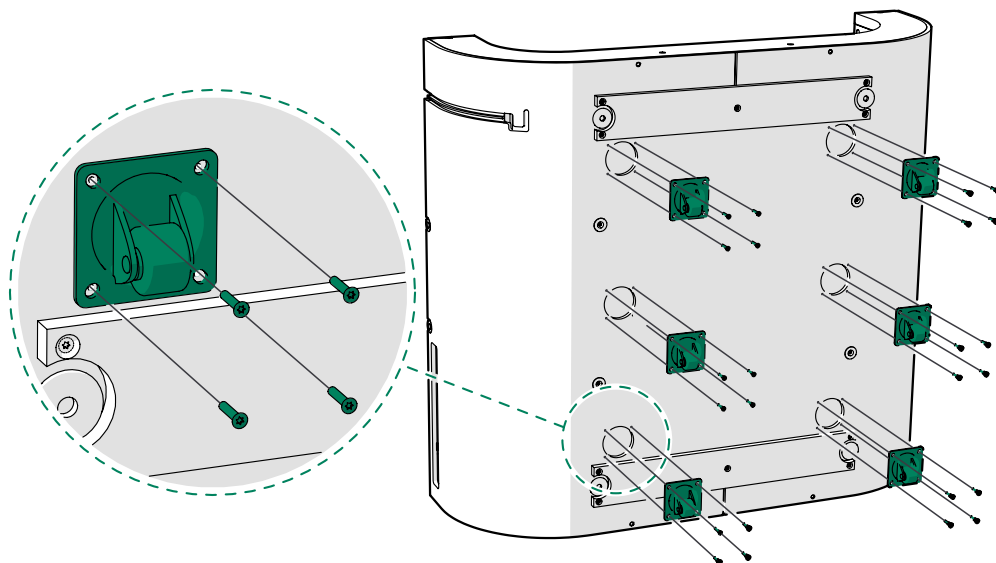


図 4 : 作業スペースの測定

4 フロアモジュールの水準

地震対策用アンカーの説明書をご希望の場合は、お気軽にお申し付けください。

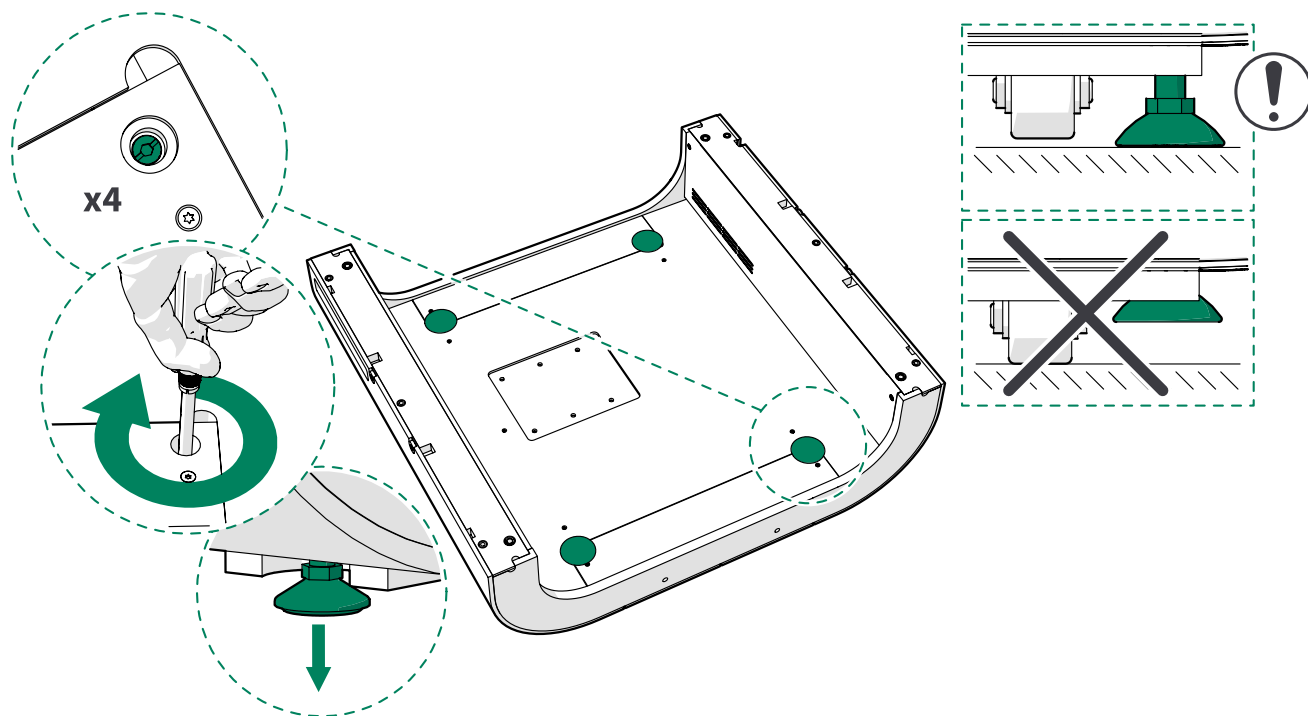
1. キャスター (6個) を5x25のネジ (各4個) で取り付けてください。



2. 4mmの六角レンチまたは6mm～7mmのマイナス ドライバーを使用して、水平調節脚 (4 本) をねじ込んでください。

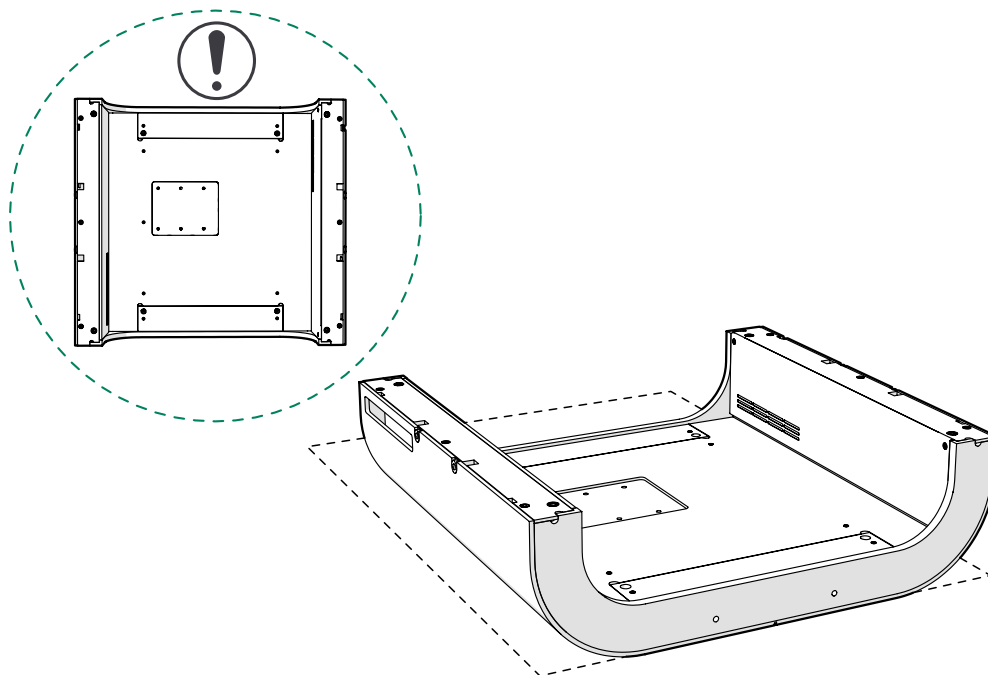
水平調節脚が床に届いたら、調節ネジを回すのが重くなります。

- ❗ 注：水平調節脚が床板より高くなるように調節してください。
- ❗ 注：別売のキャスターが取り付けられている場合は、水平調節脚がキャスターよりも少し高く出ているか、キャスターが回転できないことを確認してください。



3. フロアモジュールを最終的な設置場所に配置してください。
フロアモジュール後方には、約0.3mの空きスペースを確保してください。

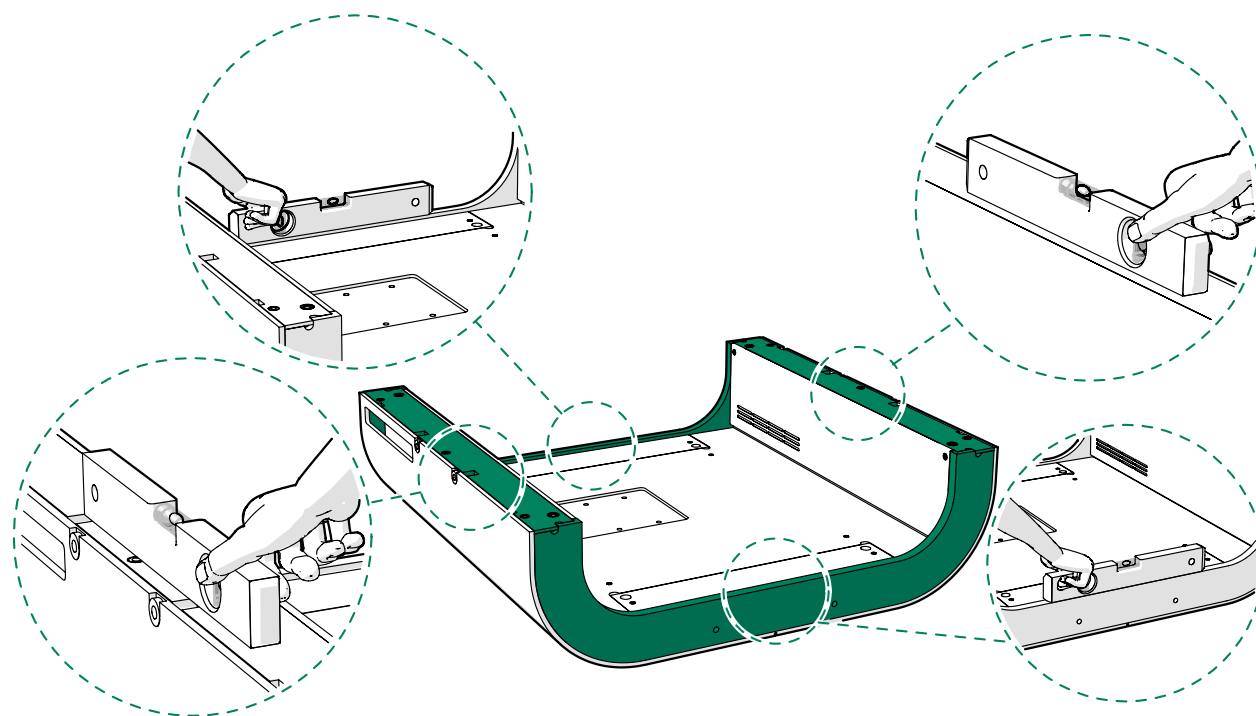
❗ 注：スツール取り付け用の切り込みは、ポッドの裏側にあります。



4. 水準器を使ってフロアモジュールを4カ所で測定してください:

- 右側と左側の壁の上
- フロアモジュールの端にあるABSストリップ

反対側を繰り返し測定し、水平調節脚を少しずつ調節してください。



5 ウォールモジュールの設置

5.1 ウォールカバーパネルの取り外し方

1. ウォールモジュールを壁に対して縦に置いてください。

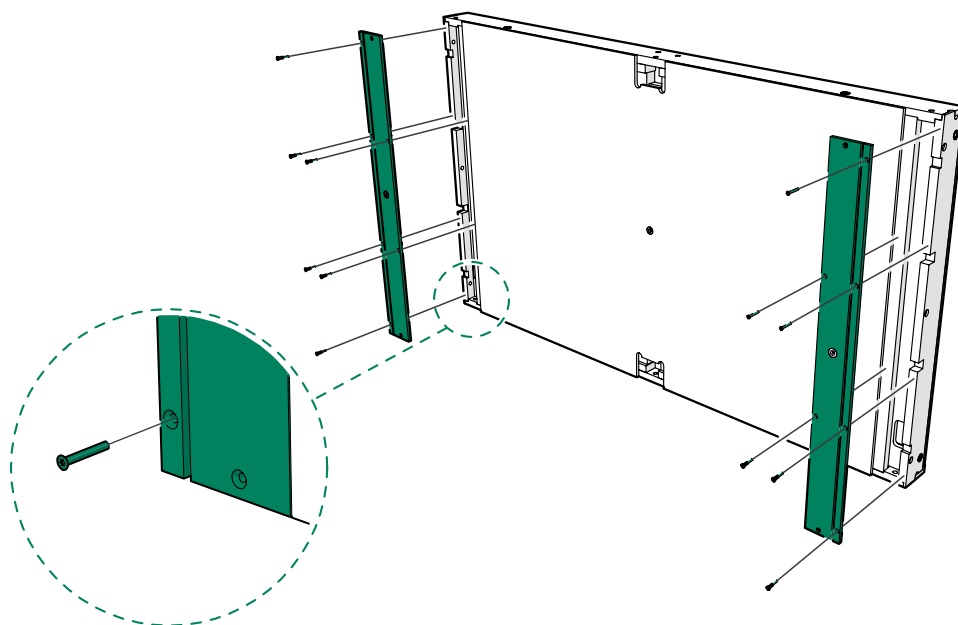


警告：ウォールモジュールが倒れないようにしてください。

2. 4x30のネジ（24個）を外し、カバースプレートを（4個）を取り外してください。カバースプレートのネジは、近くに置いてください。

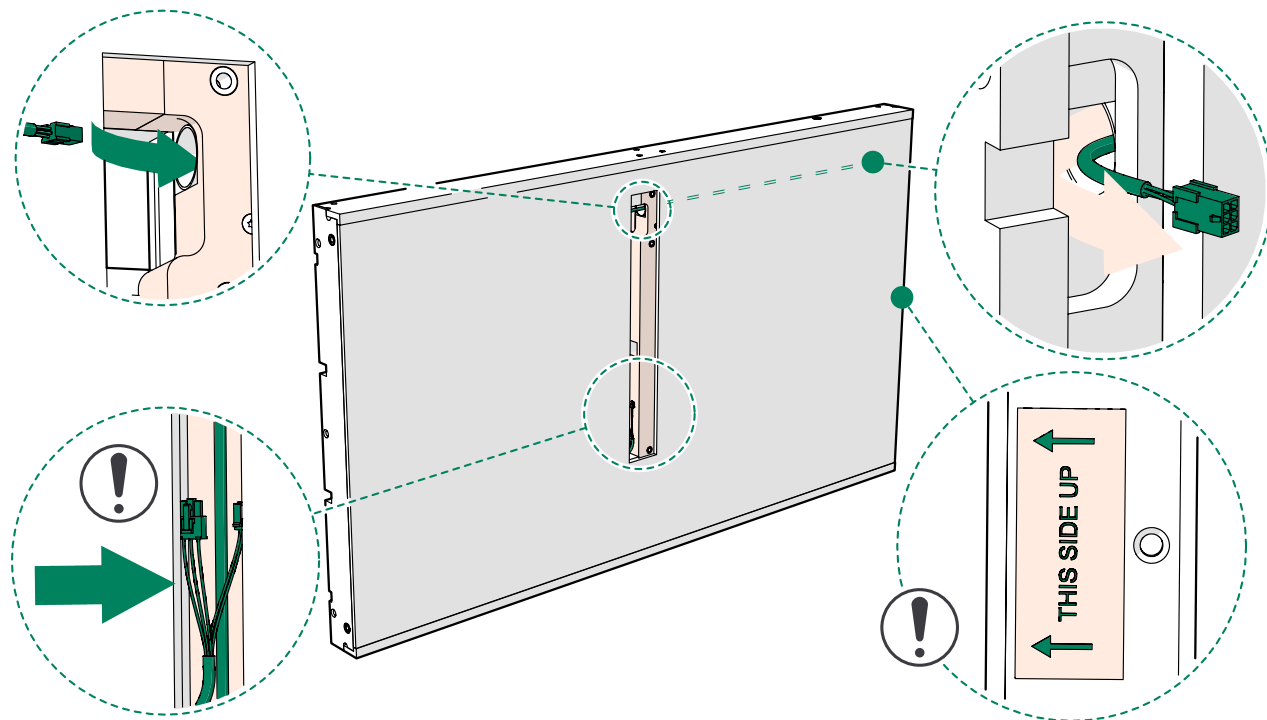


注：必要に応じて、4x30のネジ（4個）を外し、小さい方のカバーパネル（2枚）を取り外してください。



3. 延長コードをウォールモジュール内の電気配管に通し、ウォールモジュールの反対側の開口部から出します。

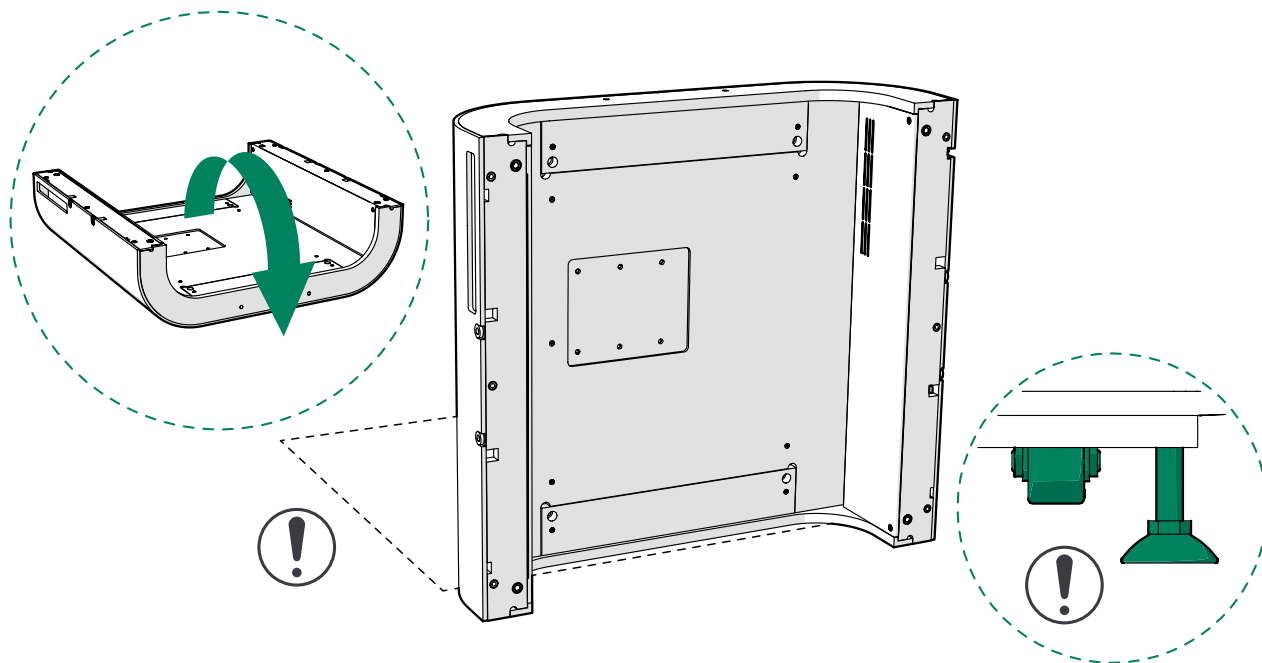
- ❗ 注：コードを「**This side up**(天地無用)」のシールがある側のウォールモジュールの端に通します。
- ❗ 注：コードのもう一方の端をウォールモジュールの開口部に置きます。



5.2 ウォールモジュールをフロアモジュールに接続してください。

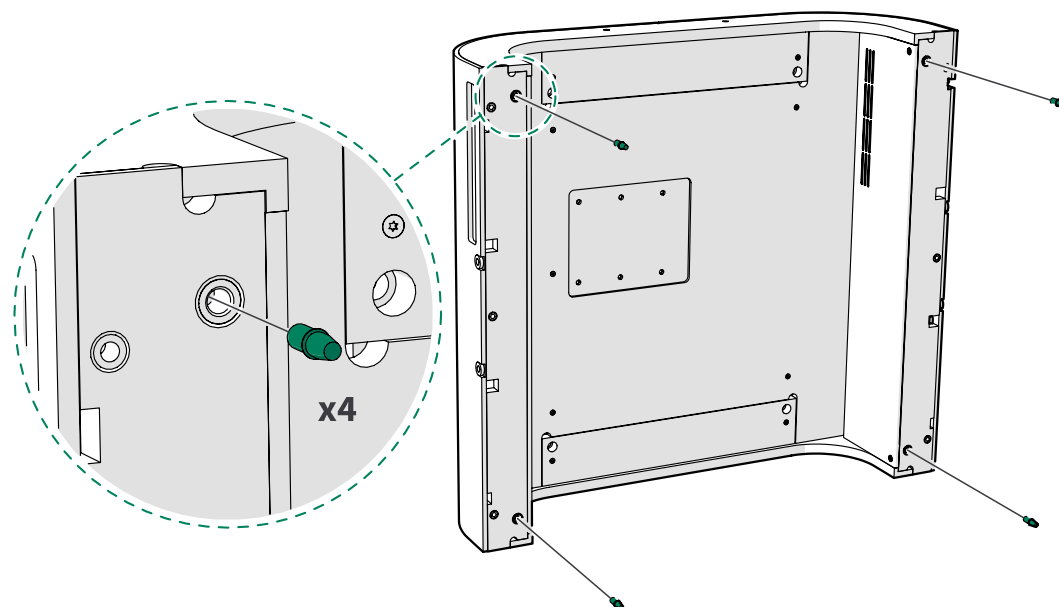
1. フロアモジュールを持ち上げて横向きにしてください。

- ❗ 注：設置したい場所からフロアモジュールを移動させないでください。
- ❗ 注：フロアモジュールの前面がフロアに接していることを確認してください。
- ❗ 注：水平調節脚がキャスターよりも少し高く出ているのを確認してください。



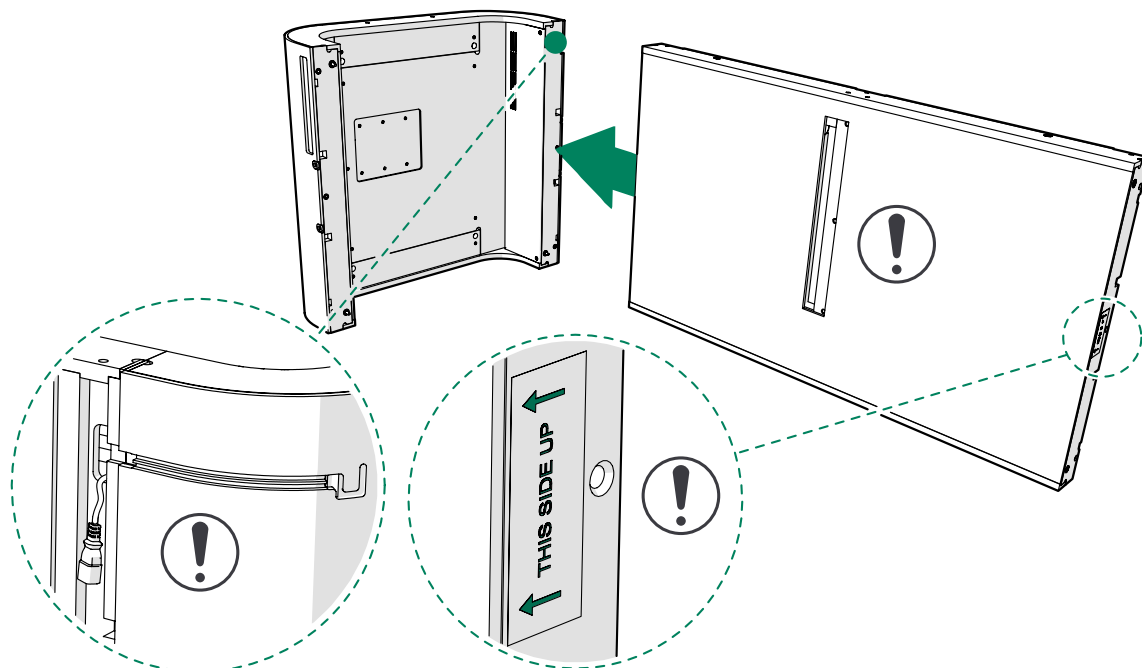
2. ガイドピン (4個) をフロアモジュールの取り付け穴に取り付けてください。

- ❗ 注：ガイドピンの平らな面が取り付け穴に入ることを確認してください。

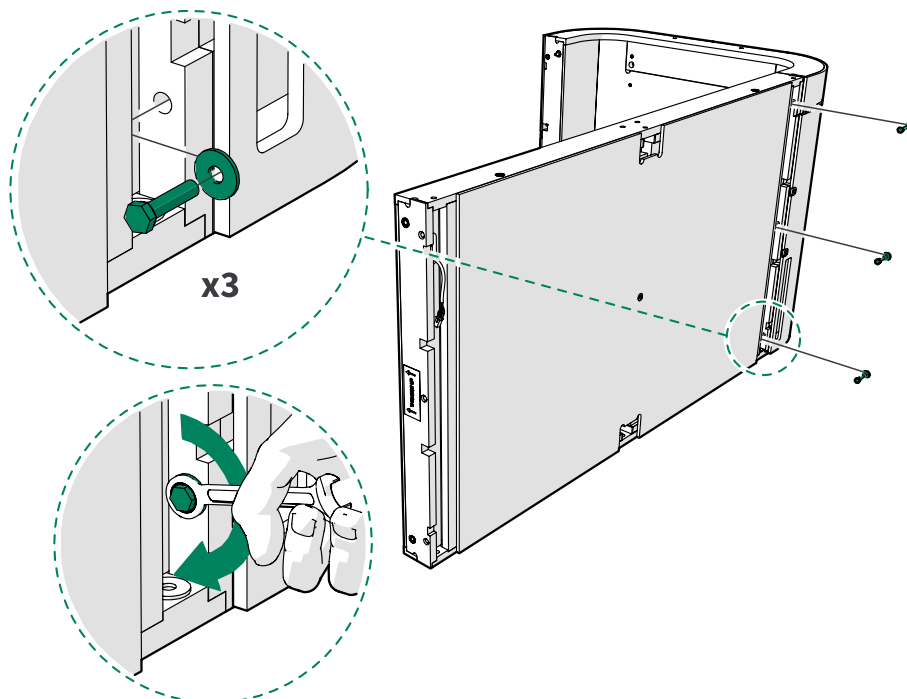


3. テックウォールモジュールを丁寧に押し込んでください。

- ❗ 注：「**This side up**」のシールが上向きで、矢印がポッド内側に向いていることを確認してください。
- ❗ 注：フロアモジュールの正しい面にテックウォールモジュールを取り付けてください。

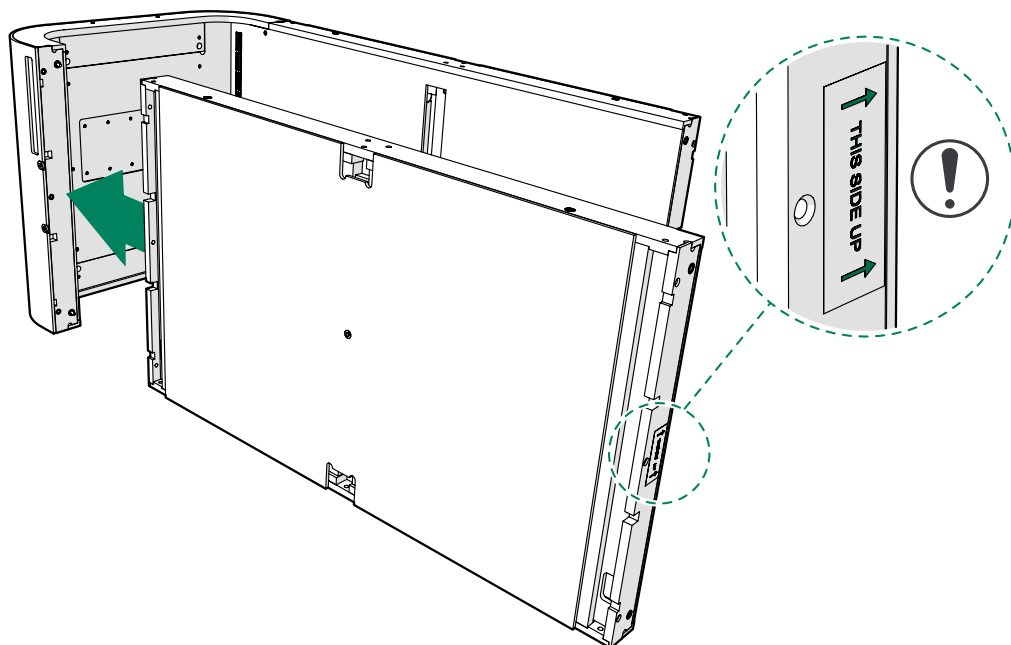


4. M8x35ボルト (3本) とM8ワッシャー (3個) を使ってテックウォールモジュールを取り付けてください。

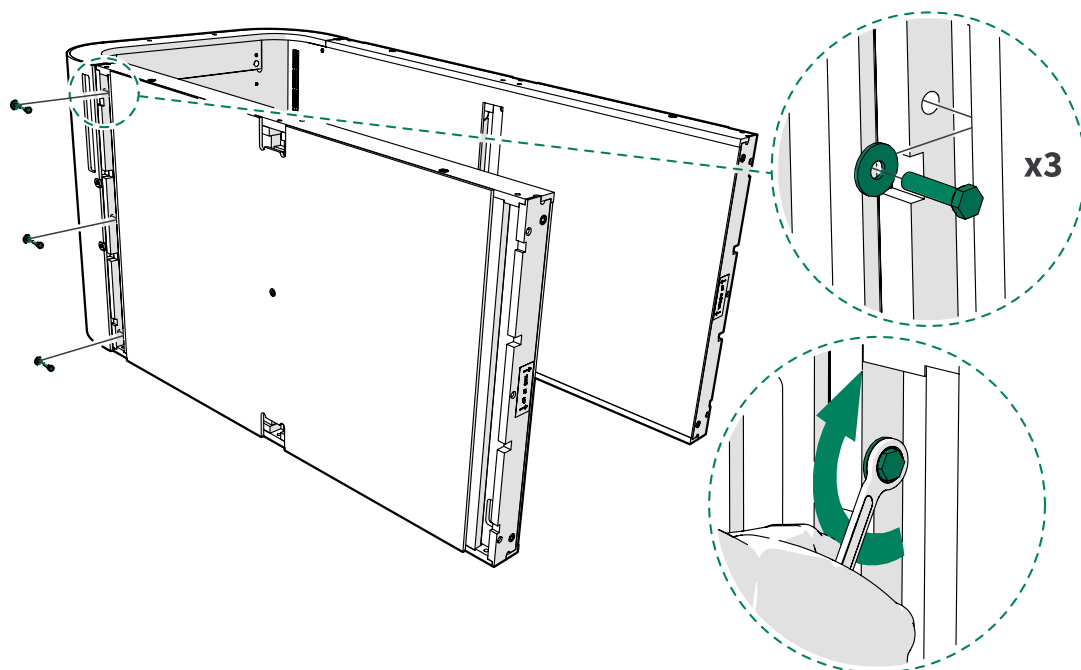


5. ブランクウォールモジュールを丁寧に押し込んでください。

- ① 注：「**This side up**」のシールが上向きで、矢印がポッド内側に向いていることを確認してください。
- ① 注：blankウォールモジュールをフロアモジュールの正しい面に取り付けてください。電気チャンネルは、フロアモジュールの反対側にあります。



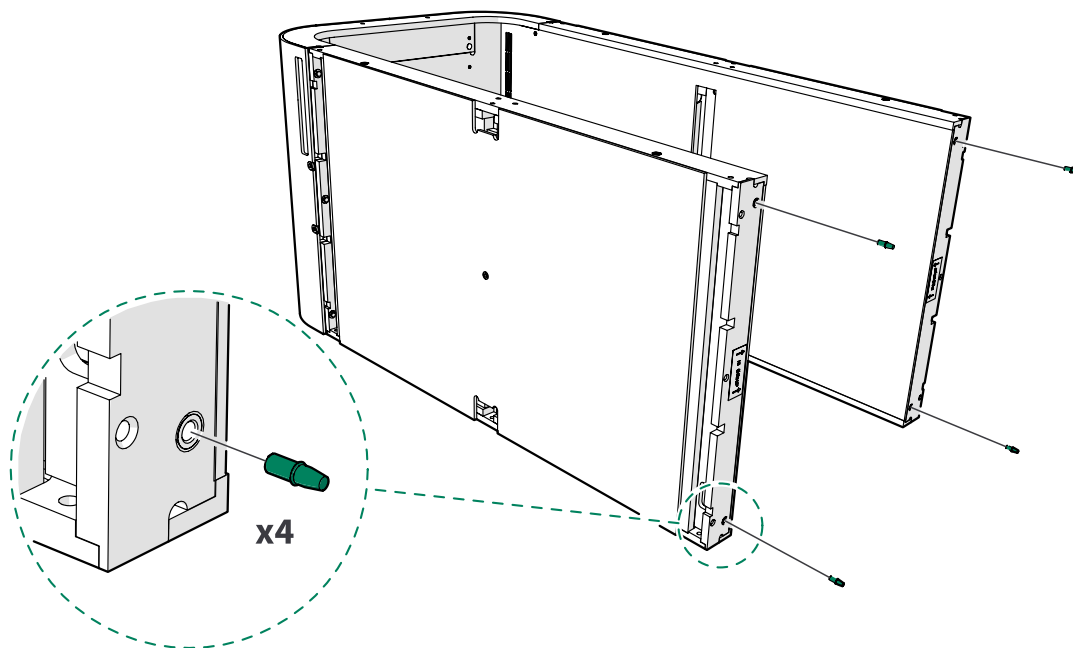
6. M8x35ボルト (3本) とM8ワッシャー (3個) を使ってblankウォールモジュールを取り付けてください。



6 ルーフモジュールをウォールモジュールに接続

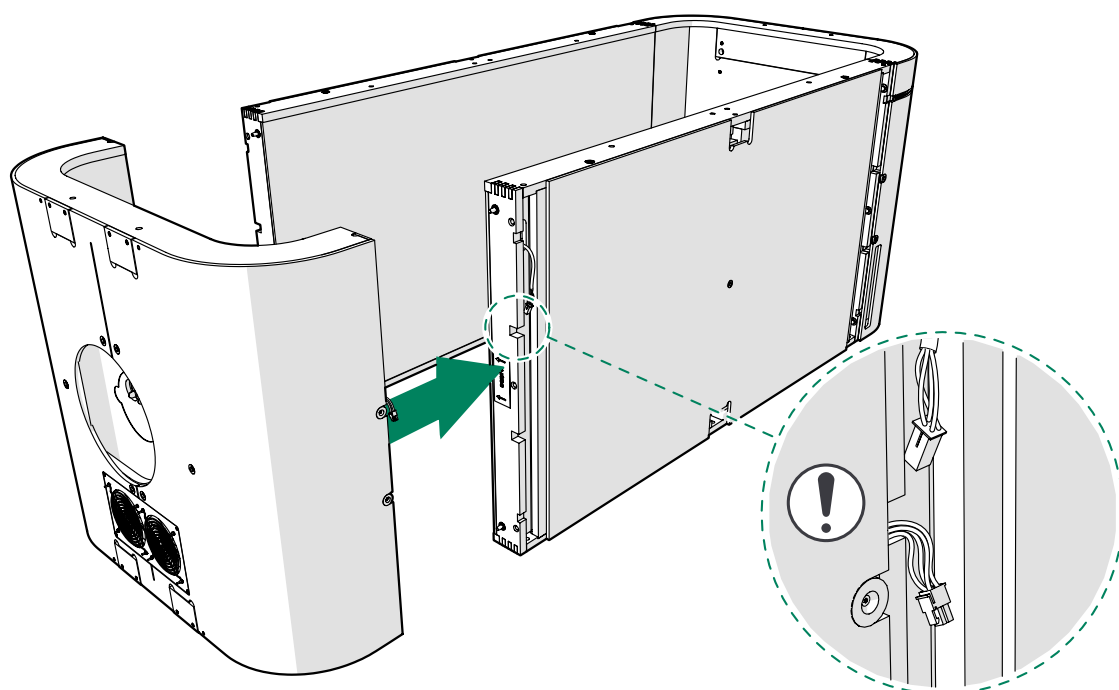
1. ガイドピン（4個）を壁の端にある取り付け穴に取り付けてください。

ⓘ 注：ガイドピンの平らな面が取り付け穴に入ることを確認してください。

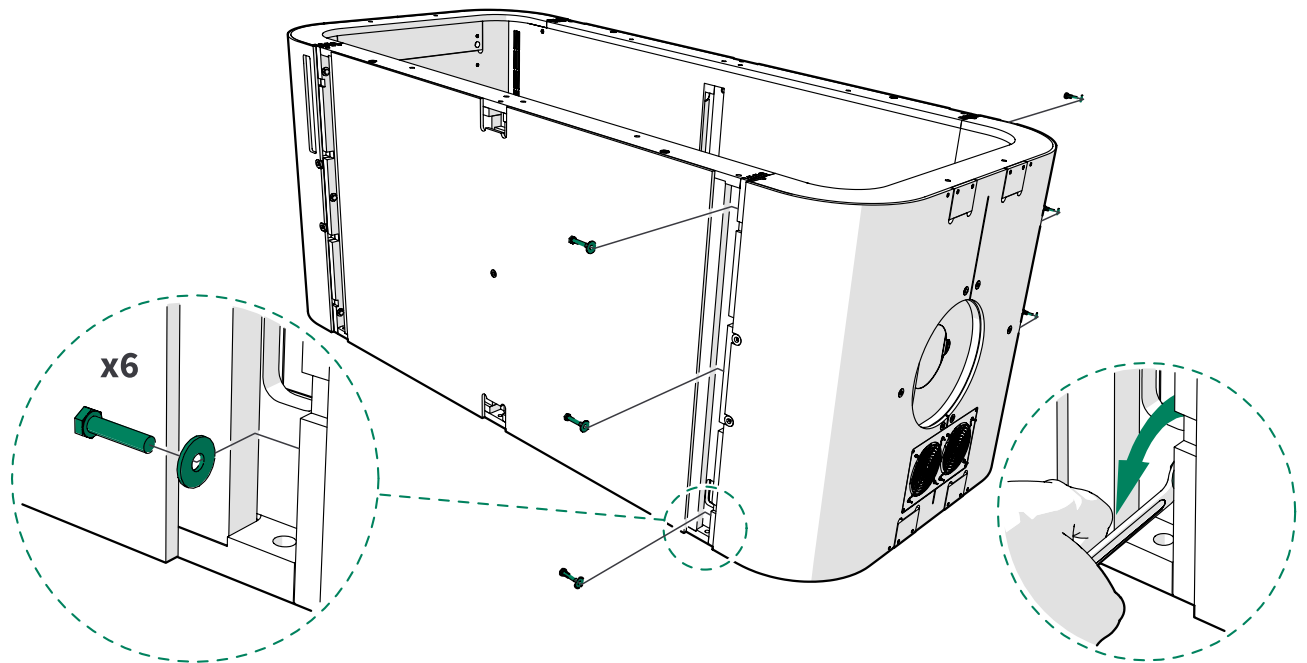


2. ルーフモジュールを丁寧に押し込んでください。

ⓘ 注：ルーフモジュールのコードがワイヤチャネルの中に入っていることを確認してください。ウォールモジュールのコードがモジュールの間に入っていないことを確認してください。

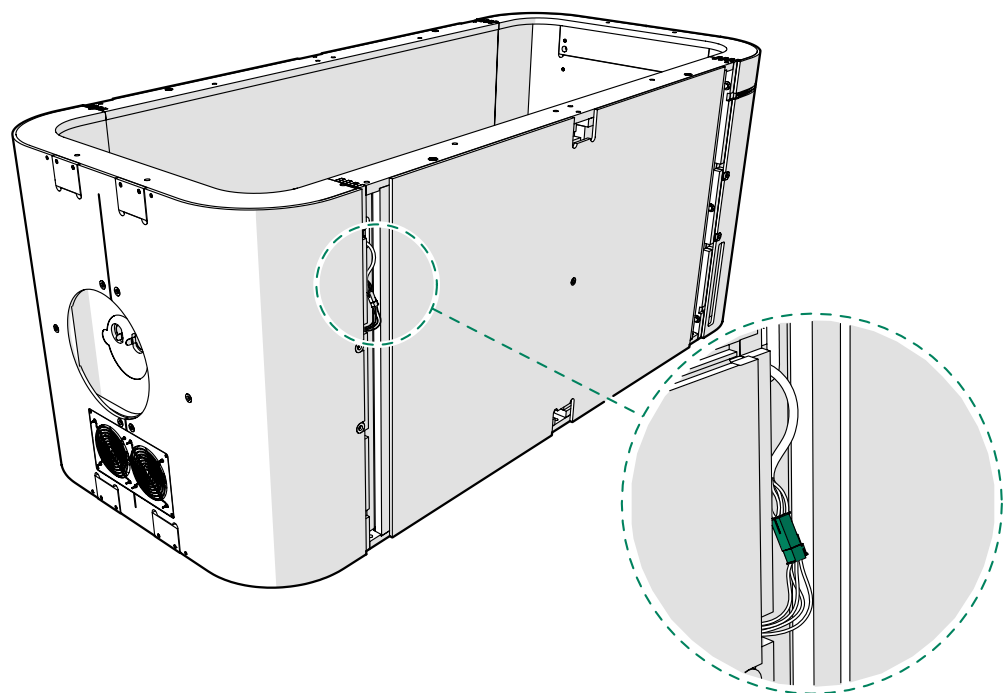


3. M8x35ボルト（片側3本ずつ）とM8ワッシャー（片側3本ずつ）を取り付けてください。



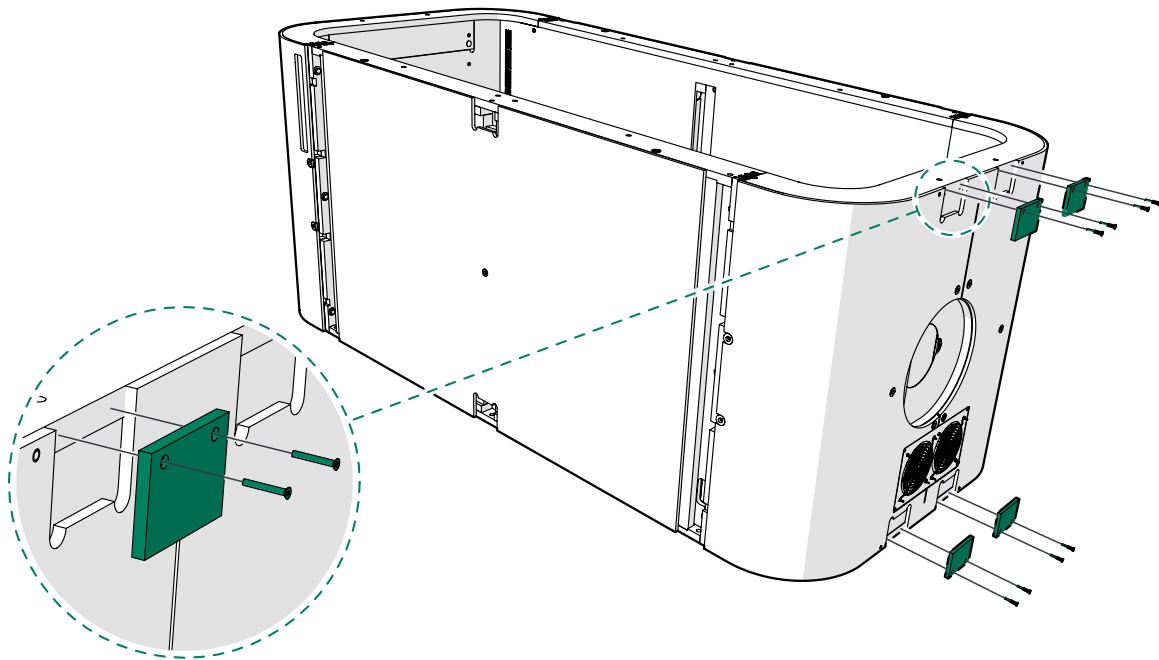
4. ルーフモジュールから出ているDCコードを、テックウォールのDCコードに接続してください。

❗ 注：ルーフモジュールのコードがワイヤチャネルの中に入っていることを確認してください。



7 ルーフカバーパネルの外し方

4x30のネジ（4個）を外し、ルーフカバーパネル（2枚）を取り外してください。カバープレートとネジは、近くに置いてください。



8 ポッド真直度の確認

1. ポッドを持ち上げてください。



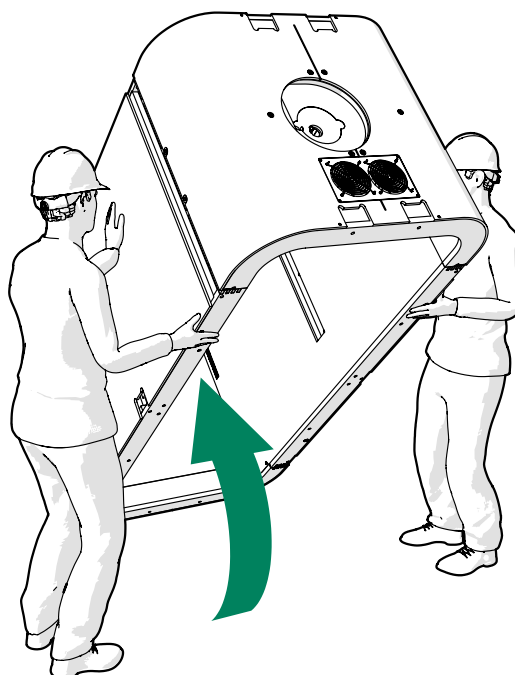
警告： この製品はとても重いので、怪我の危険性があります。ポッドを持ち上げる際には、**2人**で持ち上げてください。



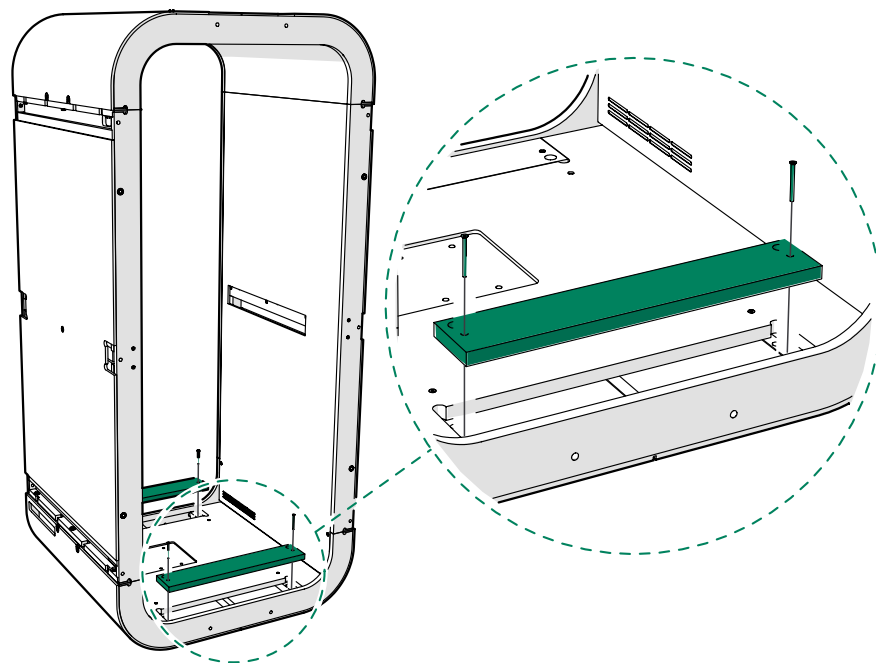
持ち上げる前に入念な計画をしておいてください。持ち上げや作業場の安全に関しては、お住いの地域の安全に関する指示に従ってください。



注： ポッドをルーフモジュールから持ち上げないでください。

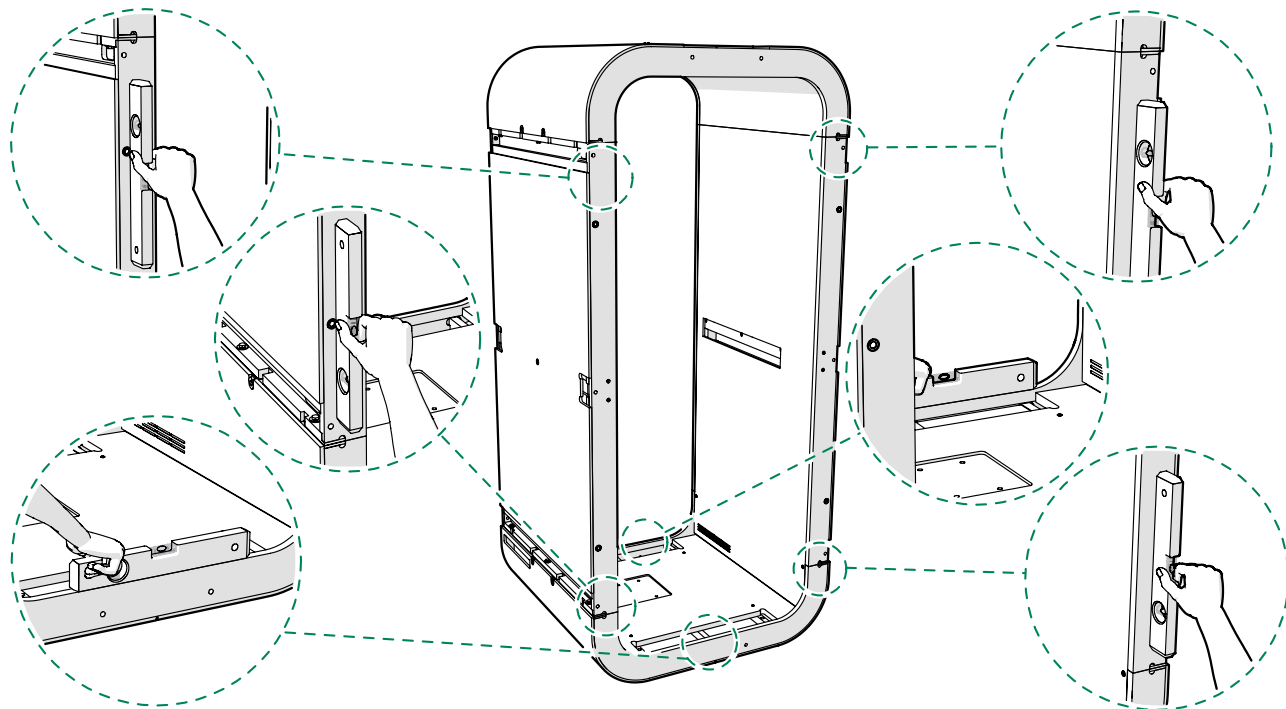


2. 5x60 のネジ（4個）を外し、フロアカバーパネル（2枚）を取り外してください。カバープレートとネジは、近くに置いてください。



3. フロントフレームの6つの測定点に水準器を当てて、フロアモジュールが水平になっているか確認してください。

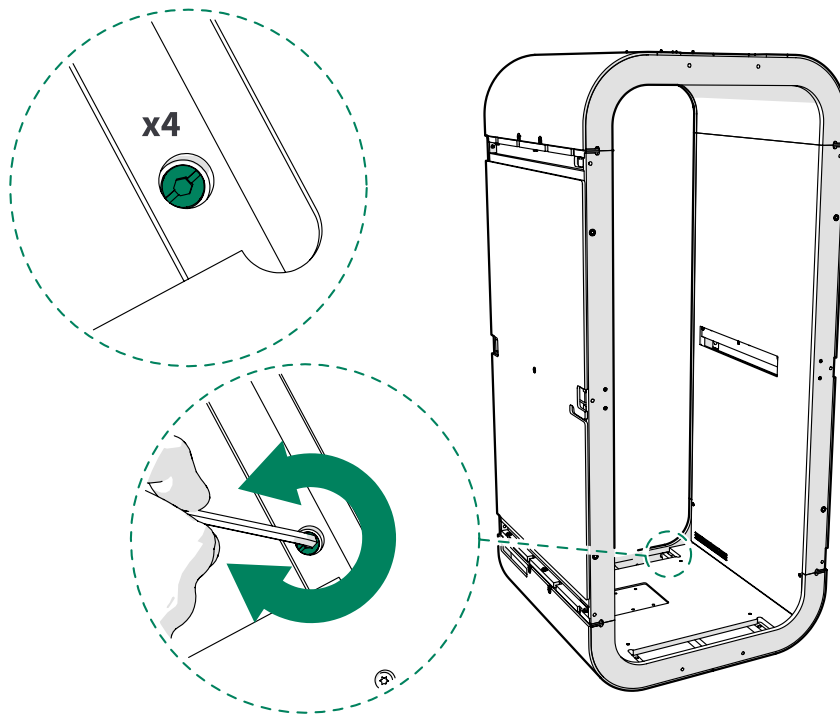
- ポッドの前面のフロアとウォールモジュール接合部の若干上の部分（両側）
- ポッドの前面のルーフとウォールモジュール接合部の若干下の部分（両側）
- ポッドの前と後ろのフロアモジュールの端（ABSストリップ上）



4. モジュールが傾いている場合は、フロアモジュールにある水平調節脚で調整してください。

水平調節脚がキャスターよりも少し高く出ているのを確認してください。

❗ 注：反対側を繰り返し測定し、水平調節脚を少しずつ調整してください。



9 テーブルと電子機器の設置

9.1 シリアル番号の確認

テーブルの底板に貼られたシールの製造番号と、保証書の製造番号が一致していることを確認してください。

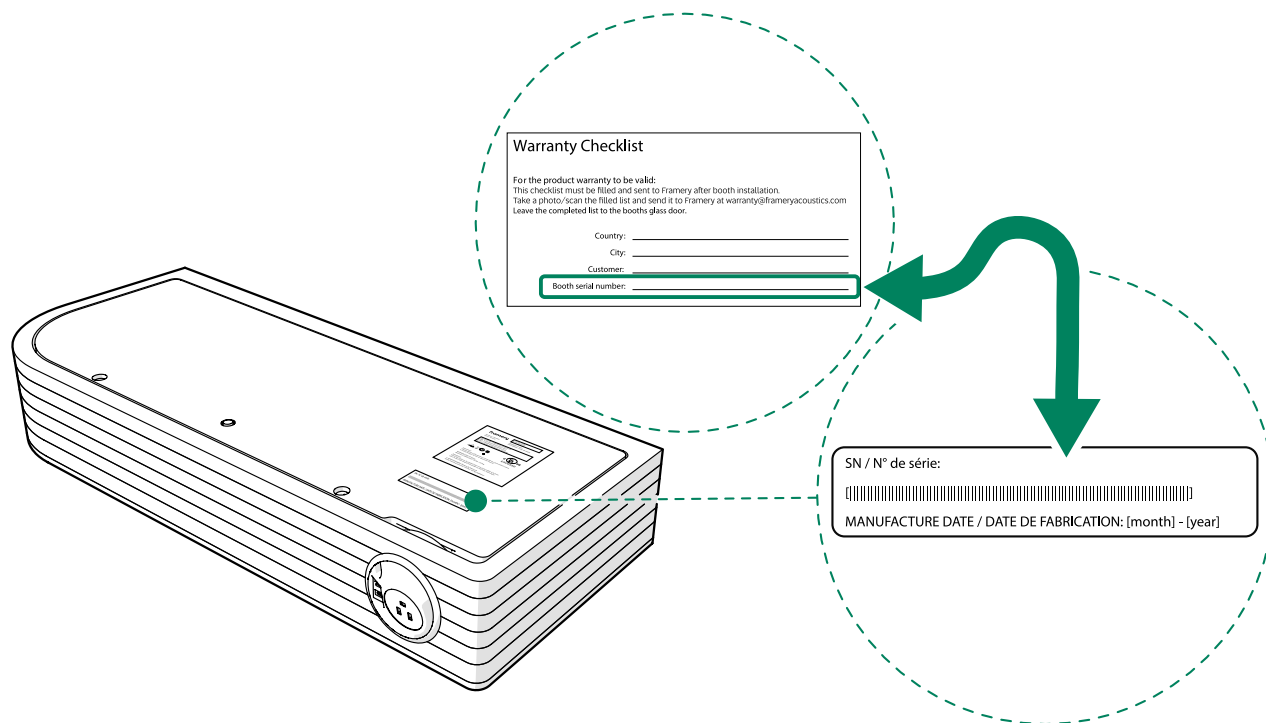


図 5: スタンダードテーブルのシリアル番号

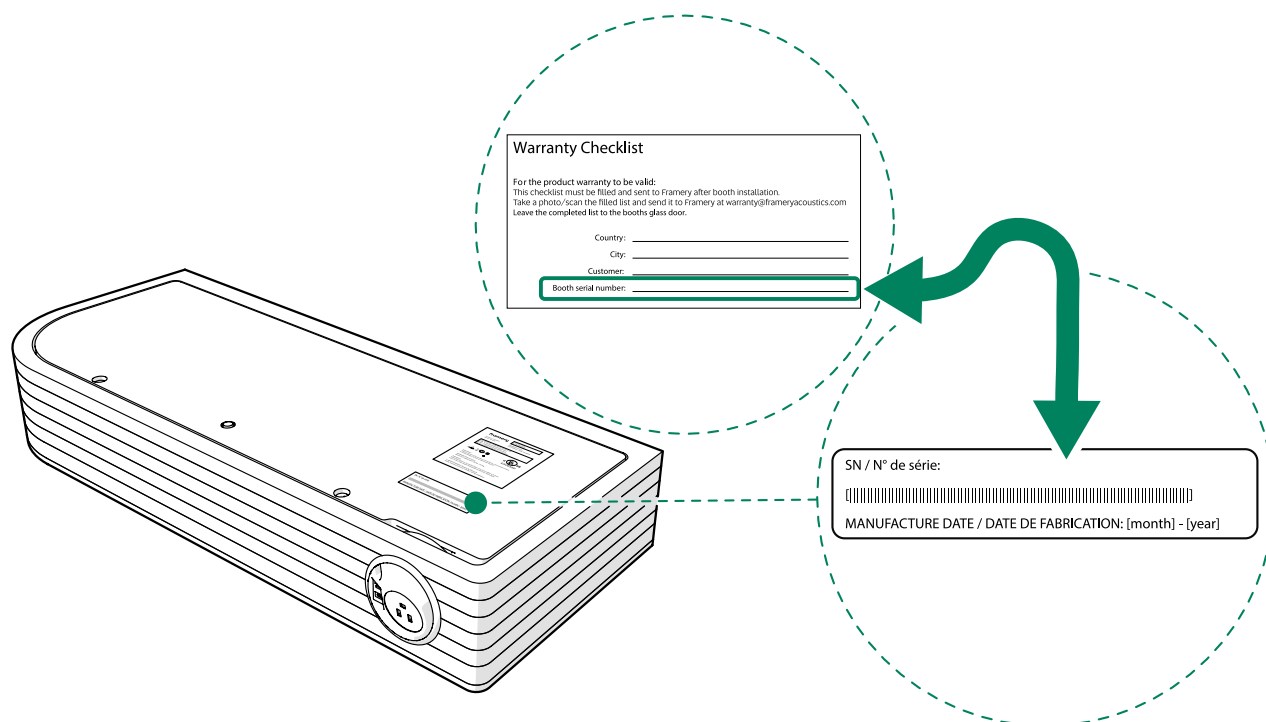
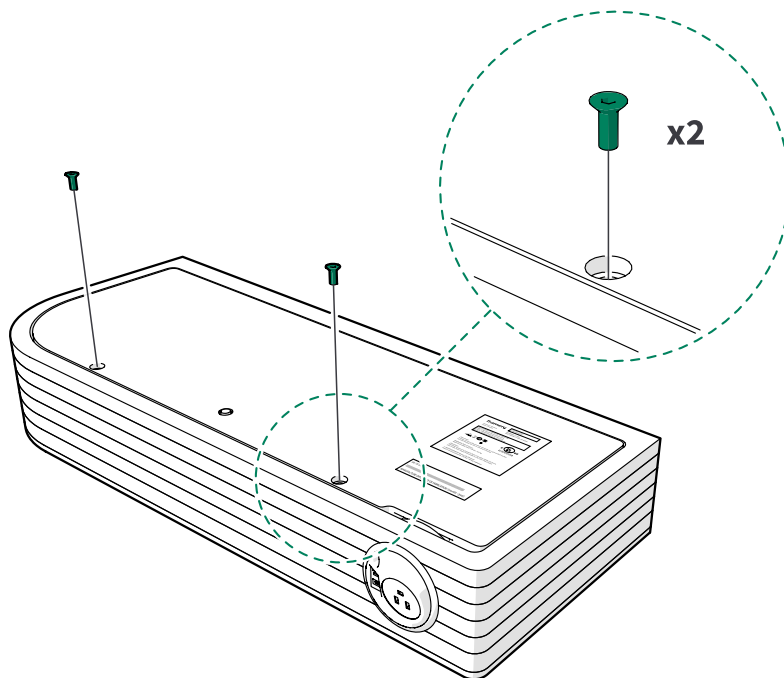
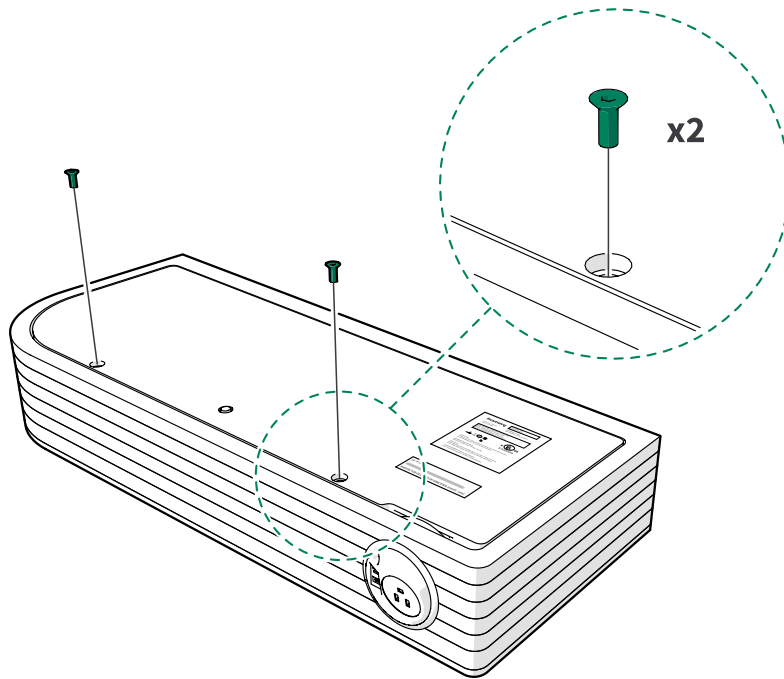


図 6: ワイドテーブルのシリアル番号

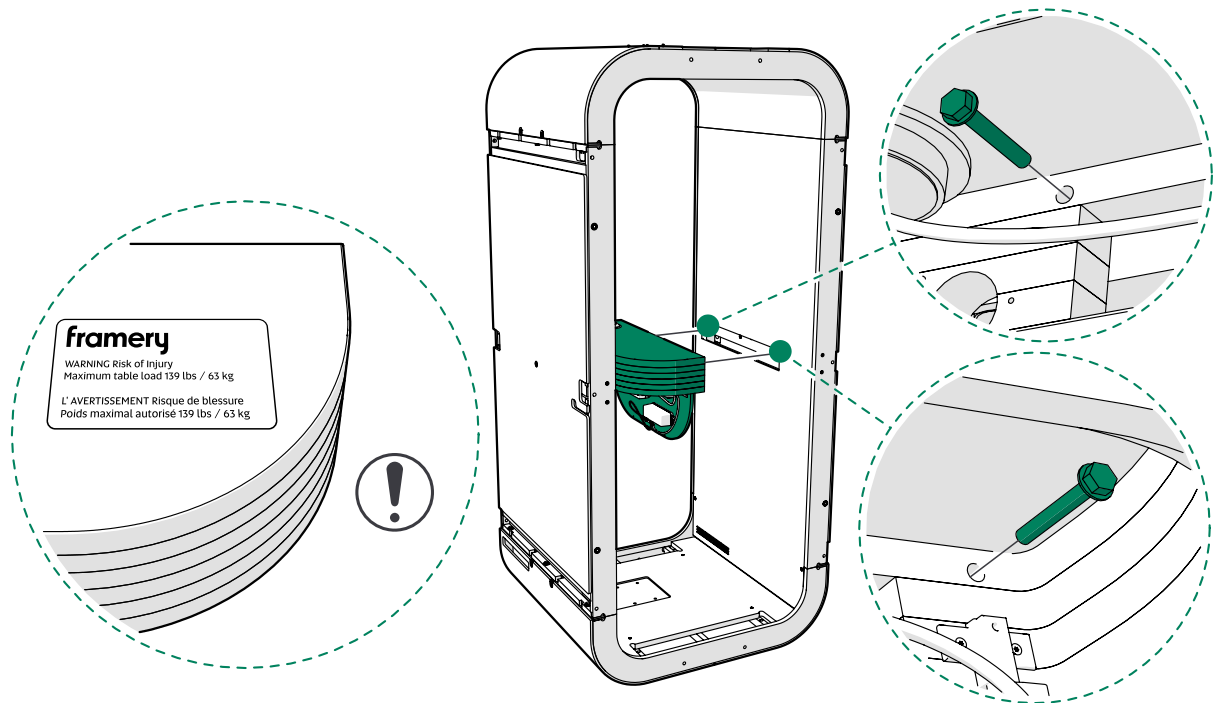
9.2 テーブルを壁に取り付ける方法

1. スタンダードテーブルの底板から4×30のネジ（2個）を外してください。
ワイドテーブルの底板には、M6x25の皿ネジ（2個）が付いています。六角レンチを使用してください。



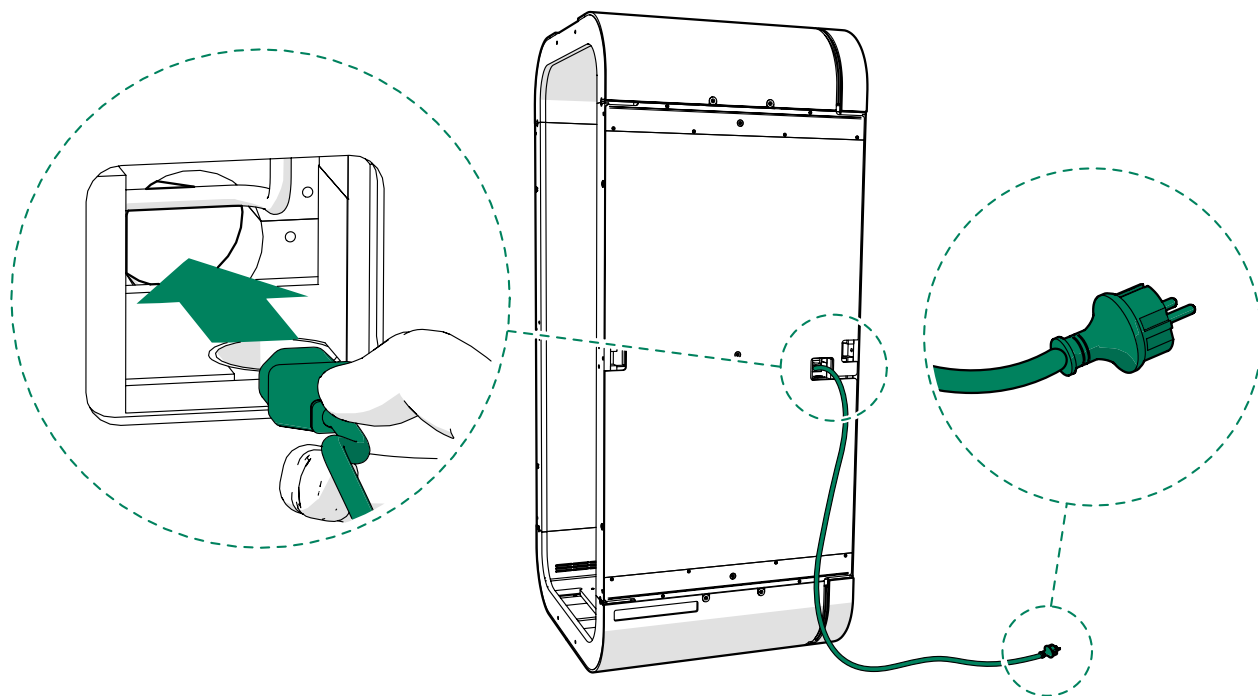
2. オープンボトムボードをテックウォールに当ててテーブルを支え、フランジ付きM8x50ボルト（2本）でテーブルを取り付けてください。

- ❗ 注：締めすぎないようにしてください。
- ❗ 注：設置の際は、コードが破損しないように注意してください。
- ❗ 注：テーブルの最大積載量が記載されたラベルが表示されているか確認してください。



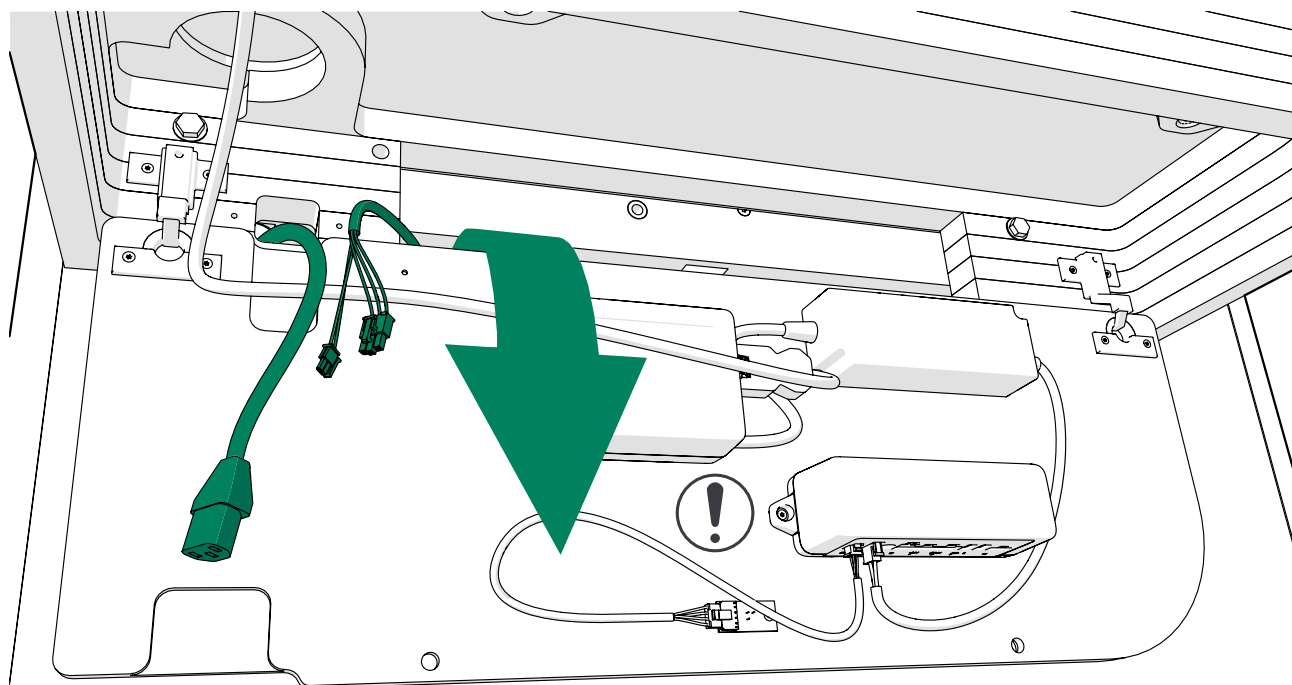
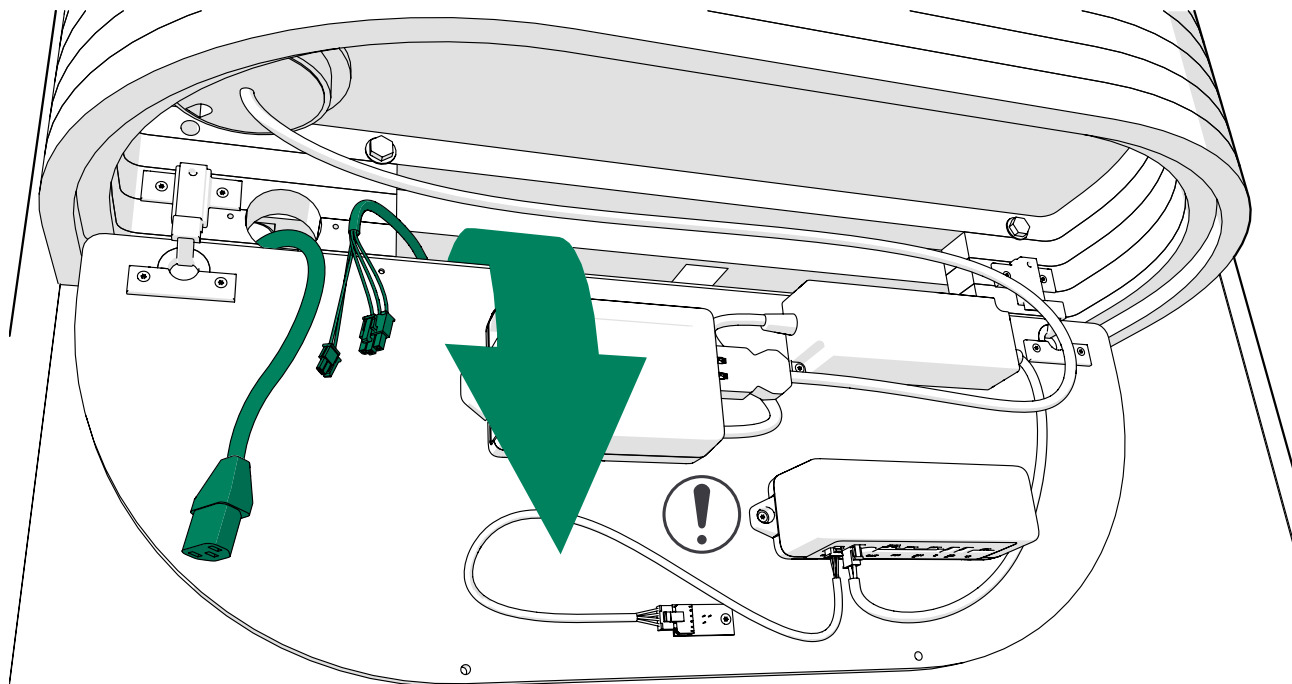
9.3 電子機器の接続方法

1. 電源コードを壁からテーブルに押し込んでください。



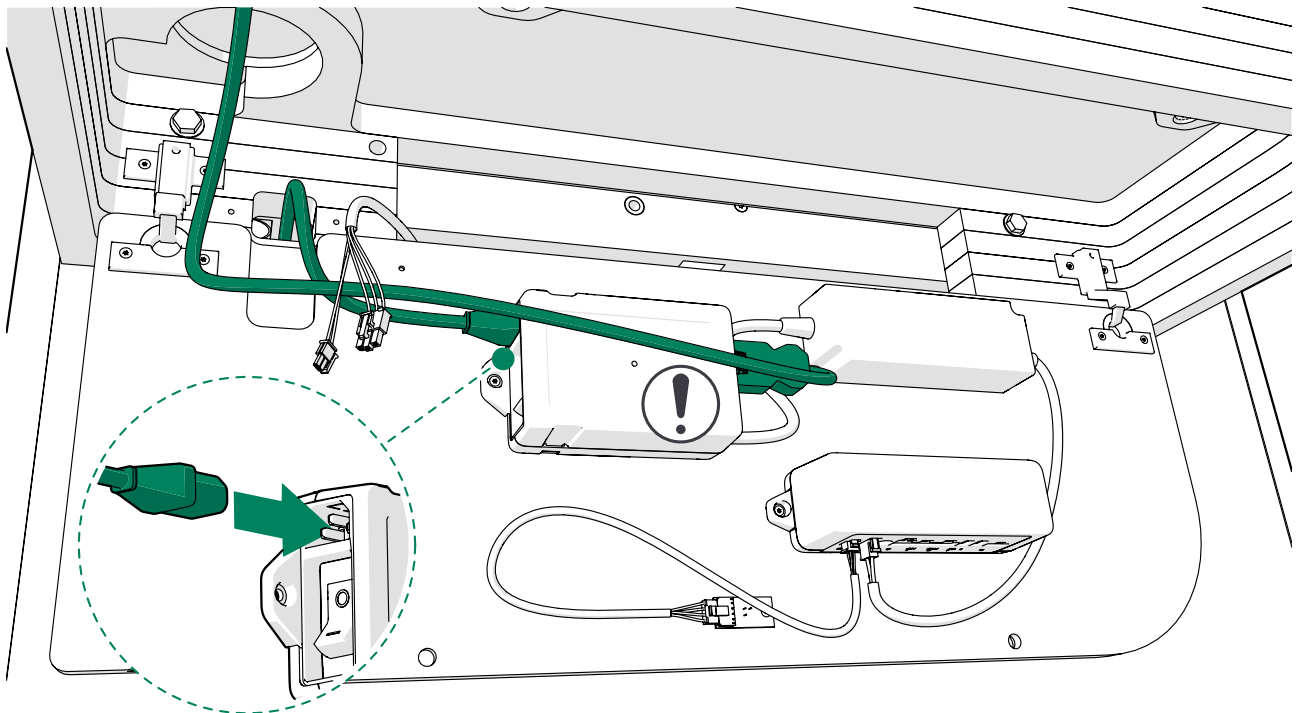
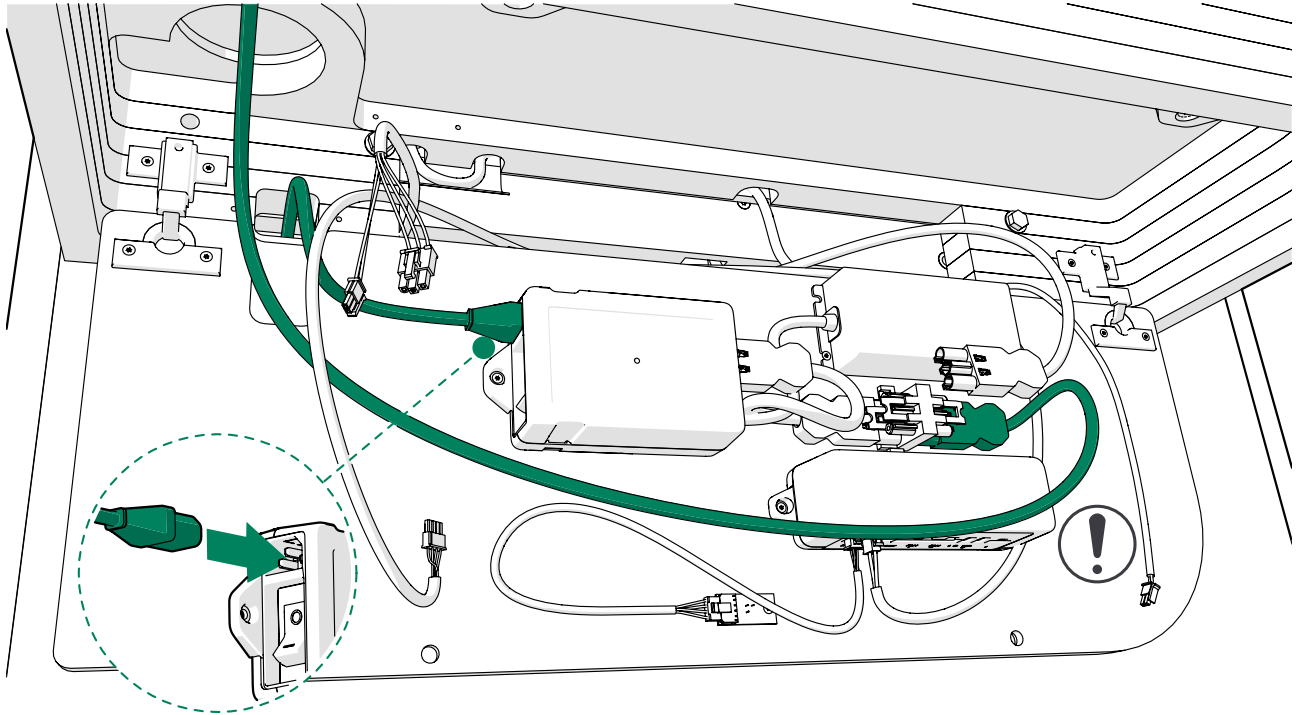
2. 電源、照明、ファンのコードを壁からテーブルの中に引き込んでください。

- ❗ 注：モーションディテクターのDCコードがモーションディテクターに接続されているか確認してください。

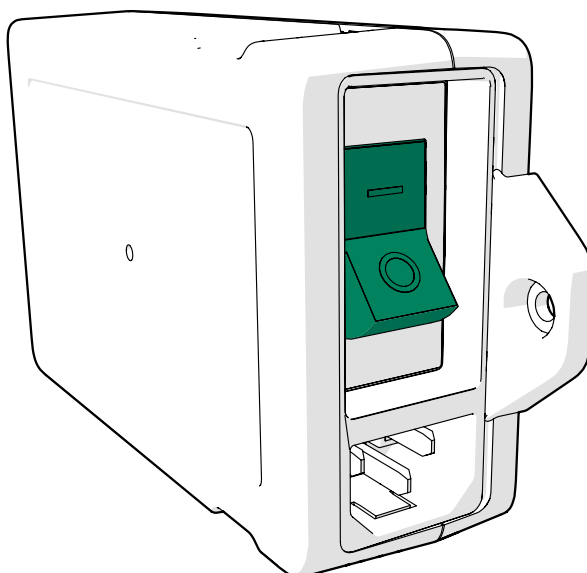


3. 電源コードを電源ユニットに接続してください。

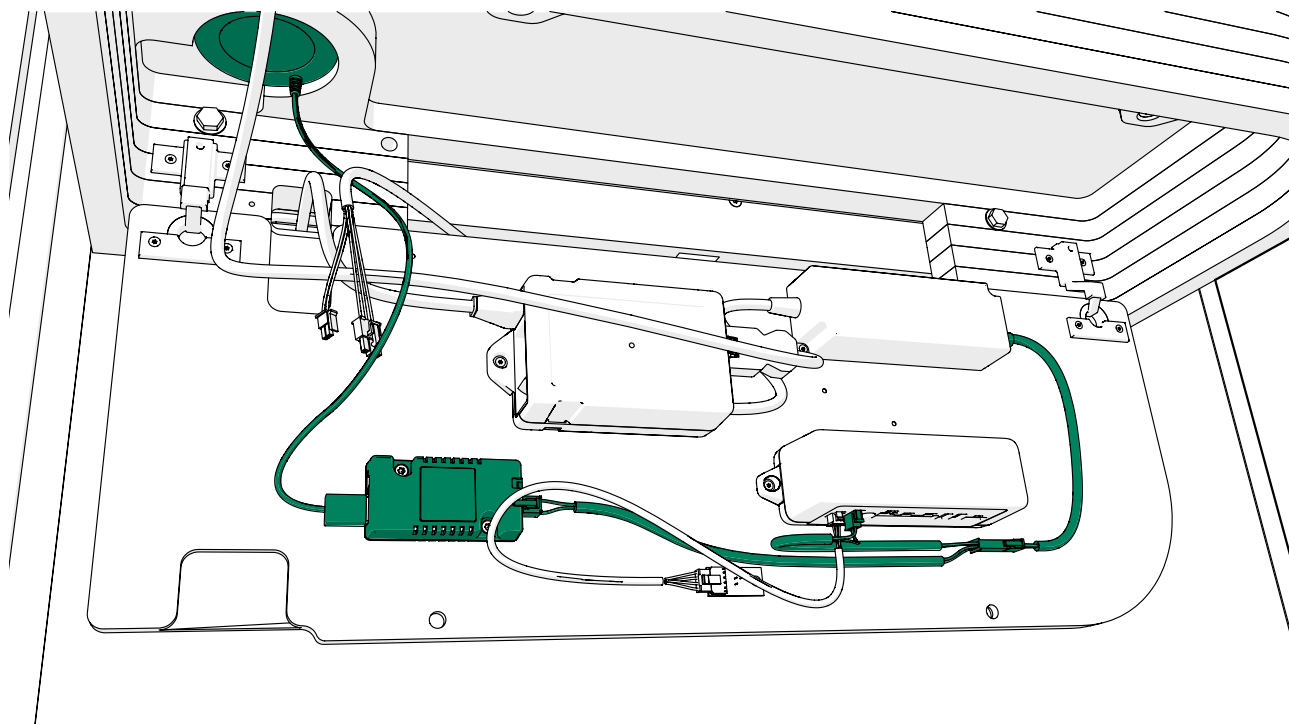
- ⚠ 注：電源コンセントのACコードが電源ユニットに接続されているか確認してください。



4. 電源ユニットのオン/オフのスイッチが、「I」の位置になっていることを確認してください。

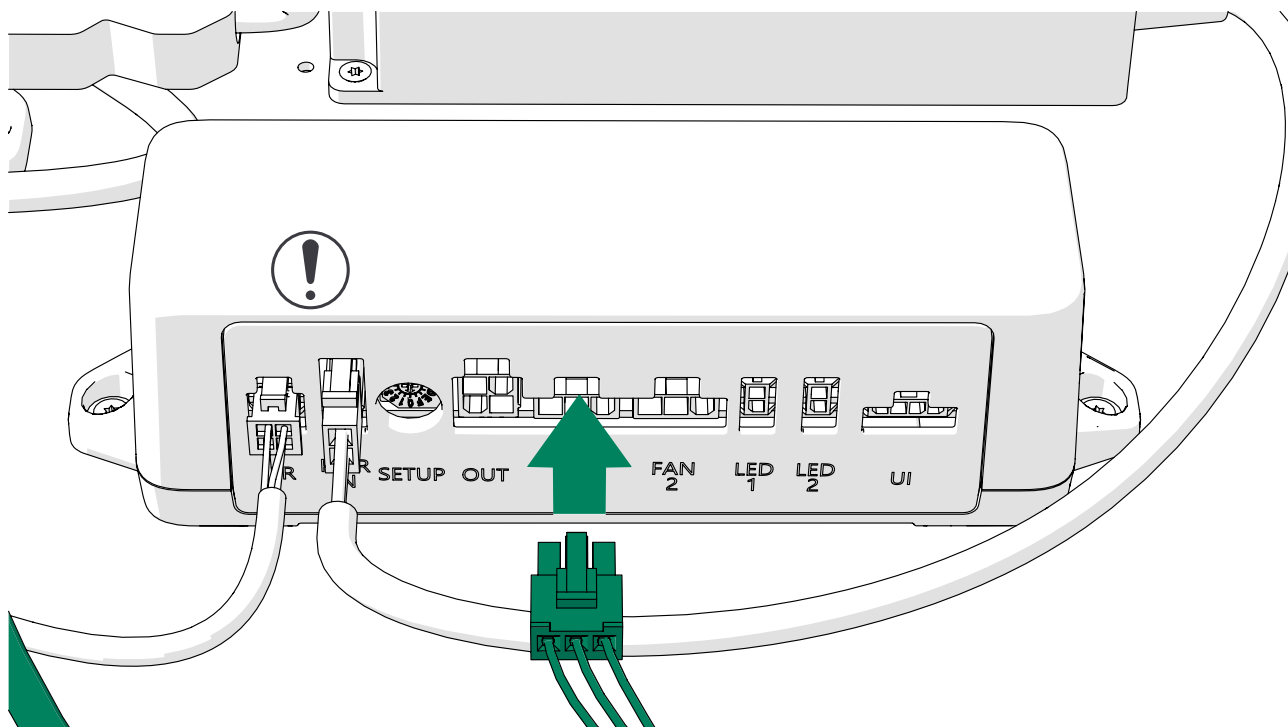


5. 別売りにワイヤレス充電器が含まれている場合は、ワイヤレス充電器のコードが5VユニットのUSBコネクタに接続されていることを確認してください。

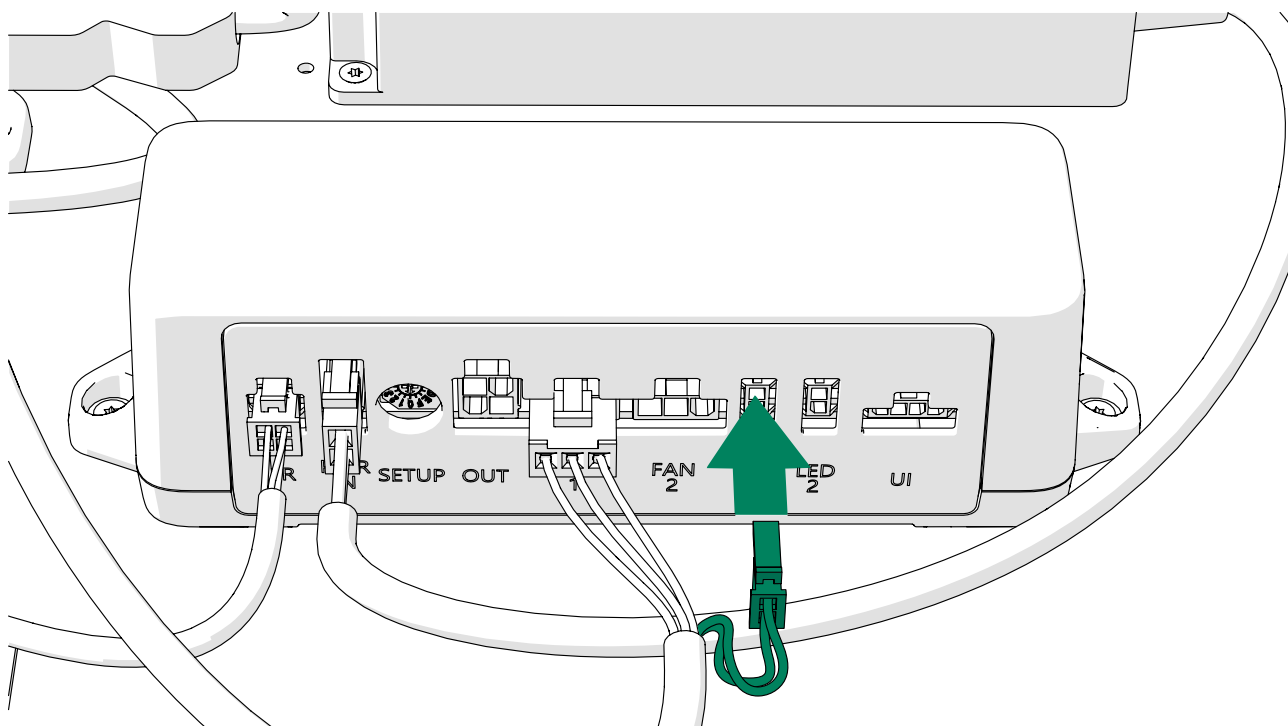


6. ファンコードをコントロールユニットのFAN 1コネクタに接続してください。

❗ 注：モーションセンサーのコードがコントロールユニットのPIRコネクタに接続され、DC入力コードがコントロールユニットのPWR IN コネクタに接続されているか確認してください。



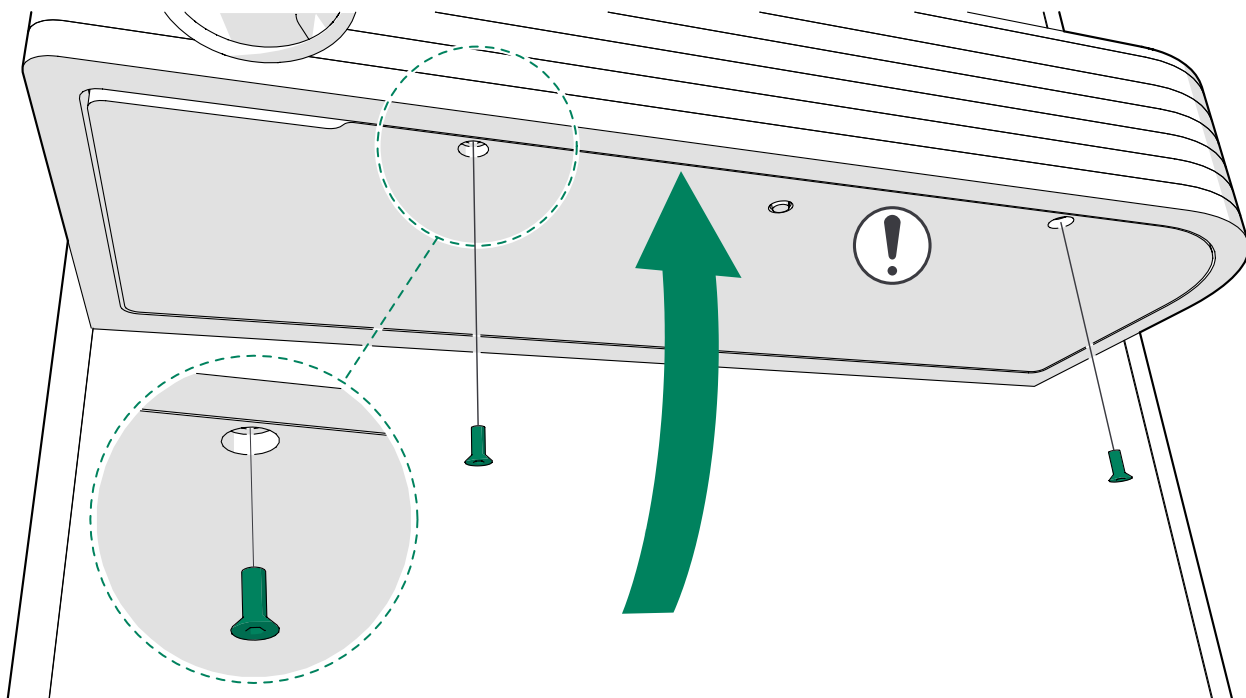
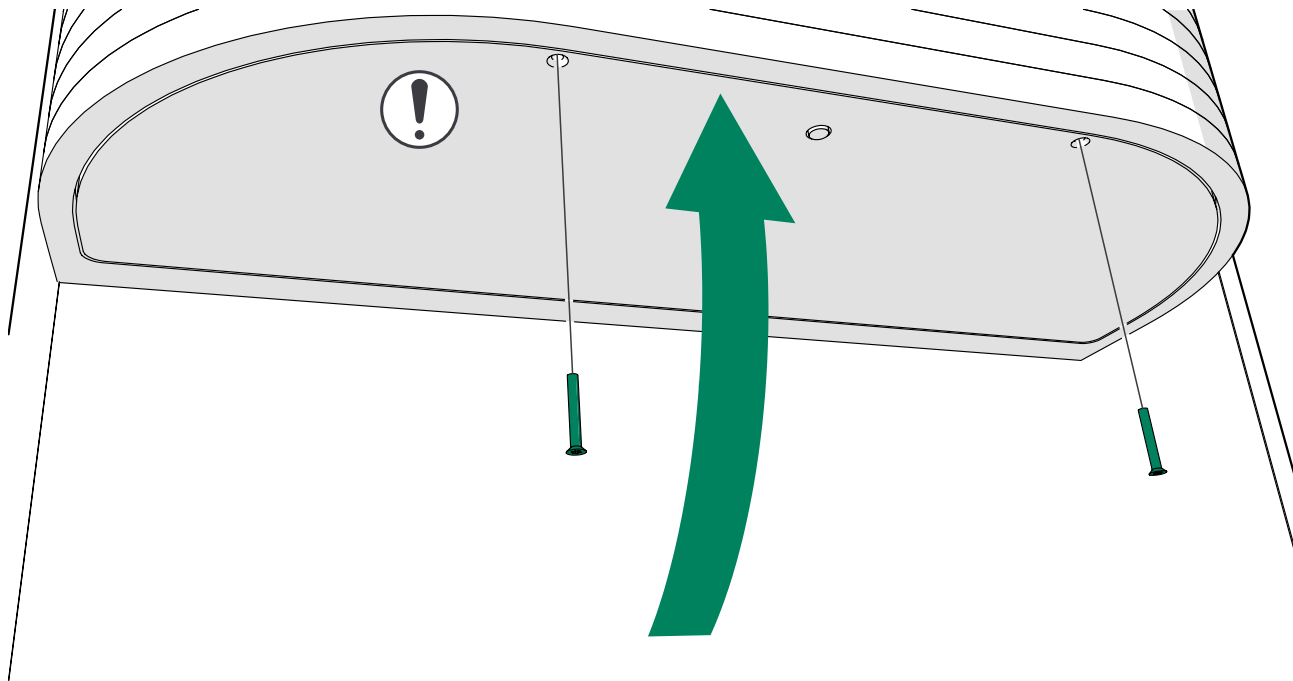
7. 照明用コードをコントロールユニットのLED 1コネクタに接続してください。



8. テーブルの底板を閉じ、**4×30のネジ (2個)** で固定してください。
ワイドテーブルの底板には、**M6x25の皿ネジ (2個)** が付いています。六角レンチを使用してください。

❗ 注：コードがテーブル板の間に入らないようにしてください。

❗ 注：皿穴を上にして配置してください。既存のネジ穴を使用してください。



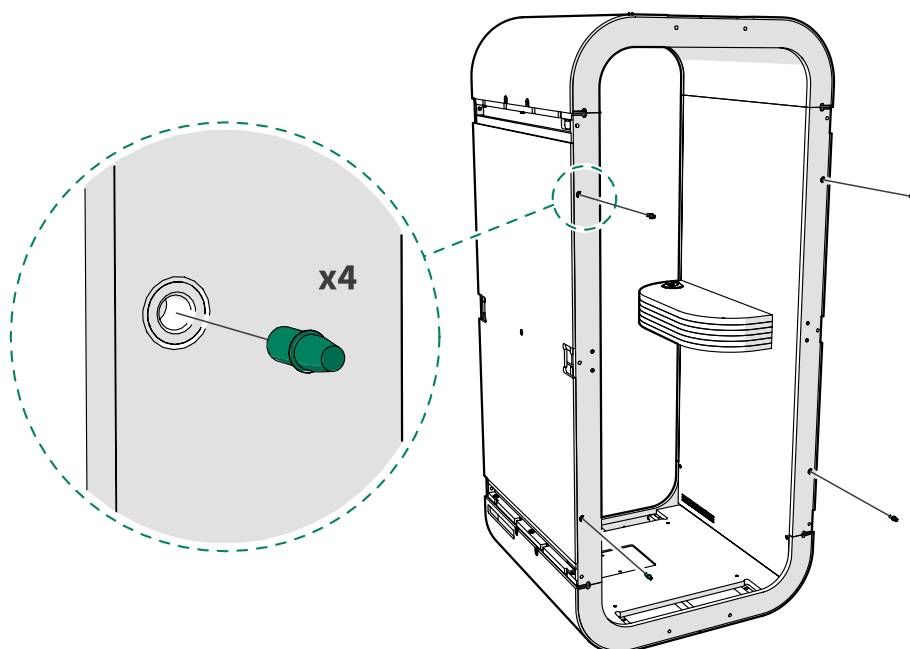
10 ドアの設定

10.1 フレーム付きドアの取り付け

⚠ 警告： この製品はとても重いので、怪我の危険性があります。持ち上げる際は、十分注意してください。しっかりと固定されるまでドアを支えてください。

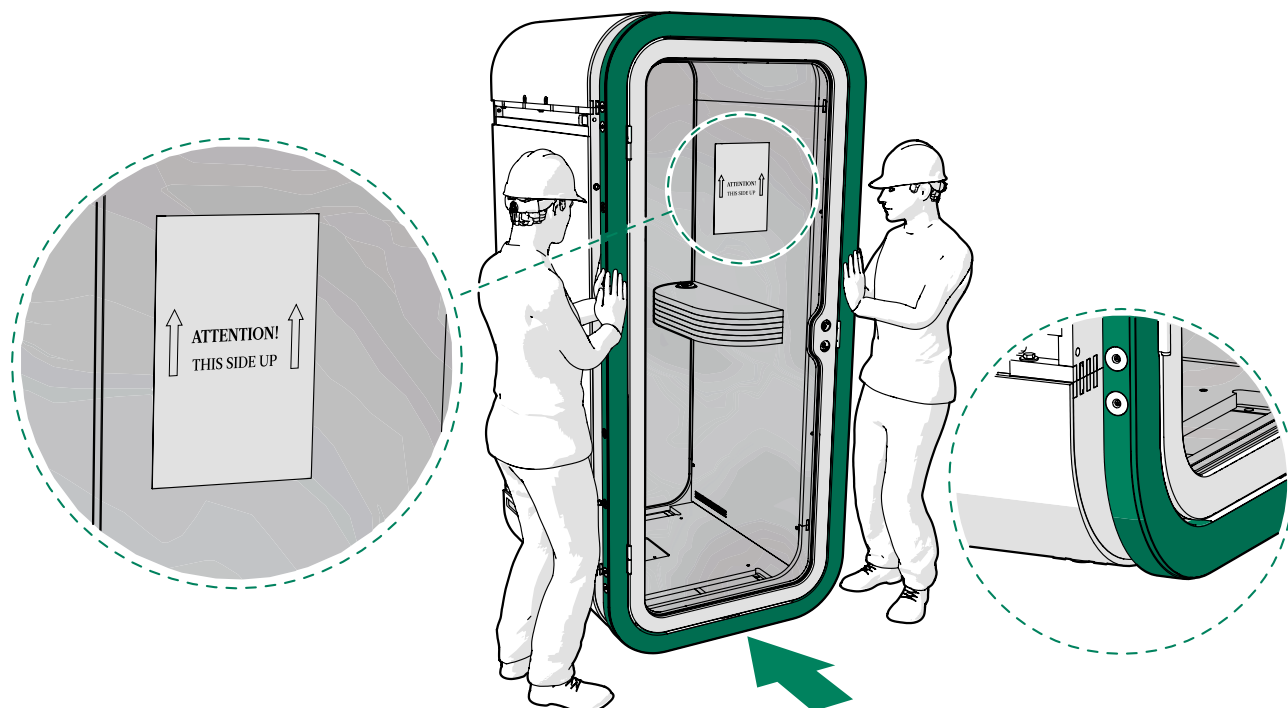
1. ガイドピン（4個）をウォールモジュールの取り付け穴に取り付けてください。

❗ 注：ガイドピンの平らな面が取り付け穴に入ることを確認してください。



2. ドアをできるだけポッドに近づけるようにしてドアフレームを持ち上げてください。

⚠ 警告： シールに記載されているように、ドアが正しい向きで、ロックが右側にあることを確認してください。誤った取り付け方をすると、ドアを開けた際、フレームから外れてしまいます。

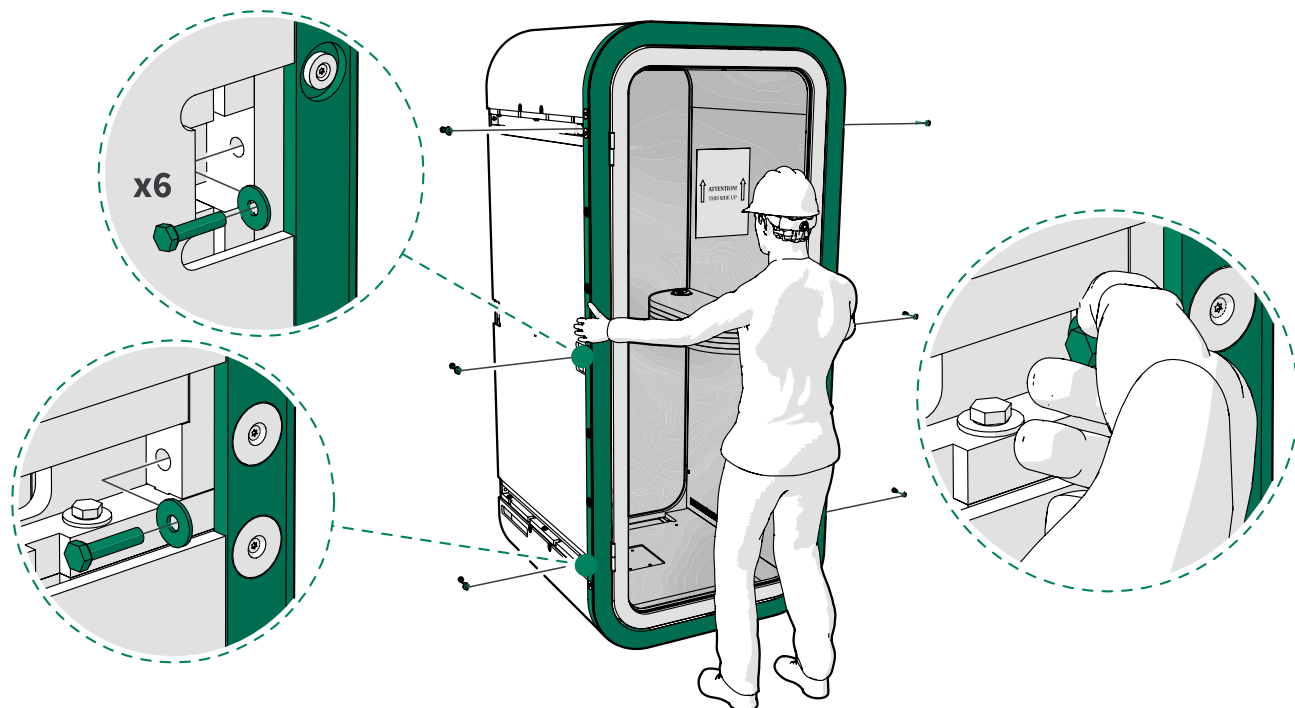


3. フロアに膝をついて、ドアと一緒にドアフレームを約**10mm**持ち上げ、所定の位置にはめ込んでください。

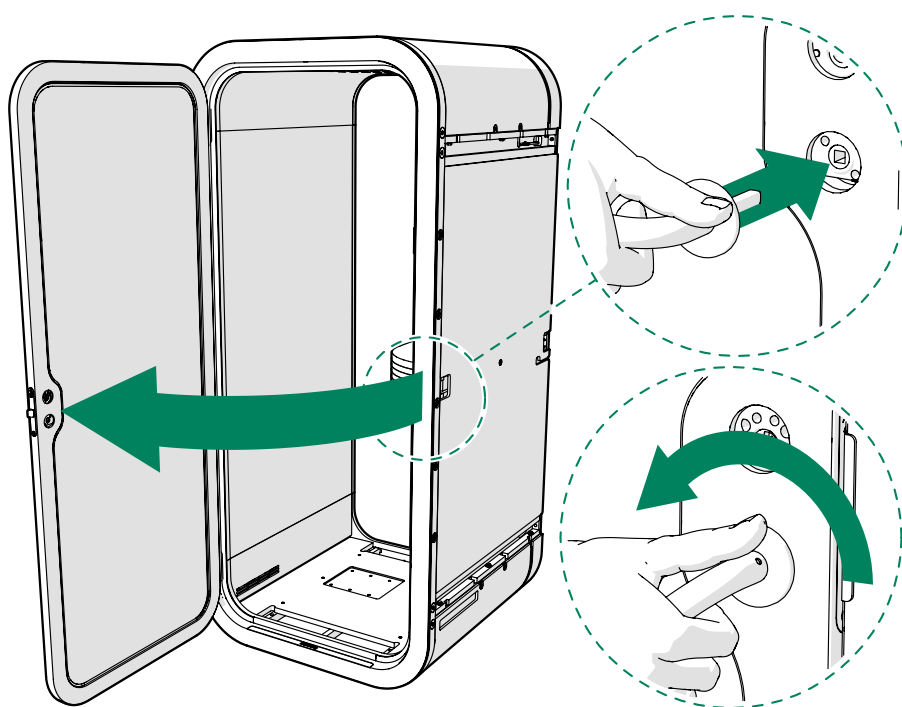
- ⚠ 警告：この製品はとても重いので、怪我の危険性があります。ポッドを持ち上げる際には、**2人**で持ち上げてください。
- ⚠ 警告：ドアフレームとウォールモジュールまたはフロアとの間で指を挟まれないようにしてください。
- ⚠ 警告：しっかりと固定されるまでドアを支えてください。
- ⚠ 警告：設置の際には、ドアが転倒しないように注意してください。



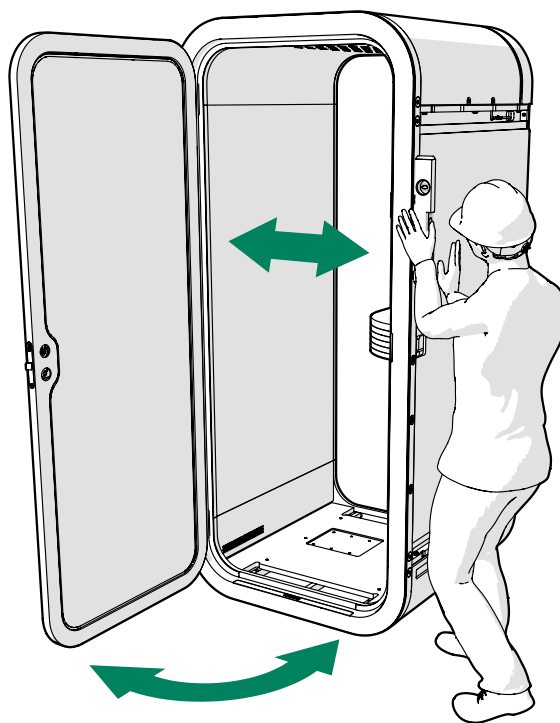
4. フレームを支えて、M8x35ボルト（6本）とM8ワッシャー（6個）を取り付けてください。ボルトを手で締めてください。



5. 片方のハンドルでドアを開き、ポッドの真直度を調整してください。

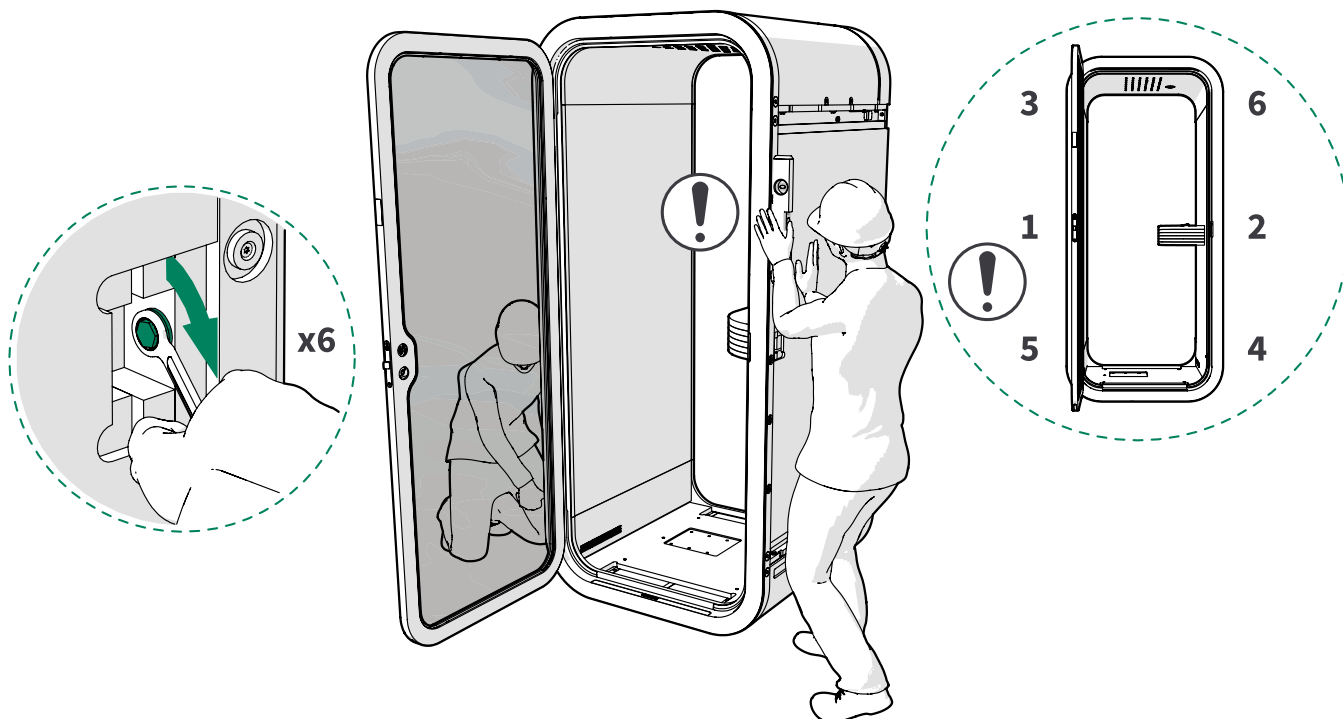


6. 水準器でポッドの真直度を確認し、ドアフレームを押して調整してください。



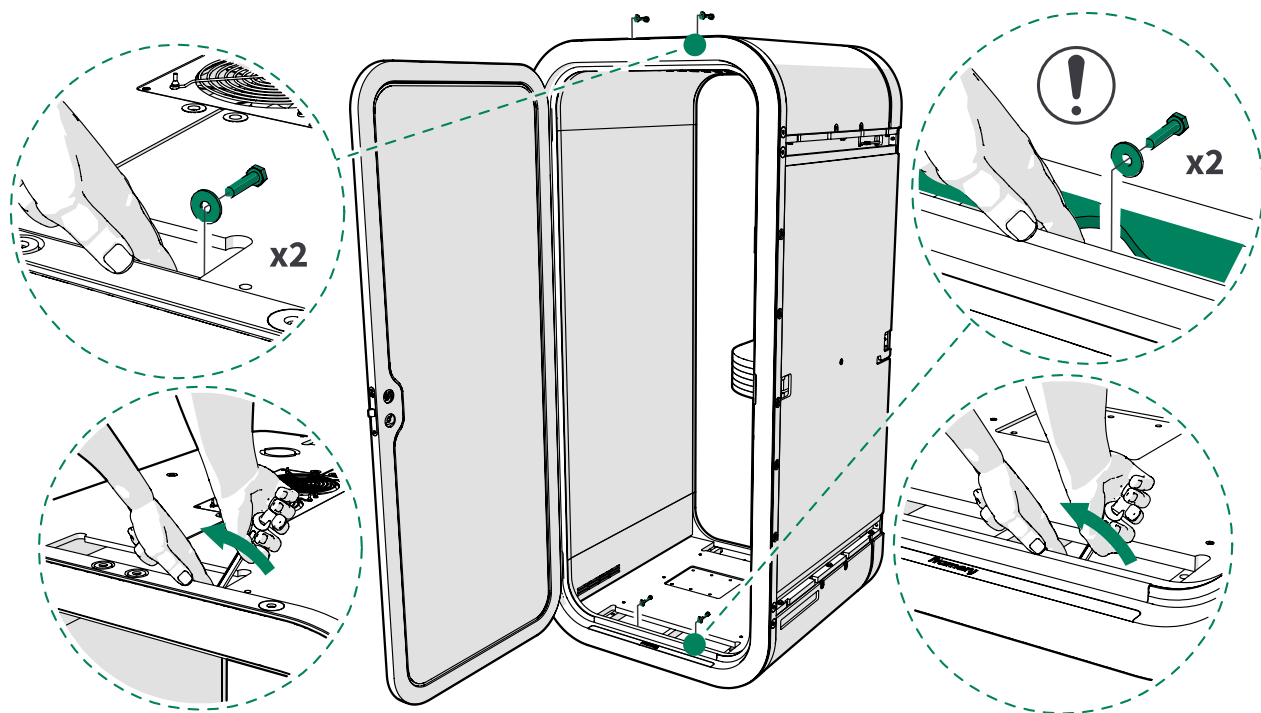
7. モジュールのM8x35ボルト（6本）をスパナで締め付けてください。

- ❗ 注：ドアフレームを真っ直ぐな状態にして、ボルトを締め付けてください。
- ❗ 注：ボルトが正しい順番で締め付けられているか確認してください。



8. M8x35ボルト（4本）とM8ワッシャー（4個）をルーフモジュールとフロアモジュールに取り付けてください。

❗ 注：ボルトの穴まで届くようにアコースティックパネルを押してください。必ずアコースティックパネルを元の位置に戻してください。

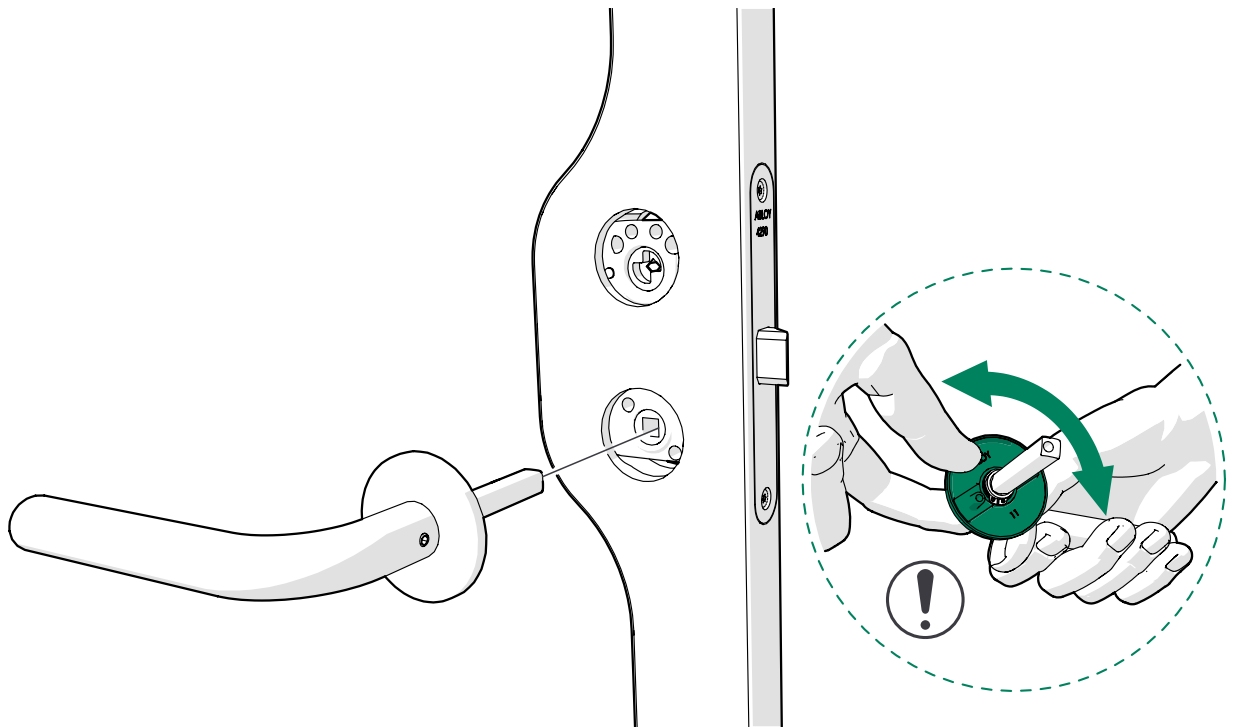


10.2 ドアハンドルの設置

スマートロックハンドルをドアに取り付ける場合は、[スマートロックハンドルの取り付け](#)をご覧ください。

1. スピンドルを取り付けたハンドルを、ドアの外側から下側の取り付け穴に取り付けてください。

① 注：ハンドルのネジ穴をドアのネジ穴に合わせてください。



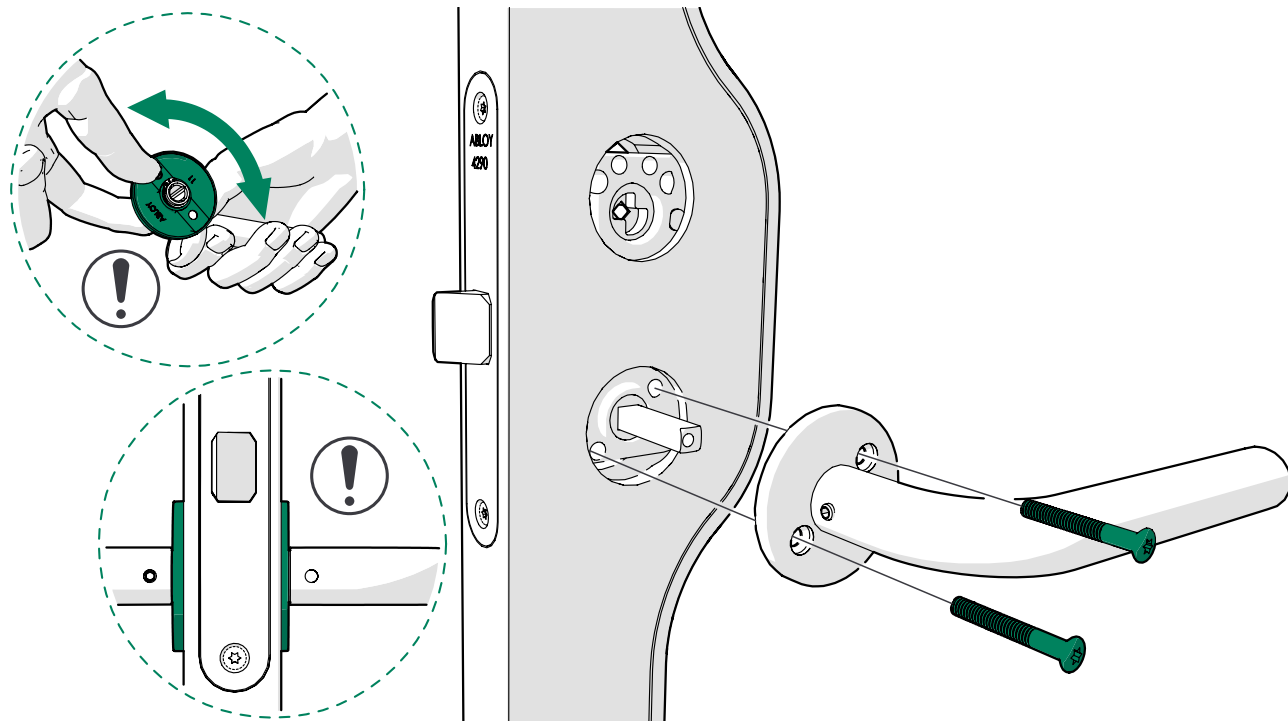
2. 片方のハンドルをスピンドルに押し込み、内側から**M5x32ネジ（2個）**でハンドルを取り付けてください。

手動ドライバーでネジを締めてください。締めすぎないようにしてください。

ハンドルがスタート位置に簡単に戻らない場合は、ネジを少し緩めてハンドルの動作を再度確認してください。

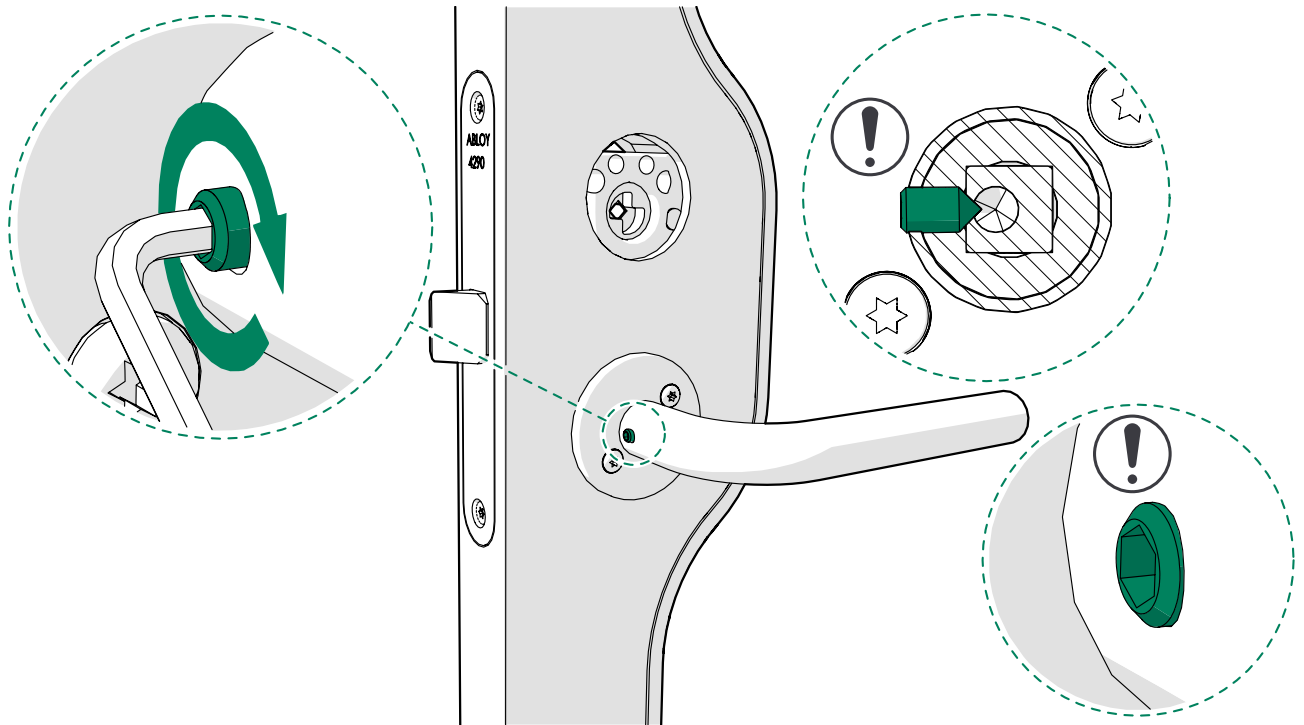
❗ 注：ハンドルのネジ穴をドアのネジ穴に合わせてください。

❗ 注：カバープレートとドアの間には隙間がないようにしてください。



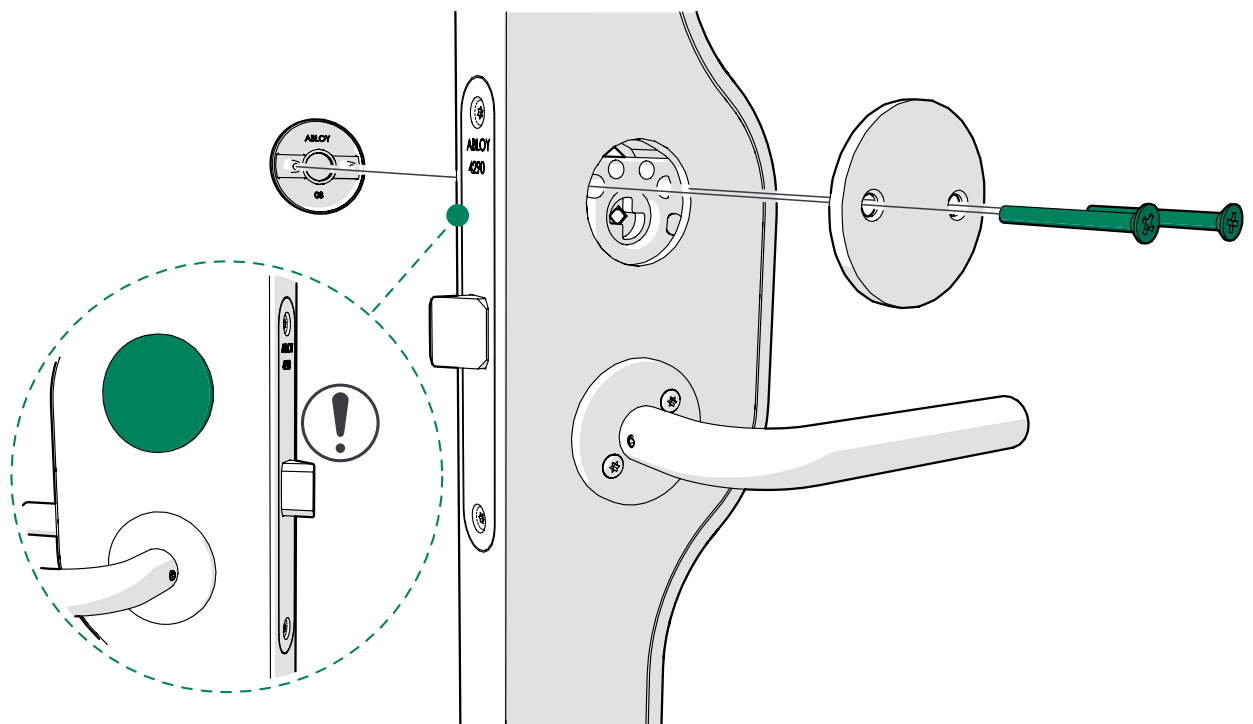
3. 内側のハンドルの止めネジを締めてください。

- ❗ 注：止めネジを締めてください。締め込むほど抵抗が増えていきます。正しく固定されていれば、ネジ山が少し出ている(1-2個)状態になります。



4. 上部カバープレートをM5x32ネジ(2本)で取り付けます。 締めすぎないようにしてください。

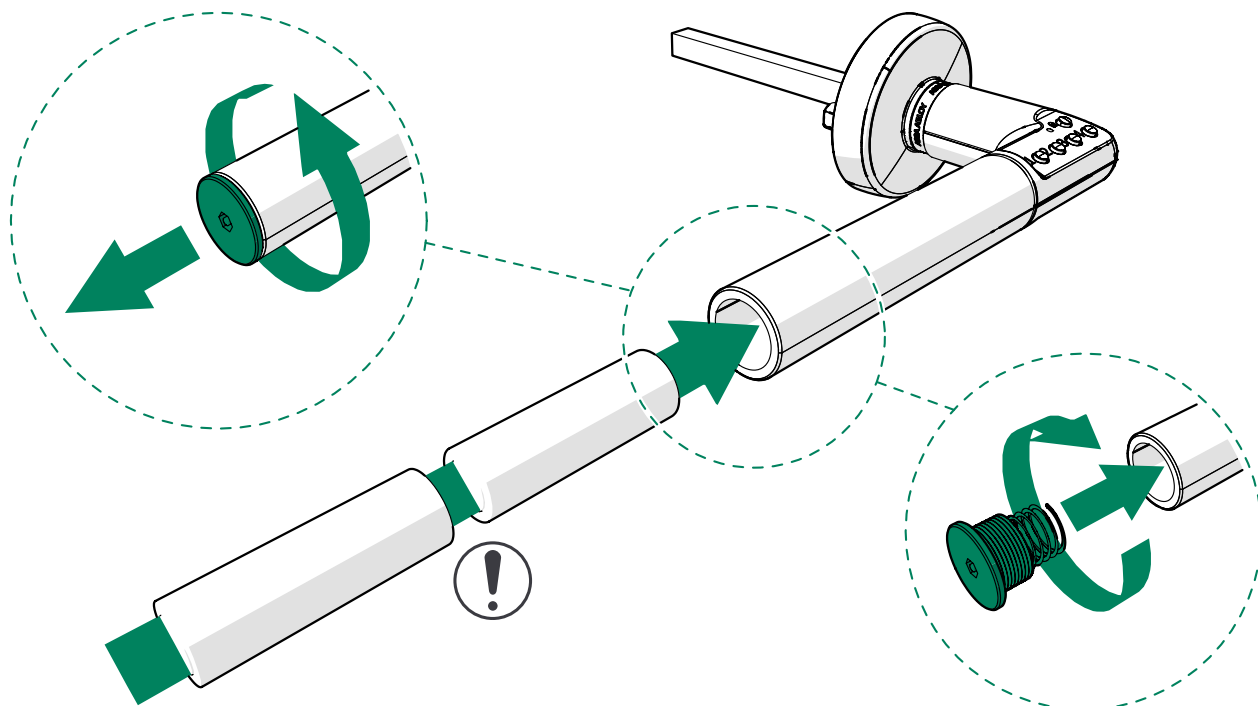
- ❗ 注：スムーズカバープレートが外側に取り付けてあるか確認してください。



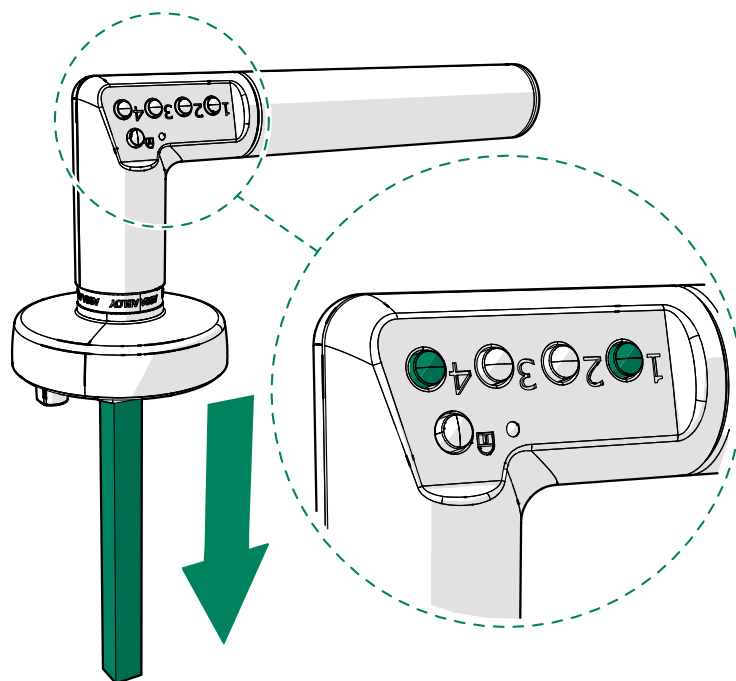
10.3 コードハンドルの暗証番号設定方法 (別売)

1. コードハンドルの先端のキャップを六角レンチで外してください。

2. ハンドルに電池を入れてください。
- ⚠ 注：電池の極性が正しいか確認してください。
3. キャップを所定の位置に固定してください。



4. 暗証番号をプログラムする場合、スピンドルが下を向くようにハンドルを水平に持ってください。
5. LEDが赤色に点滅するまで、ボタン1と4を押し続けてください。
指を離すと、LEDが緑色に点灯します。

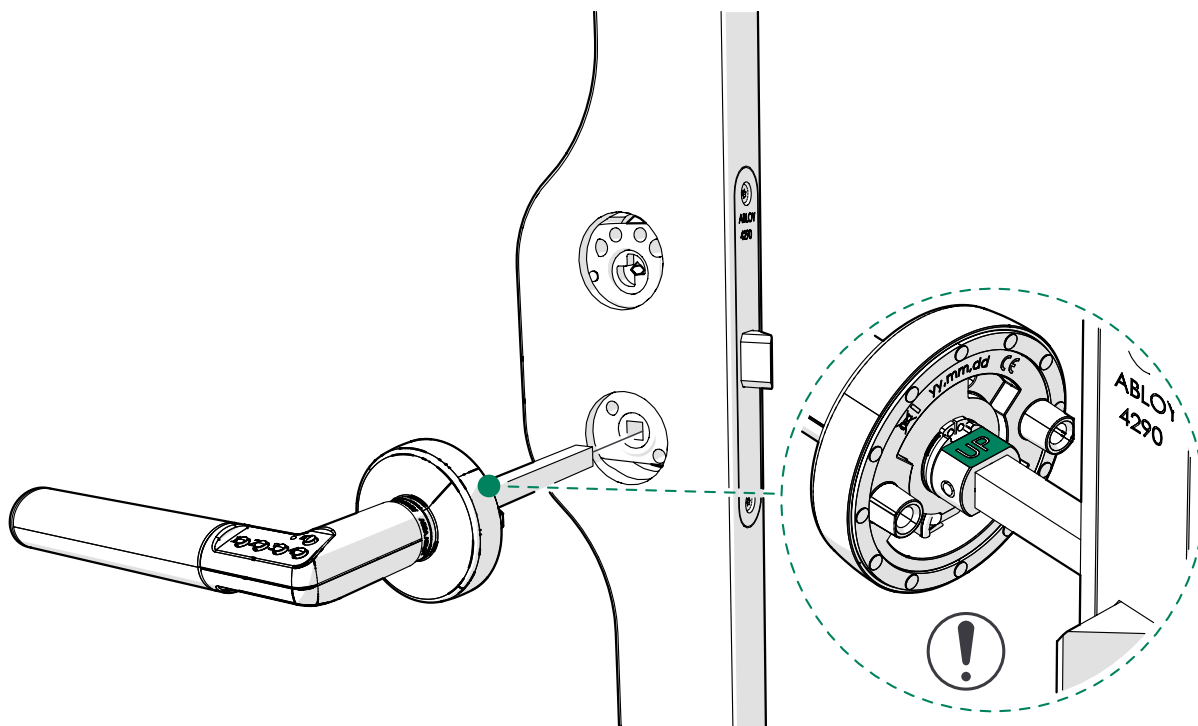


6. 設定したい6桁のコードを入力してください。
LEDが緑色に点滅したら、暗証番号設定完了となります。

10.4 コードハンドルの取り付け (別売)

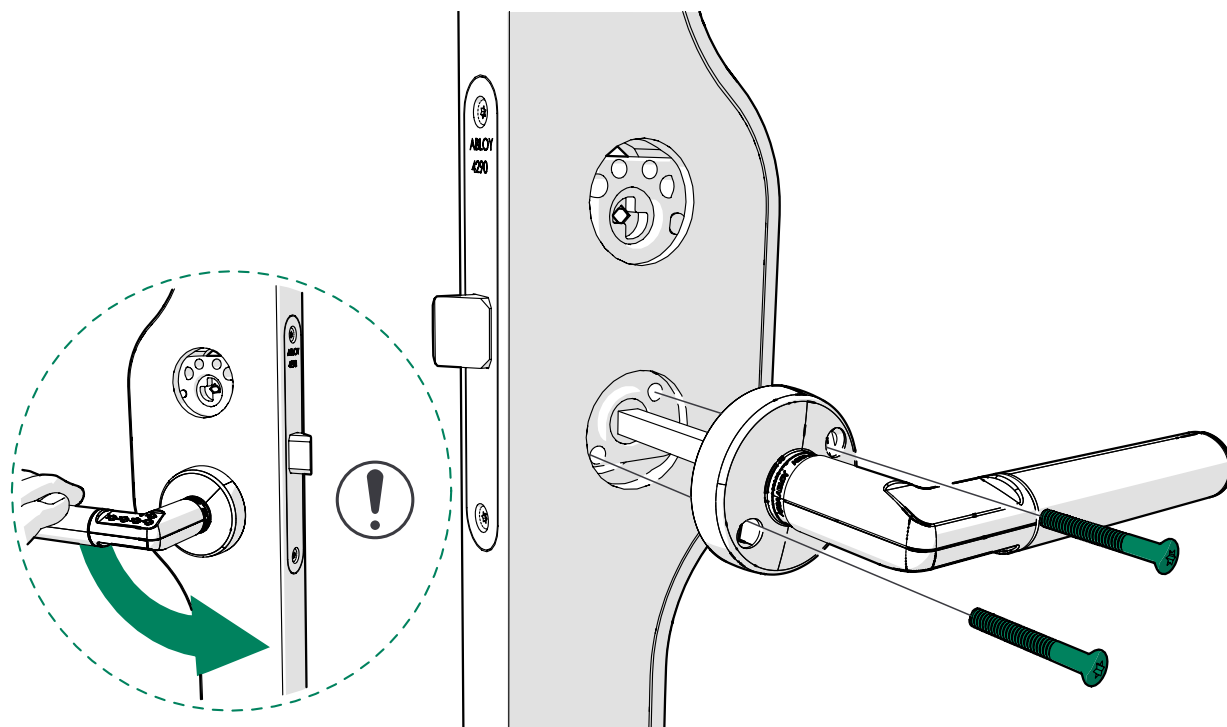
1. コードハンドルを取り付ける前に、ネジの長さが正しいか確認してください。ネジを適切な長さにカットしてください。
2. スピンドルを取り付けたコードハンドルを、ドアの外側から下側の取り付け穴に挿入してください。

ⓘ 注：ハンドルを差し込む際には、スピンドルの根元にあるUPラベルが上を向いているか確認してください。



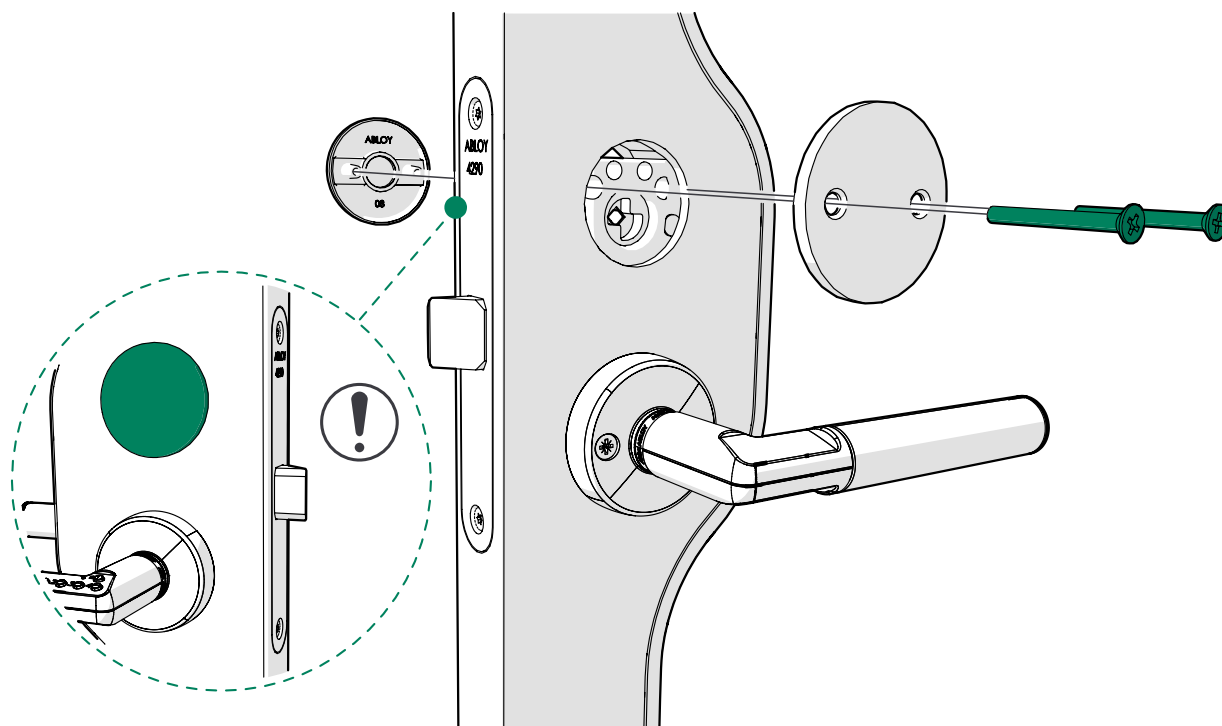
3. 片方のハンドルをスピンドルに押し込み、内側からM5x32ネジ（2個）でハンドルを取り付けてください。

❗ 注：ハンドルがしっかりと取り付けられ、スムーズに動くかを確認してください。



4. 上部カバープレートをM5x32のネジ（2個）で取り付けてください。

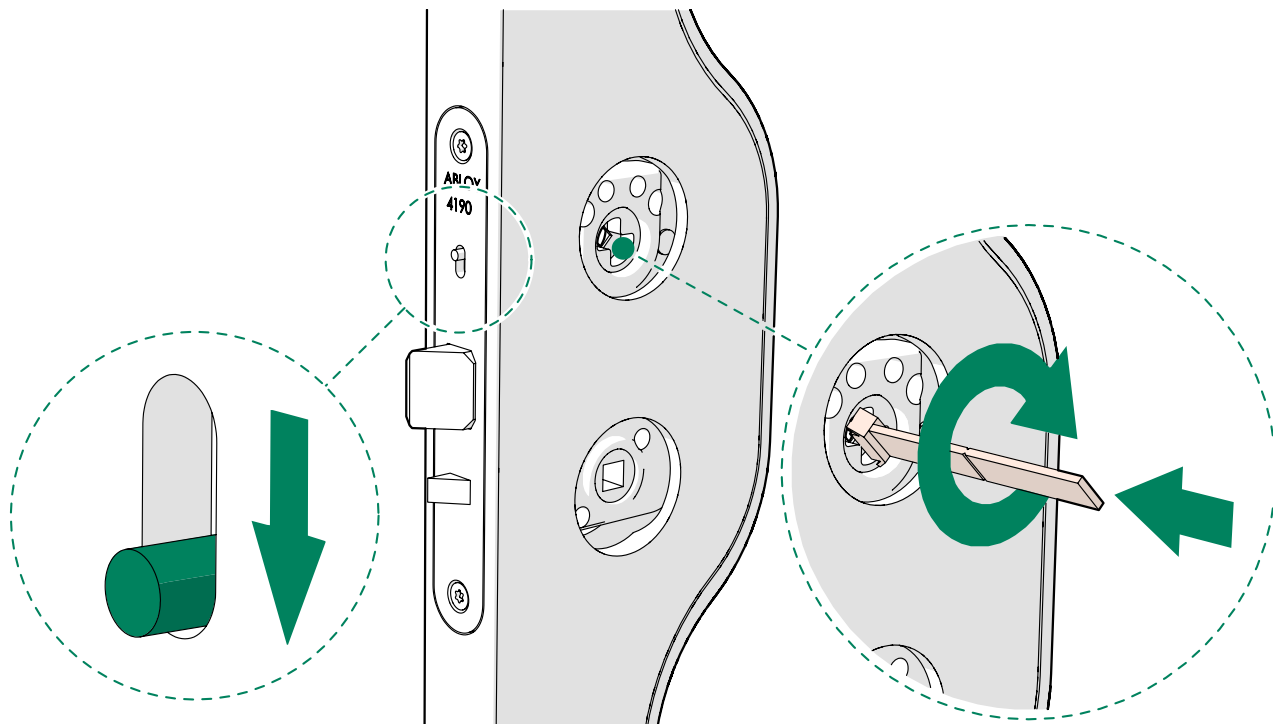
❗ 注：スモースカバープレートが外側に取り付けてあるか確認してください。



最大9個までのユーザーコード追加/削除方法、また暗証番号変更などは、ハンドルメーカーの取扱説明書を参照してください。

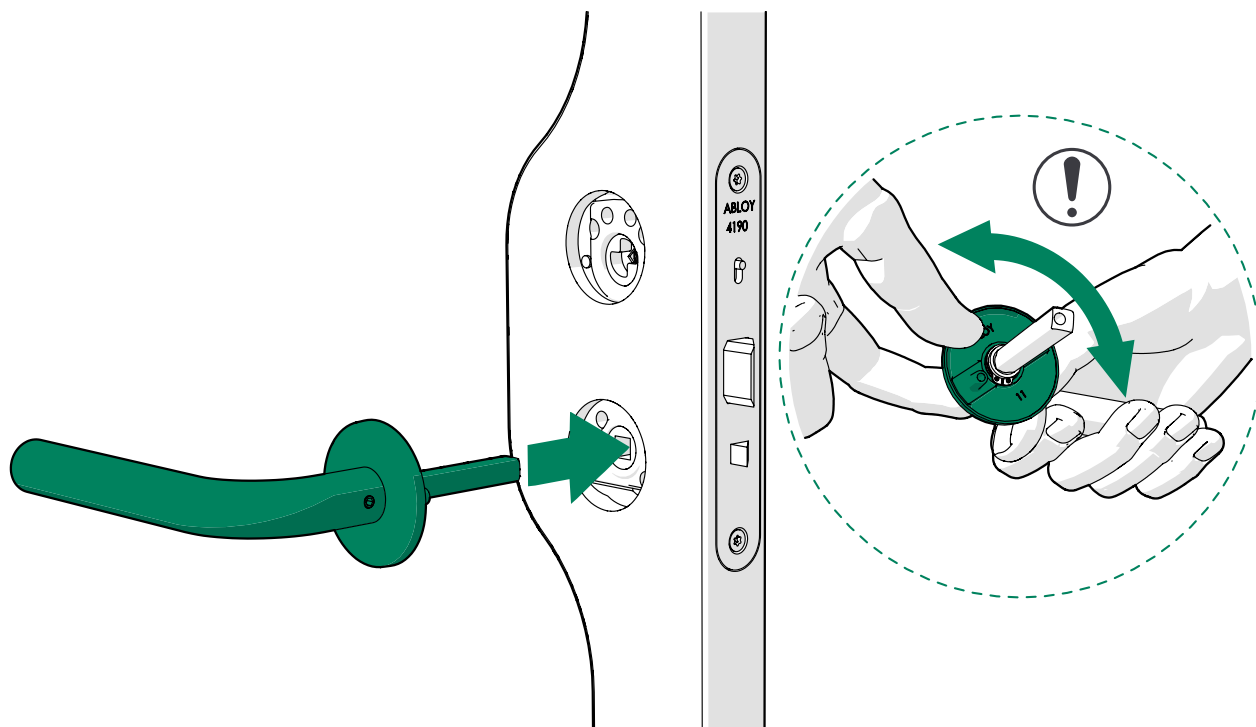
10.5 スマートロックドアハンドルの設置

1. ドアの上部開口部でツイストスピンドルを回し、スライドスニブを押し下げて、ドアがロックされないようにしてください。



2. スピンドルを取り付けたハンドルを、ドアの外側から下側の取り付け穴に取り付けてください。

❗ 注：ハンドルのネジ穴をドアのネジ穴に合わせてください。



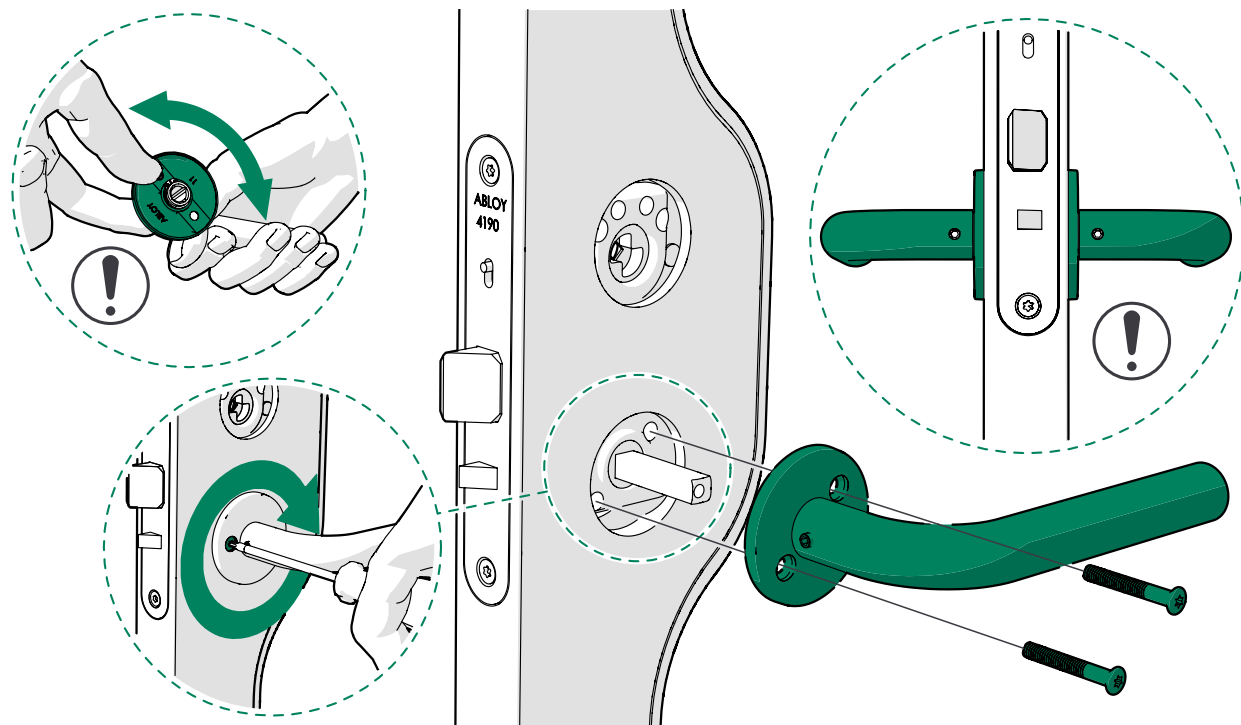
3. 片方のハンドルをスピンドルに押し込み、内側から**M5x32ネジ**（2個）でハンドルを取り付けてください。

手動ドライバーでネジを締めてください。締めすぎないようにしてください。

ハンドルがスタート位置に簡単に戻らない場合は、ネジを少し緩めてハンドルの動作を再度確認してください。

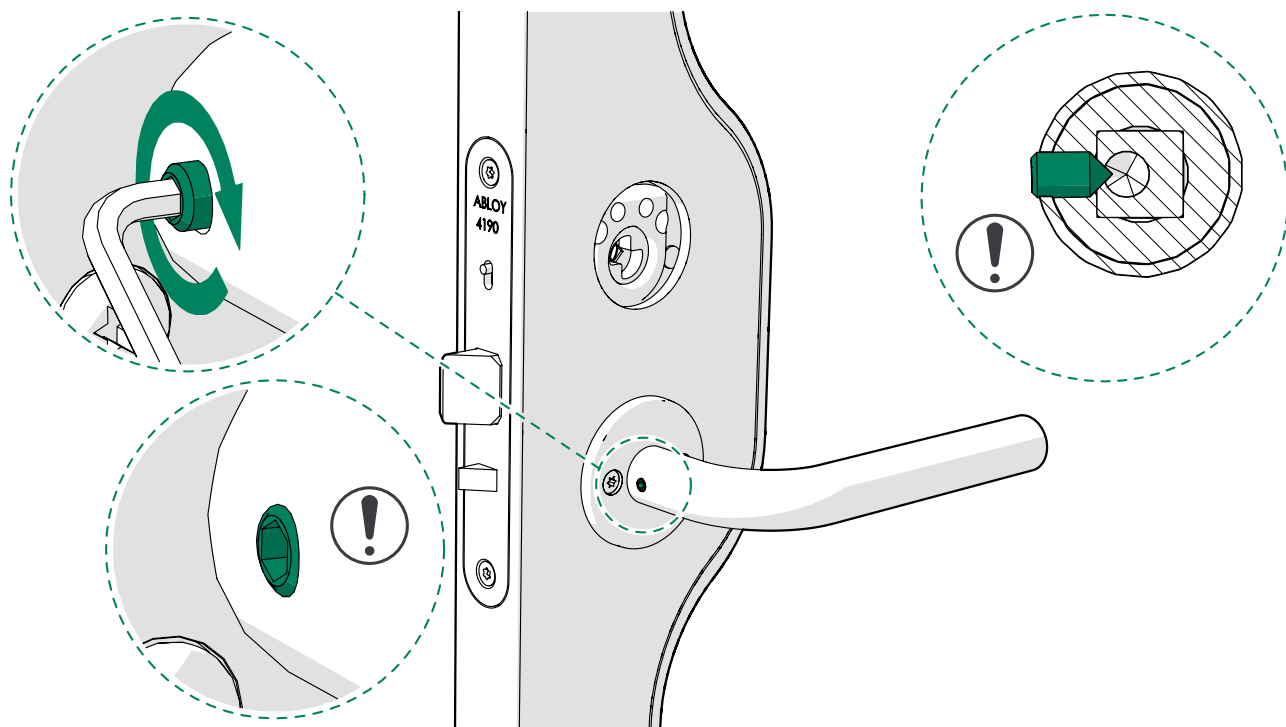
❗ 注：ハンドルのネジ穴をドアのネジ穴に合わせてください。

❗ 注：カバープレートとドアの間には隙間がないようにしてください。



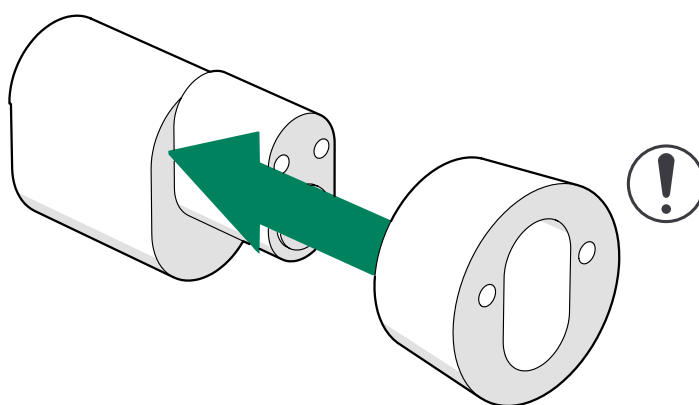
4. 内側のハンドルの止めネジを締めてください。

- ① 注：止めネジを締めてください。締め込むほど抵抗が増えていきます。最終的には、セットスクリューのヘッドがハンドルの表面より少し出る状態になります。



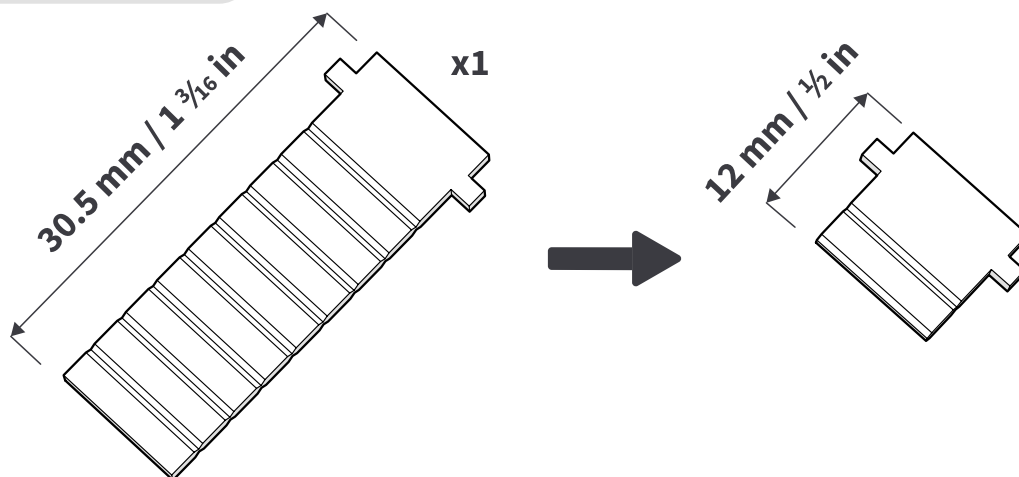
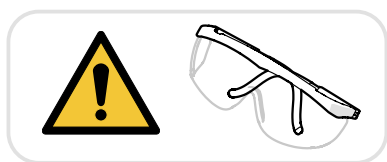
5. スマートロックシリンダーとシリンダーエスカッションを組み立ててください。

- ① 注：シリンダーのエスカッションは、必ず右側を上にして取り付けてください。



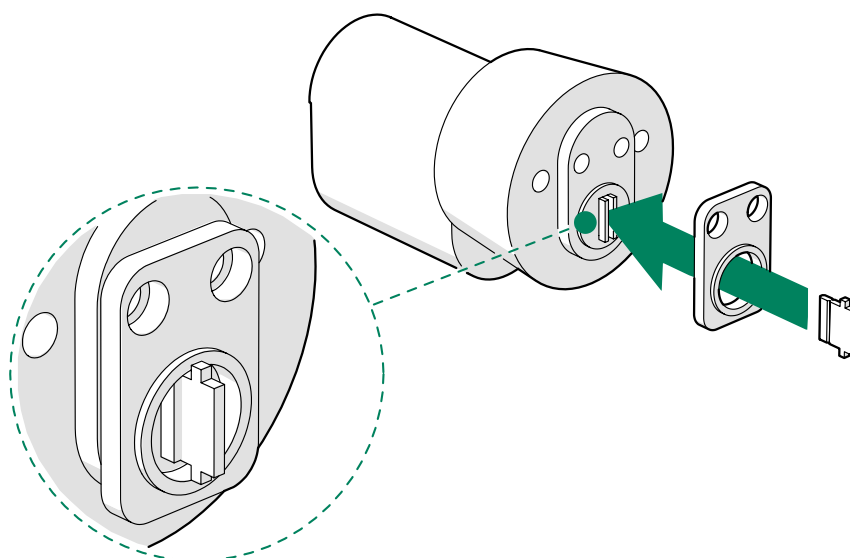
6. ツイストピンドルを2つ目の溝まで短くして、適切な長さに調節してください。

⚠ 警告： ツイストスピンドルを切るときは、安全メガネを着用してください。



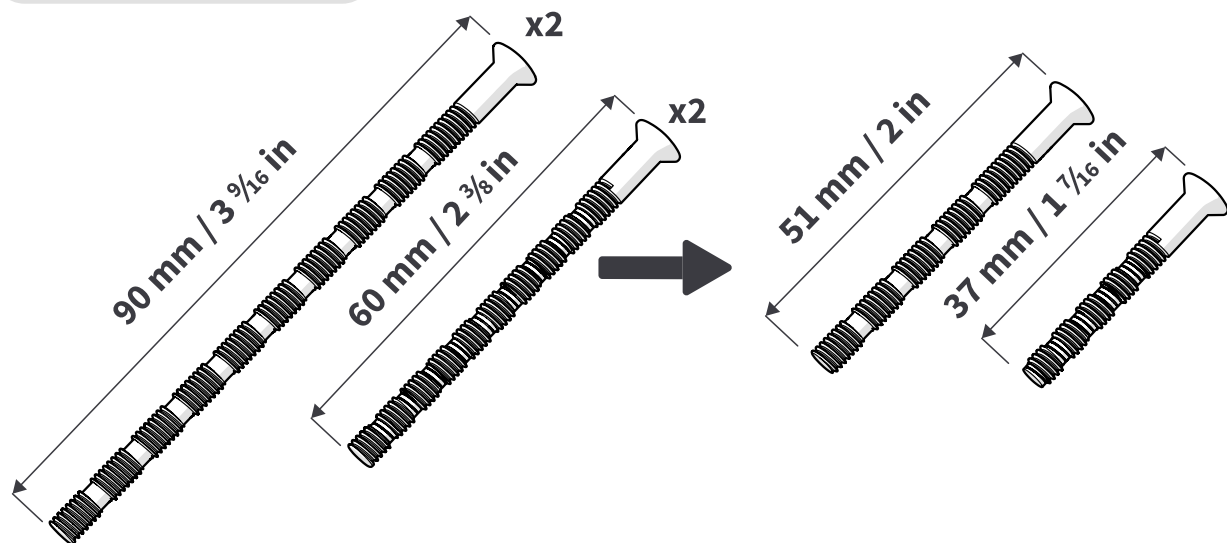
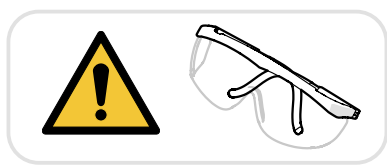
7. ツイストスピンドルをエクステンションプレートに通してシリンダーに押し込んでください。

シリンダー錠が34mm以上の場合は、延長プレートは不要です。



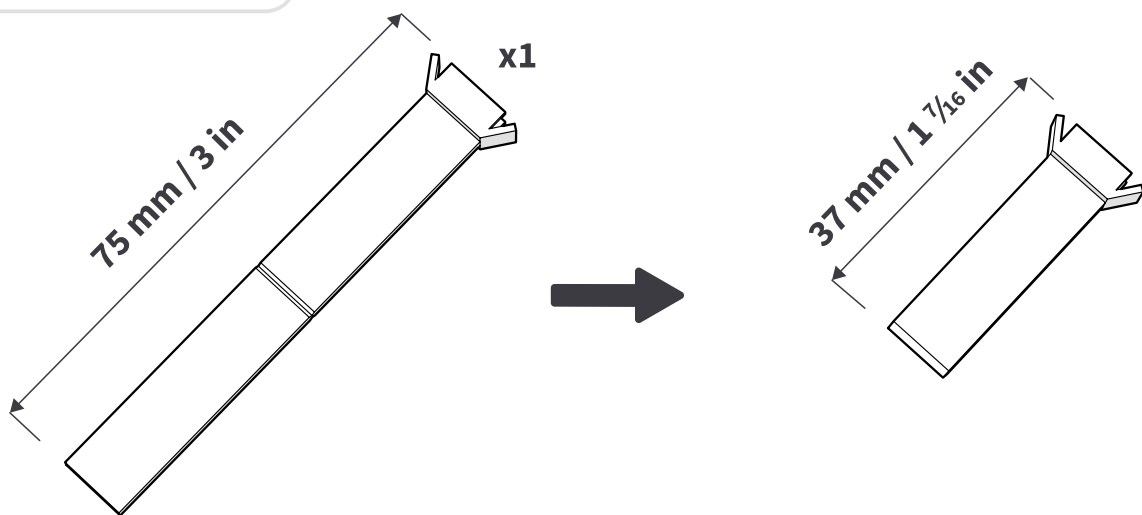
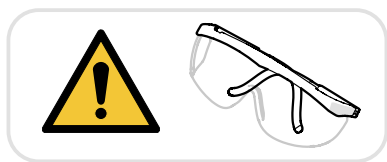
8. M5ネジを適切な長さに調節してください。

 警告：ネジを切るときは、安全メガネを着用してください。

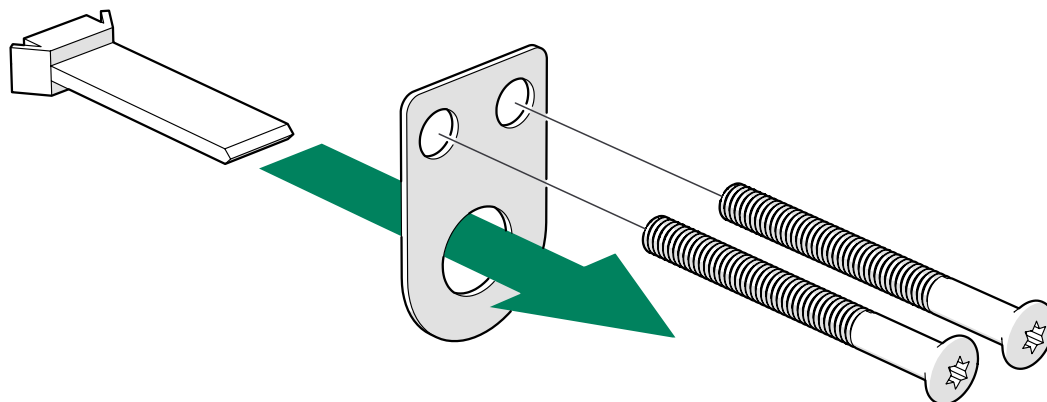


9. ツイストスピンドルは、適切な長さになるように、最初の溝まで短くしてください。

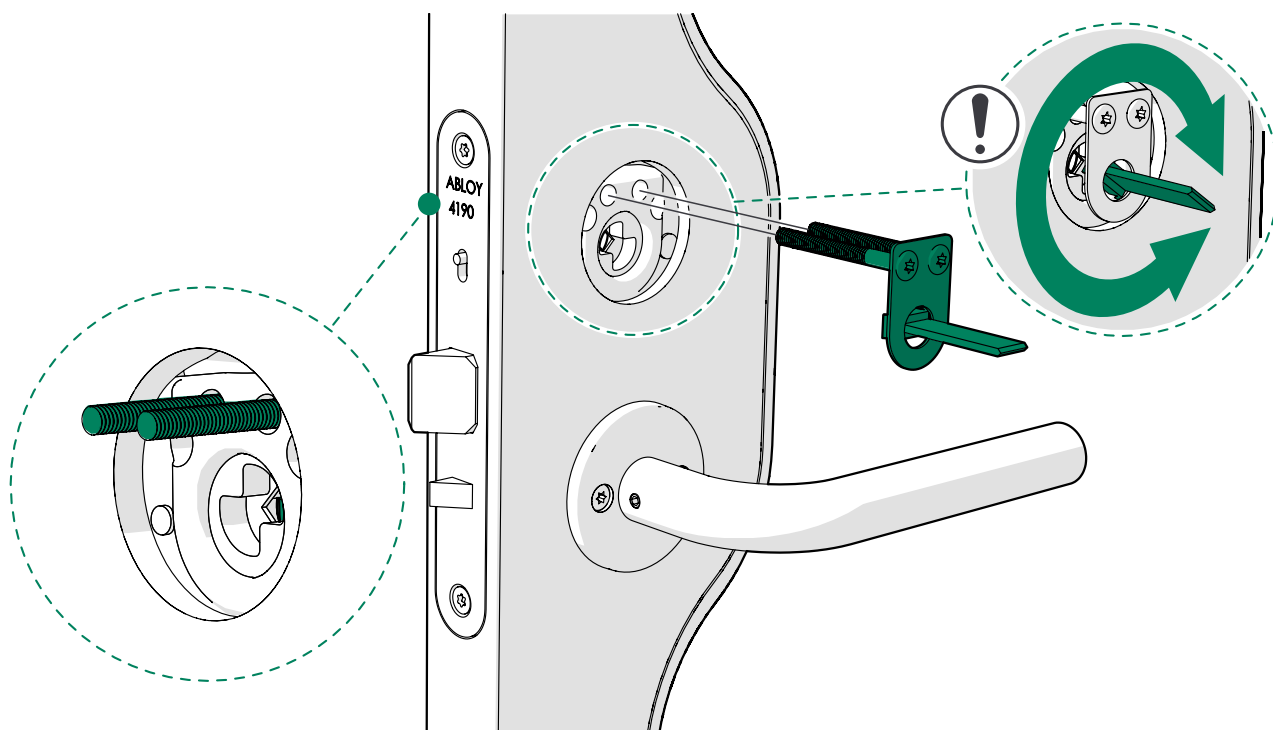
 警告：ツイストスピンドルを切るときは、安全メガネを着用してください。



- 10.** コネクタプレート、ツイストスピンドルをあらかじめカットしておいたM5x36のネジ（2個）で組み立ててください。



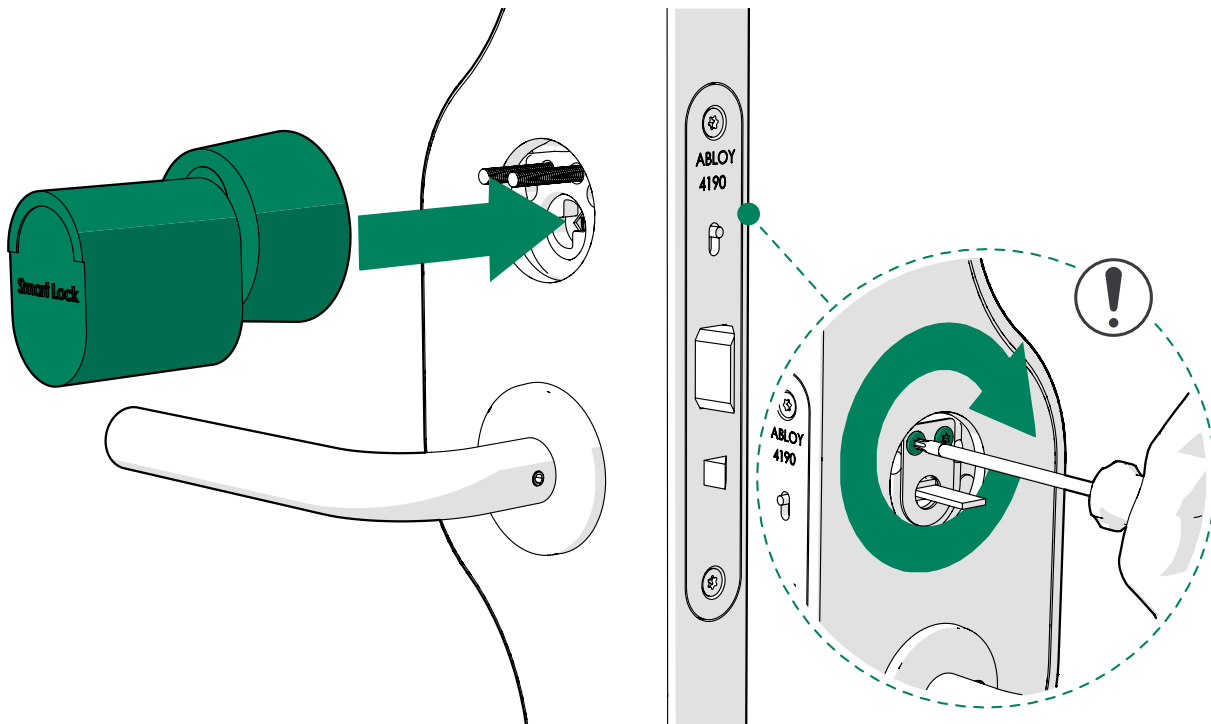
- 11.** コネクタプレート部品をドアの内側にある上部開口部に配置してください。



12. スマートロック部品をドアに取り付け、内側からネジを締めてください。

- ❗ 注：手動ドライバーでネジを締めてください。締めすぎないようにしてください。

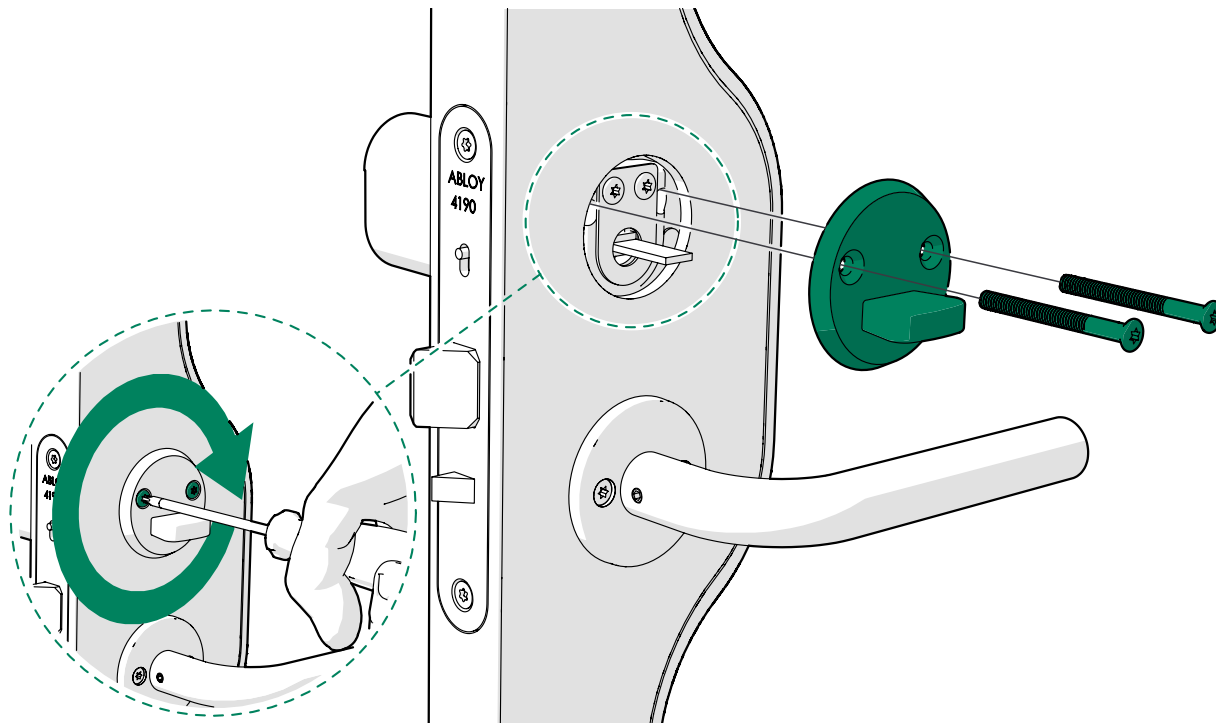
ロックラッチが元の位置に簡単に戻らない場合は、ネジを少し緩めて、ロック機能をもう一度確認してください。



13. サムターンをドアの内側にあらかじめカットしておいたM5x50のネジ（2個）で取り付けてください。

手動ドライバーでネジを締めてください。締めすぎないようにしてください。

ロックラッチが元の位置に簡単に戻らない場合は、ネジを少し緩めて、ロック機能をもう一度確認してください。

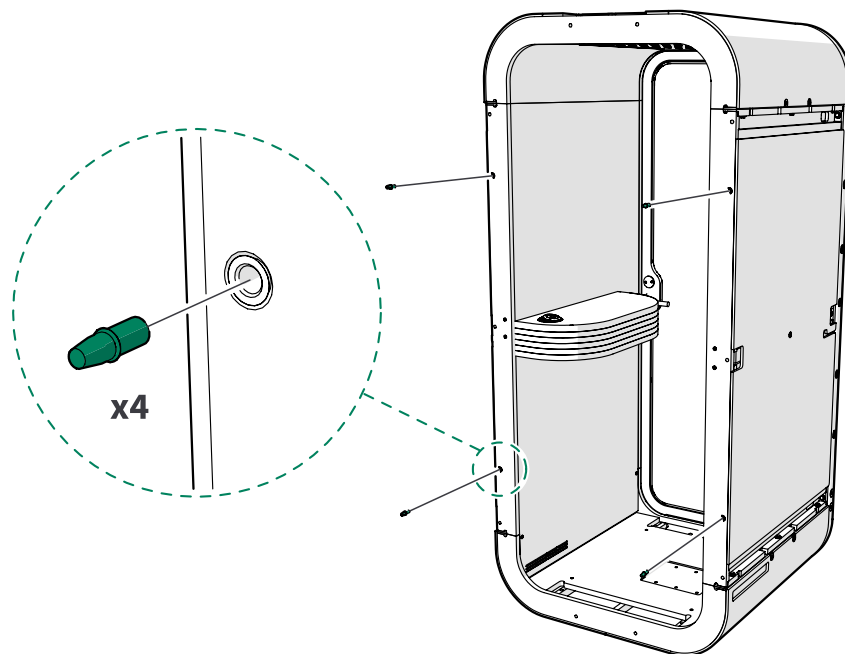


11 ガラスウォールの設置

⚠ 警告： この製品はとても重いので、怪我の危険性があります。持ち上げる際は、十分注意してください。しっかりと固定されるまでガラスウォールを支えてください。

1. ガイドピン（4個）をウォールモジュールの取り付け穴に取り付けてください。

❗ 注：ガイドピンの平らな面が取り付け穴に入ることを確認してください。



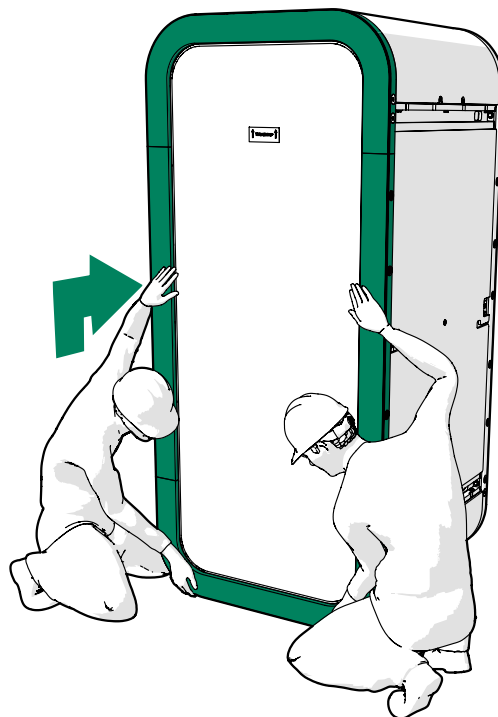
2. ガラスウォールをできるだけポッドの近くまで持ち上げてください。吸着カップを使用してください。

① 注：シールに記載されているように、ドアが正しい向きになっているか確認してください。

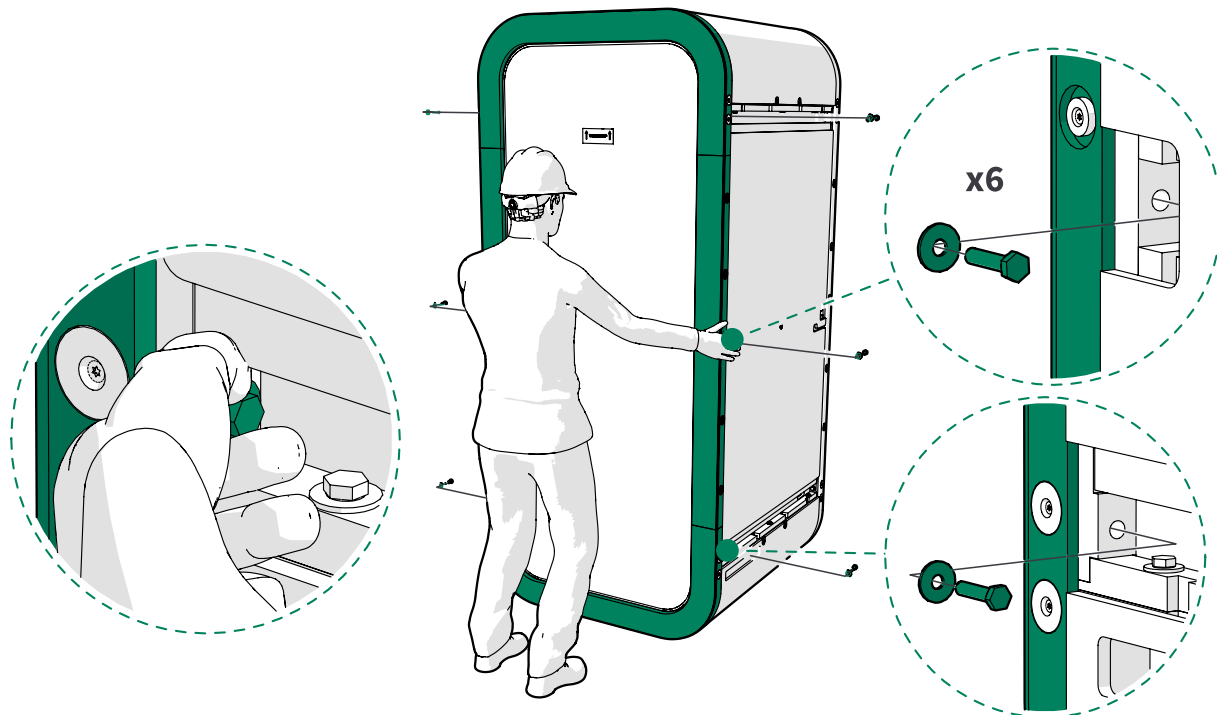


3. フロアに膝をついて、ガラスウォールを約10mm持ち上げ、所定の位置にはめ込んでください。

- ⚠ 警告：この製品はとても重いので、怪我の危険性があります。ポッドを持ち上げる際には、2人で持ち上げてください。
- ⚠ 警告：ガラスウォールとウォールモジュールまたはフロアとの間で指を挟まれないようにしてください。
- ⚠ 警告：しっかりと固定されるまでガラスウォールを支えてください。
- ⚠ 警告：設置の際には、ガラスウォールが転倒しないように注意してください。

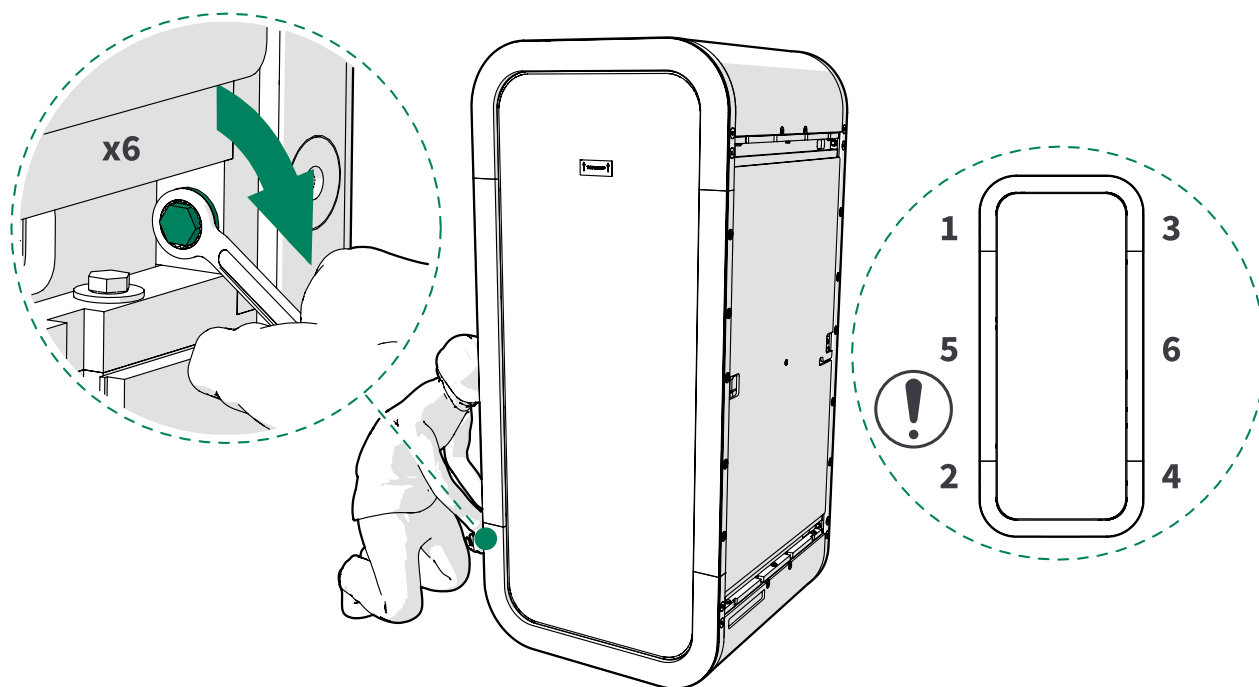


4. 壁を支えて、M8x35ボルト（6本）とM8ワッシャー（6個）を取り付けてください。ボルトを手で締めてください。



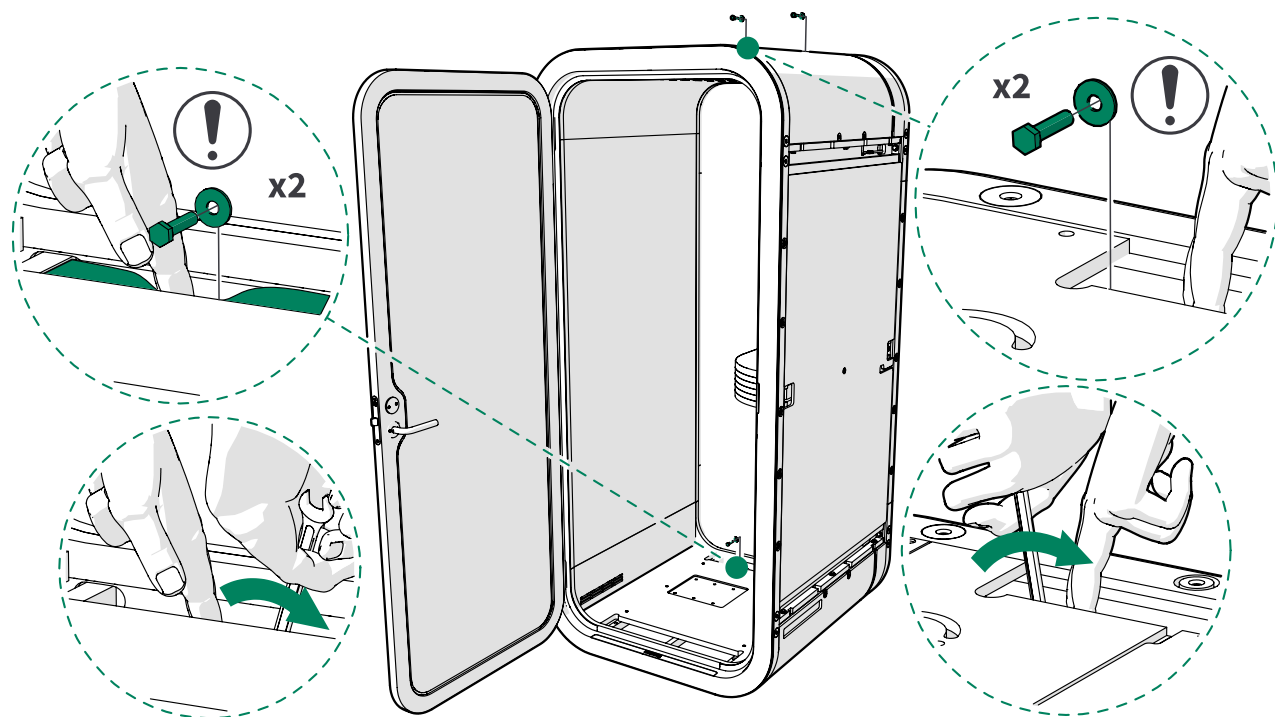
5. モジュールのボルトをスパナで締め付けてください。

❗ 注：ボルトが正しい順番で締め付けられているか確認してください。



6. M8x35ボルト（4本）とM8ワッシャー（4個）をルーフモジュールとフロアモジュールに取り付けてください。

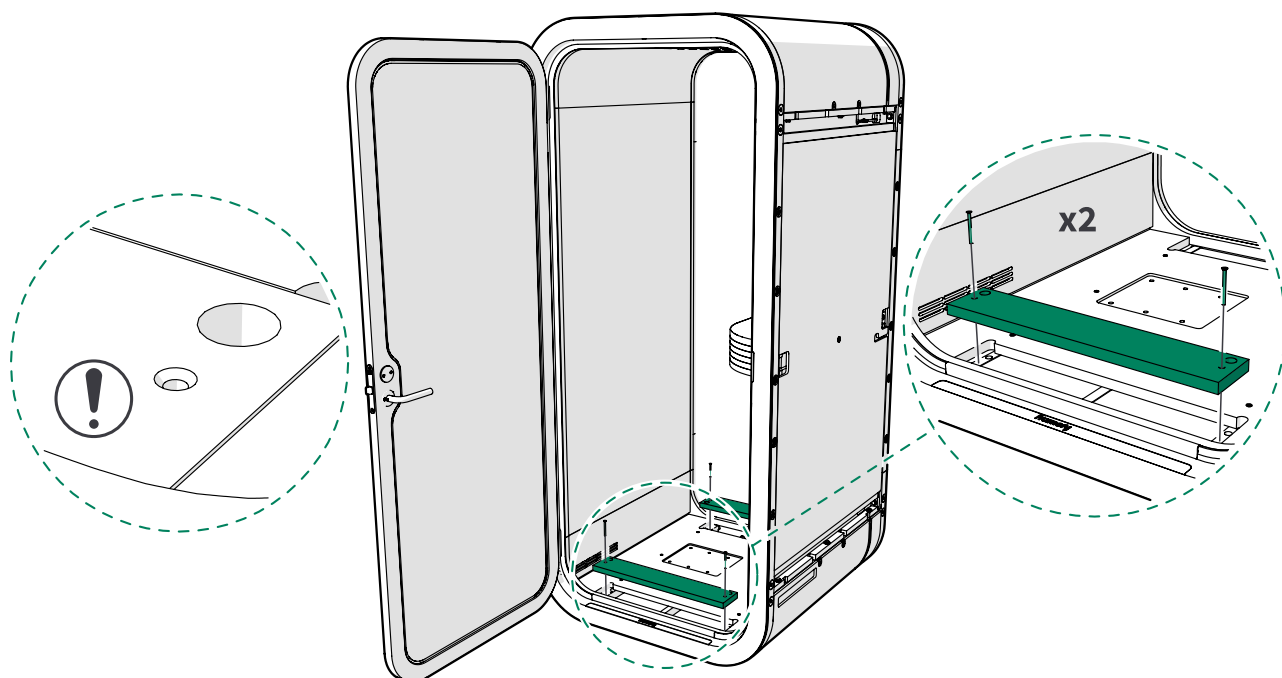
❗ 注：ボルトの穴まで届くようにアコースティックパネルを押してください。必ずアコースティックパネルを元の位置に戻してください。



11.1 フロアカバーパネルの設置

フローアーカバープレート（2個）を 4x40の皿ネジ（各2個）で取り付けてください。

❗ 注：皿穴を上にして配置してください。既存のネジ穴を使用してください。

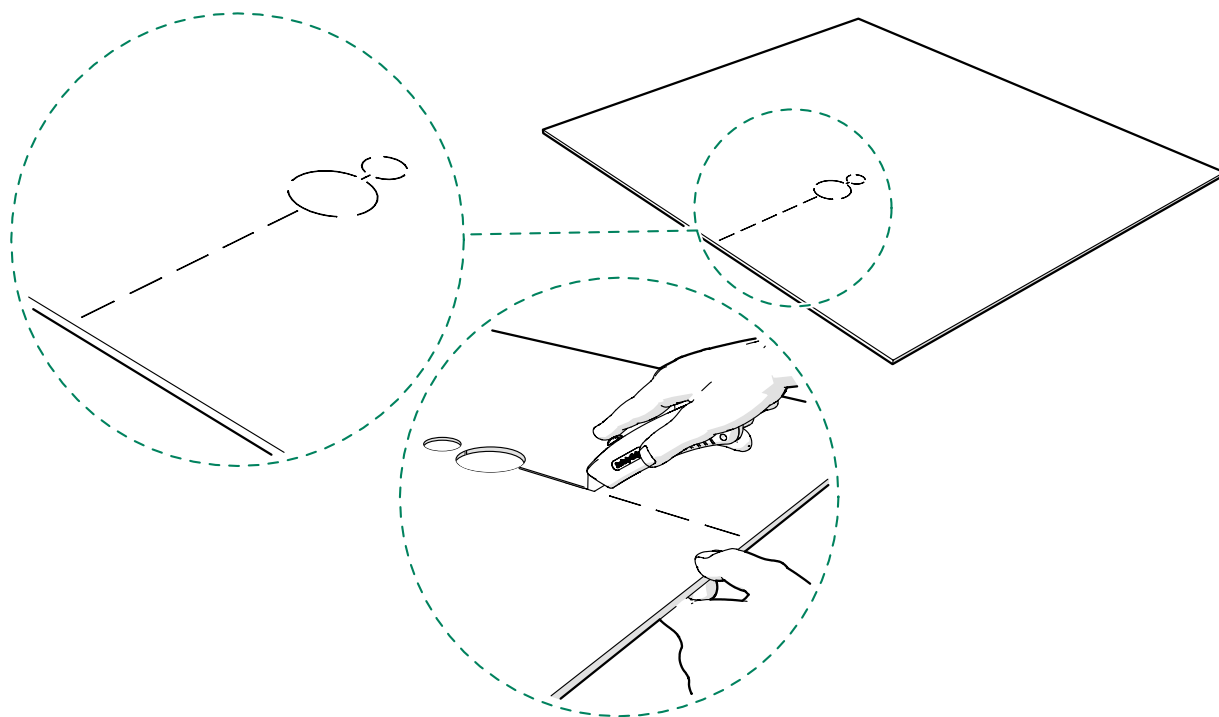


12 インテリアの設置

12.1 スツールとカーペットの設置

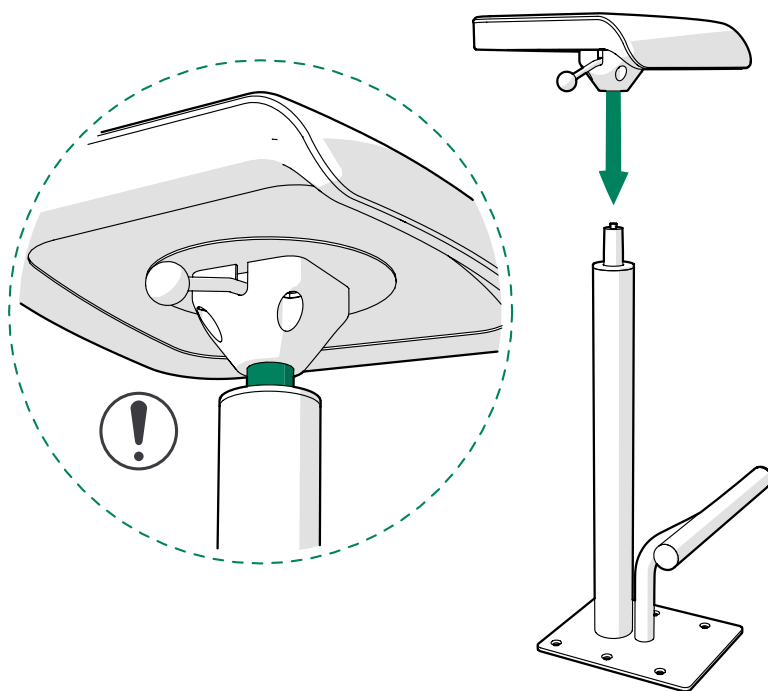
1. Toviスツールを設置する場合は、カーペットの下破線を参考にカーペットを切ってください。

① 注：Toviスツールを注文されていない場合は、カーペットを切らないでください。



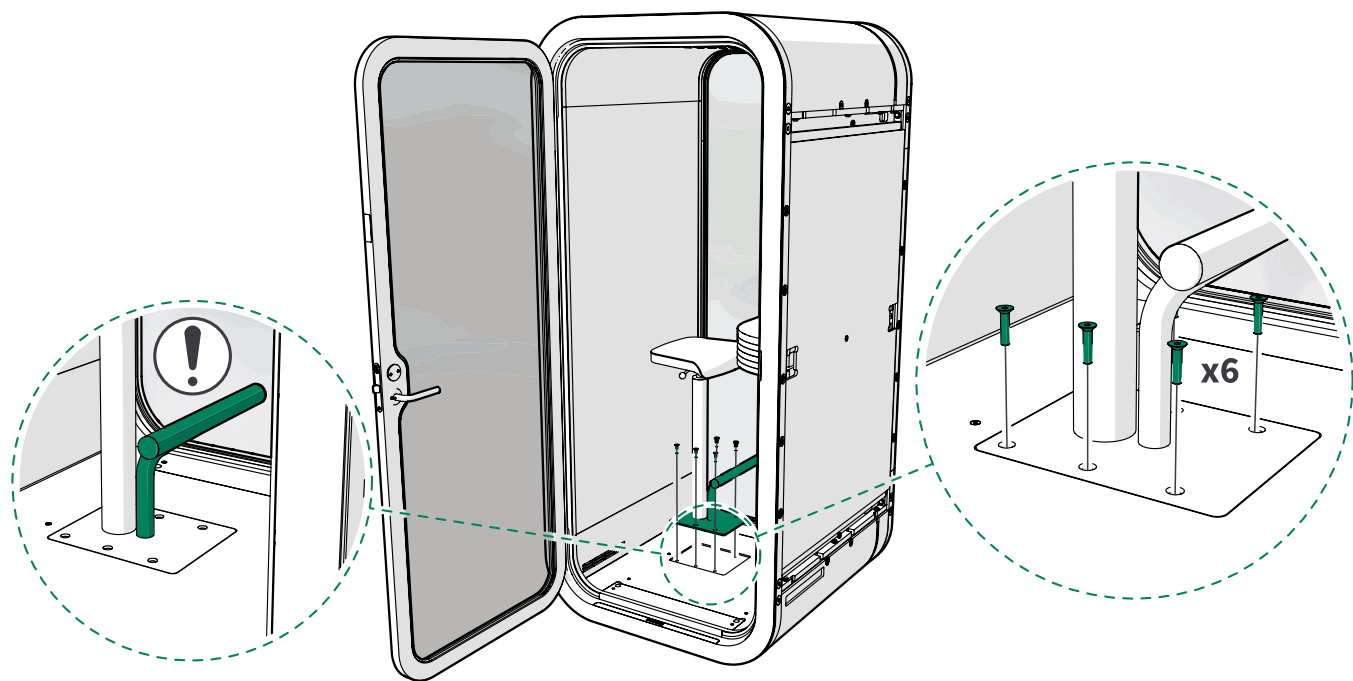
2. シートをスツール脚のガススピンドルに押し込んでください。

❗ 注：スピンドルがシート内にしっかりと入っているか確認してください。



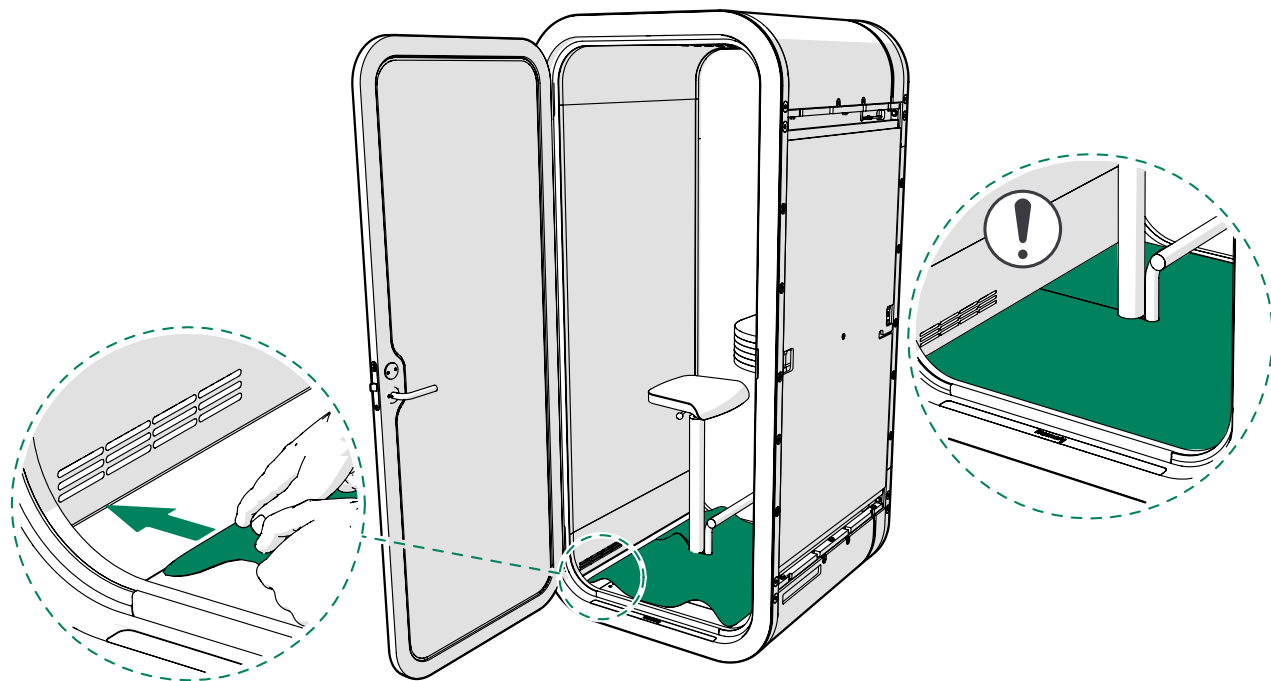
3. スツールをフロアモジュールの切り込み部分に配置してください。黒色のM8x25皿ネジ（6個）でスツールを取り付けてください。

❗ 注：フットレストがテーブル側にあることを確認してください。



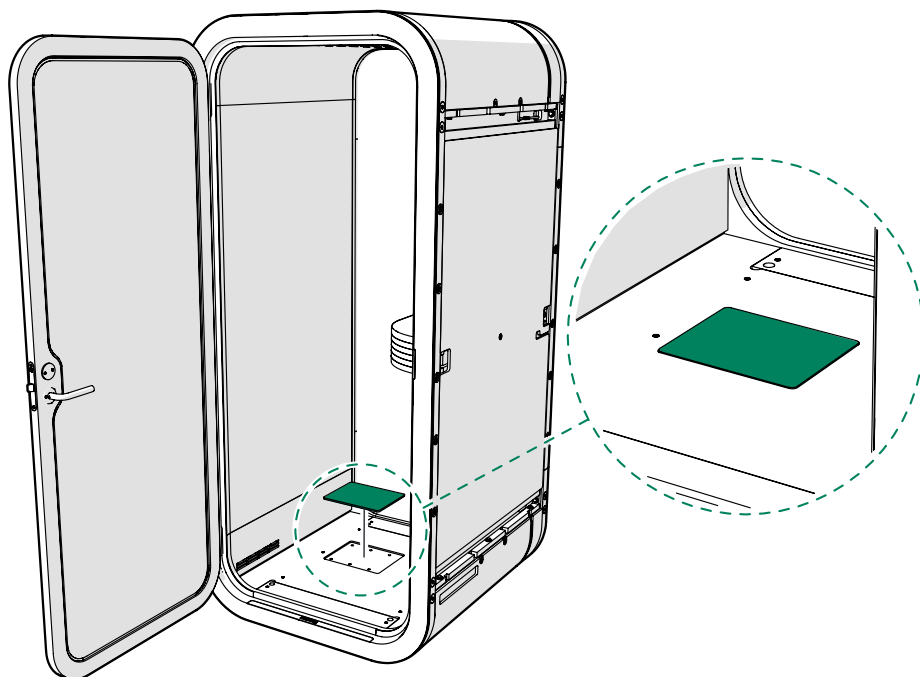
4. カーペットをスツールの周りやウォールフェルトの下にスライドさせてください。

❗ 注：カーペットがしっかりと取り付けられ、凹凸がないか確認してください。



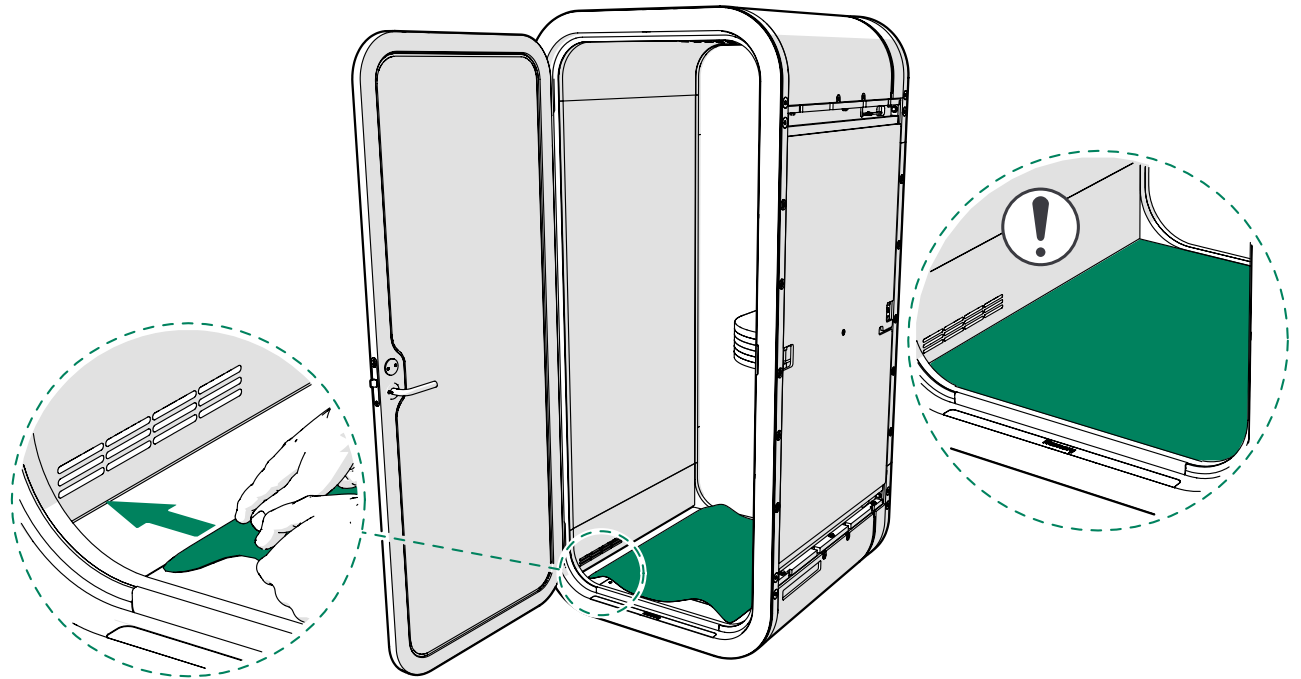
12.2 カーペットの設置（スツールなしの場合）

1. カバープレートを、フロアモジュールのスツール取り付け用切り込みに入れてください。



2. カーペットの端を壁のフェルトの下にスライドさせてください。

① 注：カーペットがしっかりと取り付けられ、凹凸がないか確認してください。

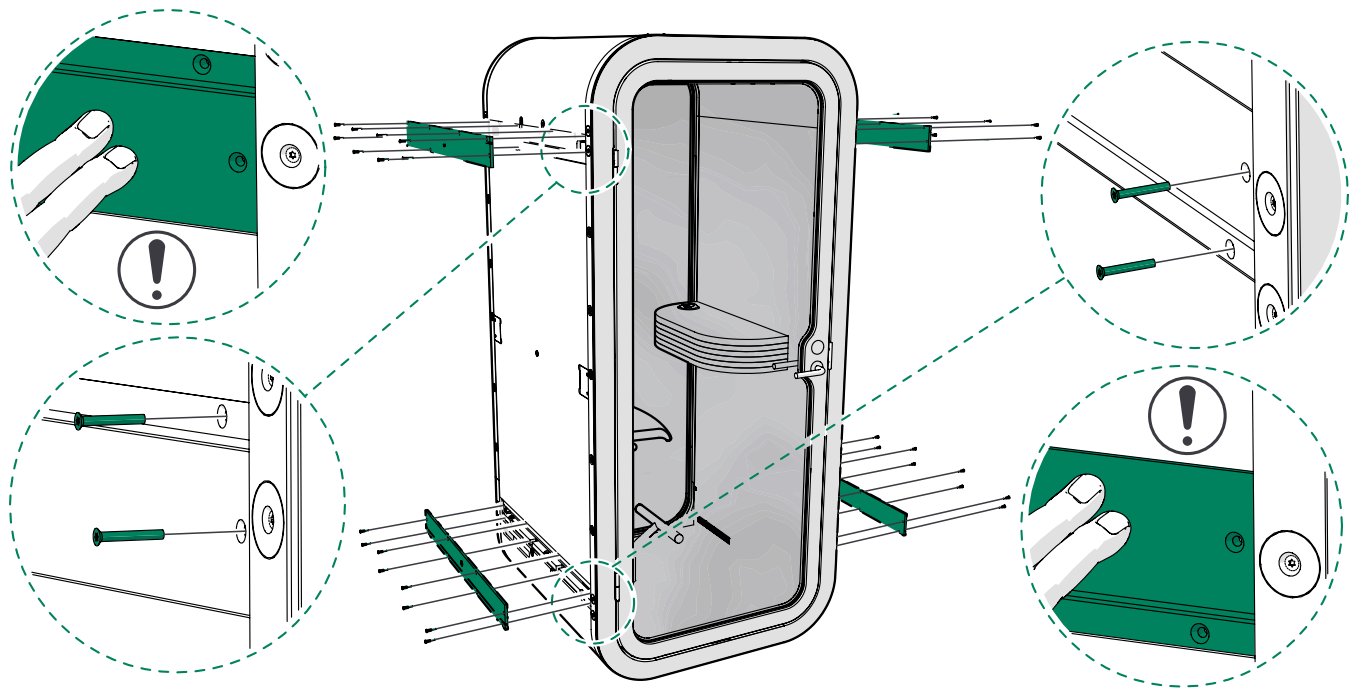


13 カバーパネル と電源コードの設置

13.1 ウォールカバーパネルの設置

壁カバーパネル（4個）を4x30ネジ（各8個）で取り付けてください。

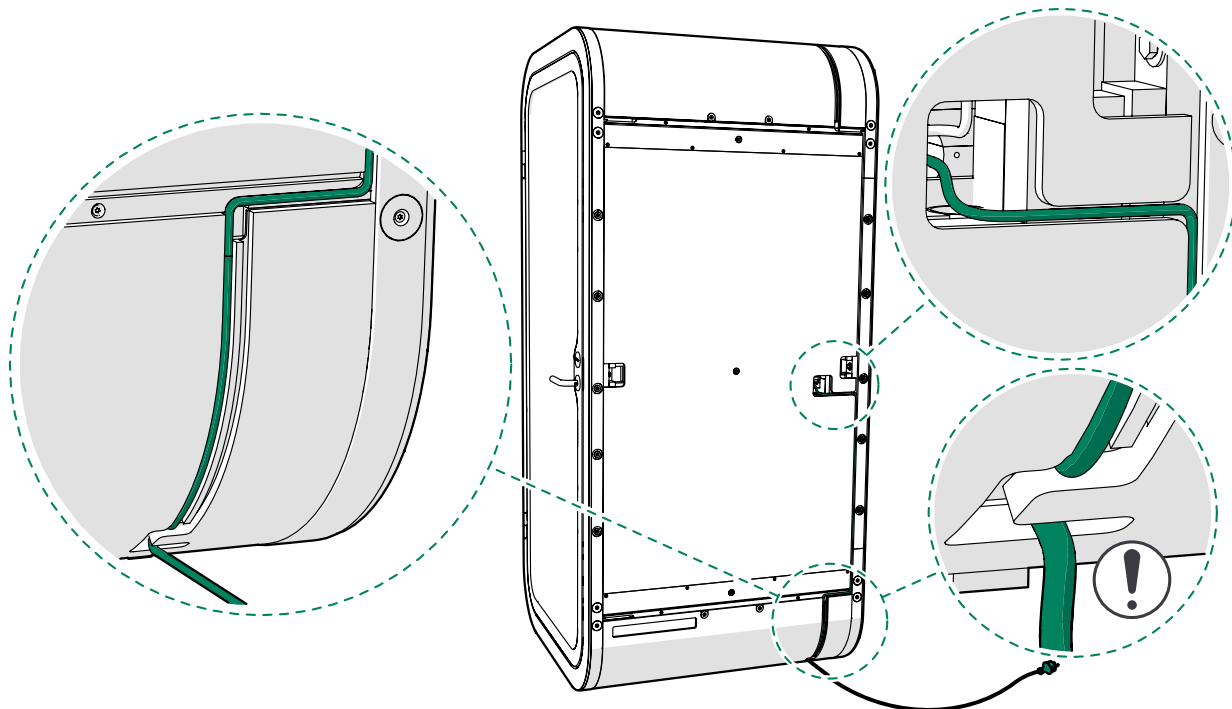
- ❗ 注：電源コードが破損しないように注意してください。
- ❗ 注：パネルの溝が外周にあることを確認してください。既存のネジ穴を使用してください。
- ❗ 注：初めて設置する場合は、最初に取り外したネジに加えて、パネル1枚につき2個の予備ネジが必要です。カバーパネルに空いている2つの皿穴に、追加のネジを2個取り付けてください。



13.2 フロアからの電気コード取付け方法

電源コードをポッドの壁の側面に通し、フロアモジュールの電気ダクトに通してください。

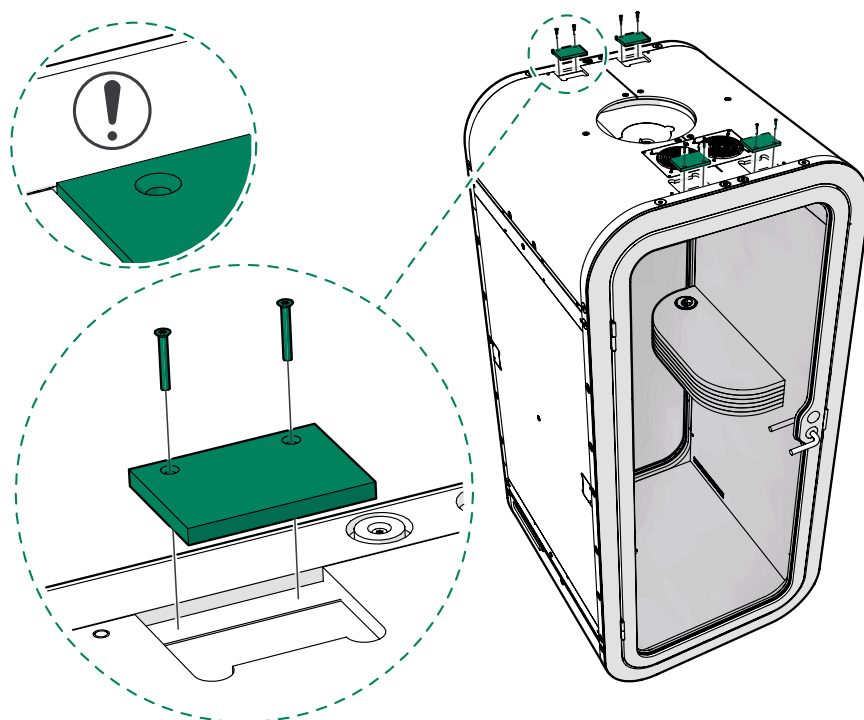
- ❗ 注：電源コードをストレーンリリーフの下に通してください。



13.3 ルーフカバーパネルの設置

ルーフカバーパネル（4個）を4x30ネジ（各2個）で取り付けてください。

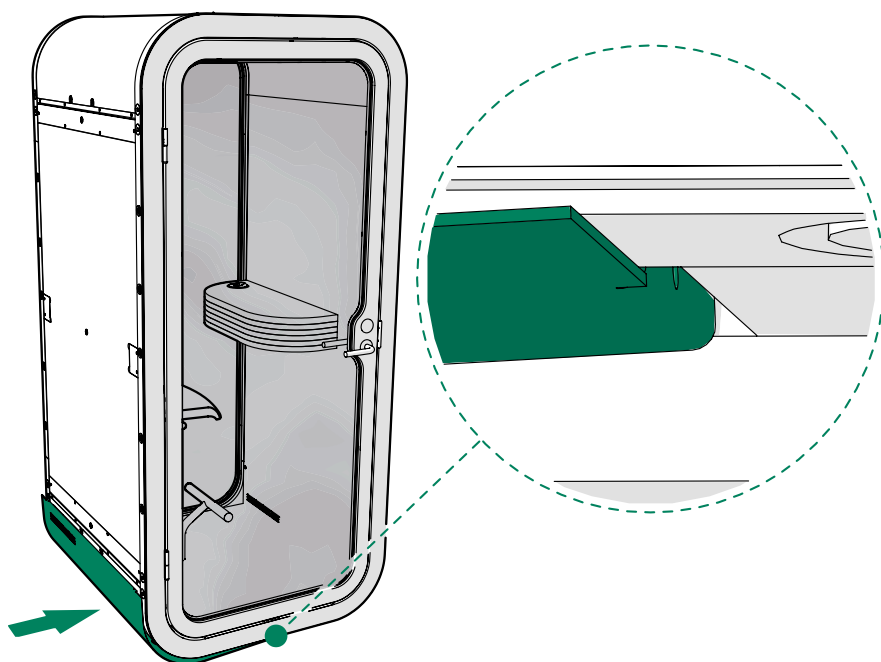
❗ 注：皿穴を上にして配置してください。既存のネジ穴を使用してください。



13.4 ボトムボディカバーの設置

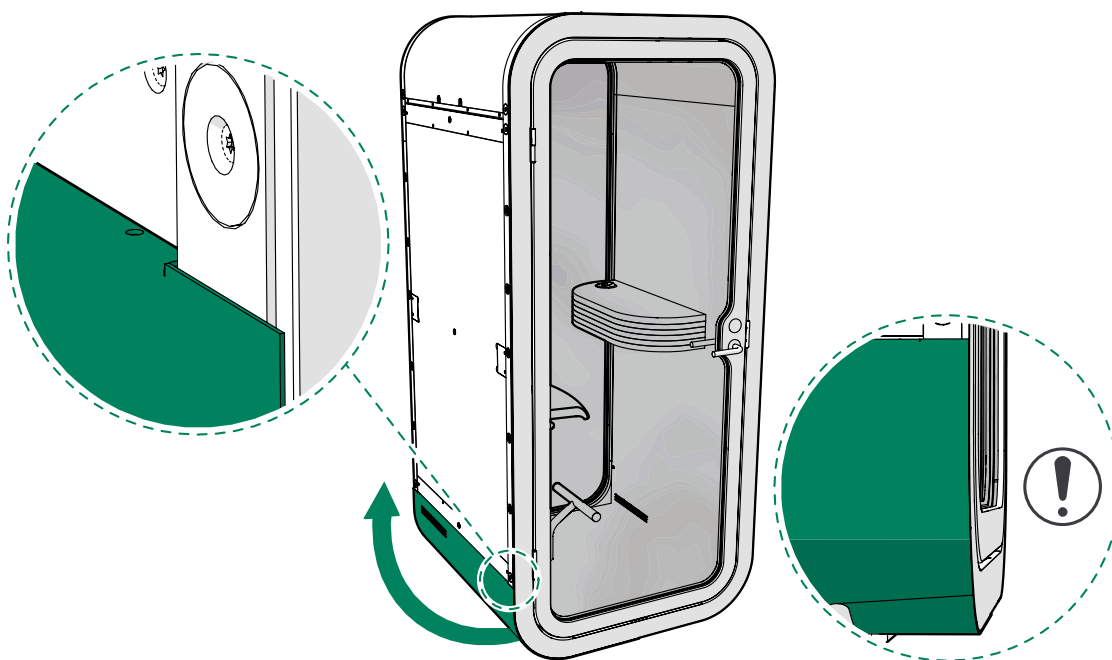
1. 左側のボトムボディカバーをポッドの下にスライドさせてください。

2. ボディカバーの折り返し部分を、ポッドの下にある取り付け用の溝に入れてください。



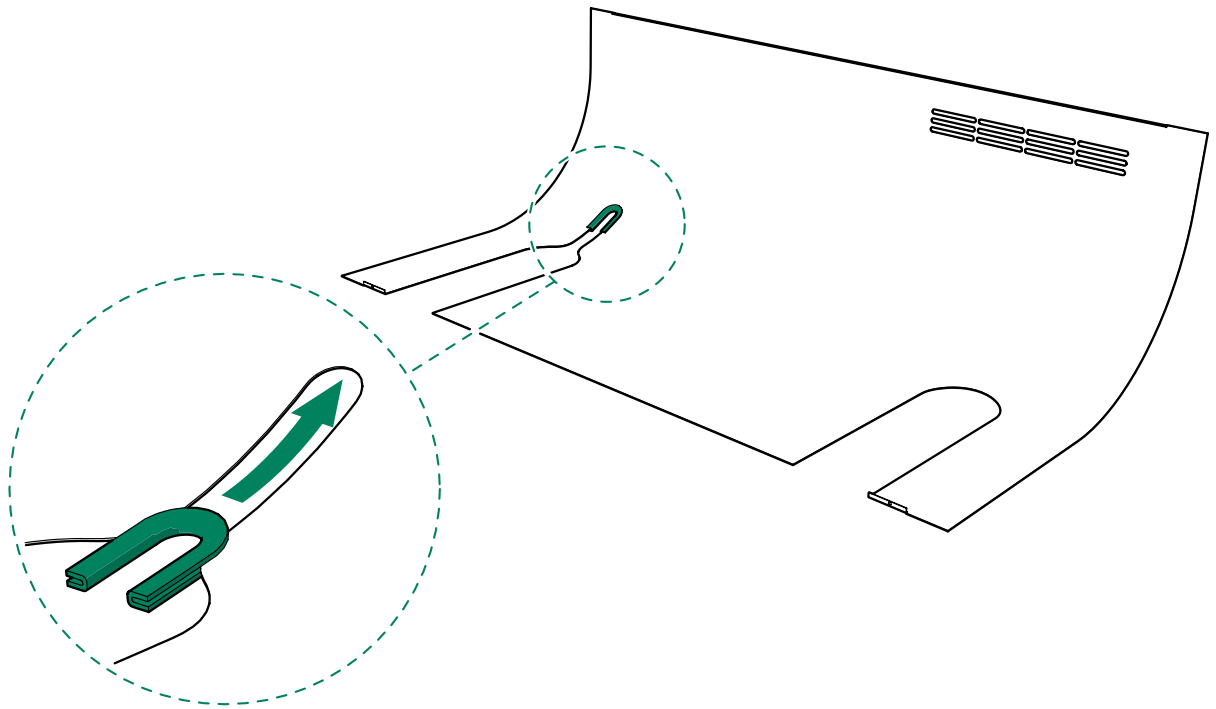
3. 本体カバーを外側と上側に同時に引っ張ってください。カバーの折り返し部分をポッドの側面にある取り付け溝に入れてください。

❗ 注：本体カバーをドアフレームに合わせてください。ボディカバーとドアフレームの間には隙間がないようにしてください。ボディカバーが均等に取り付けられていて、その位置が正しいか確認してください。



4. 電源コードをフロアモジュールに取り付けた場合は、導通性ゴムを右下のボディカバーに取り付けてください。
ゴムを折り曲げてから取り付けてください。

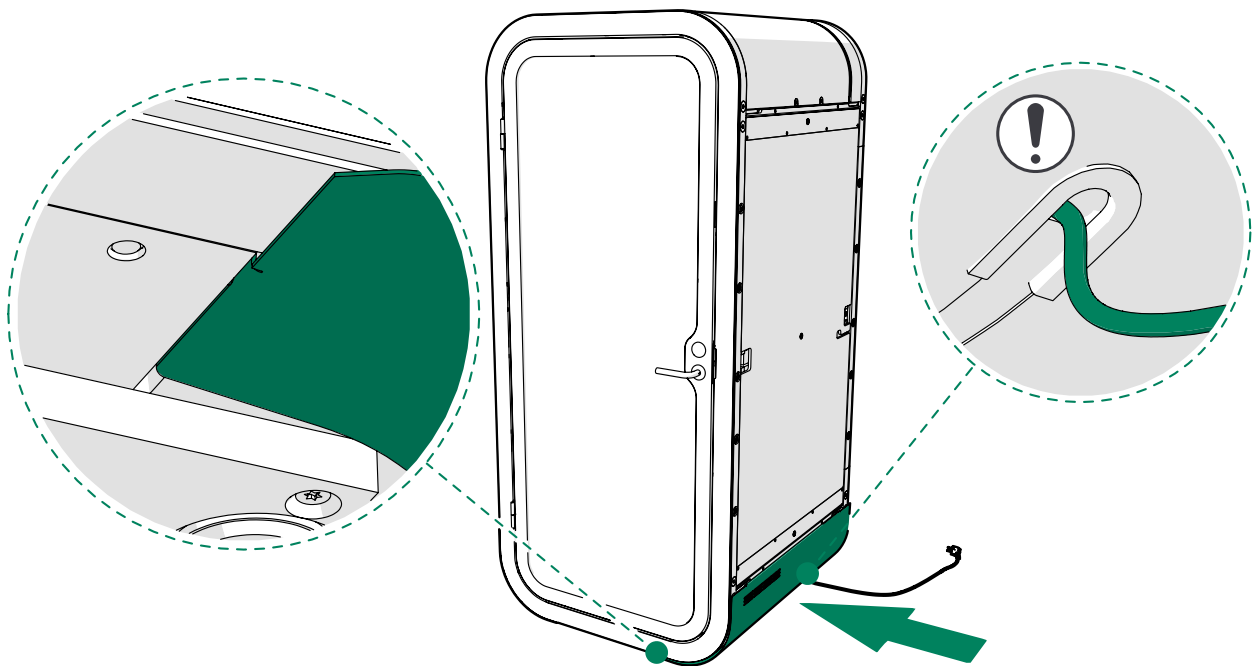
❗ 注：初めて設置する時に限り、この作業を行わなくてはなりません。



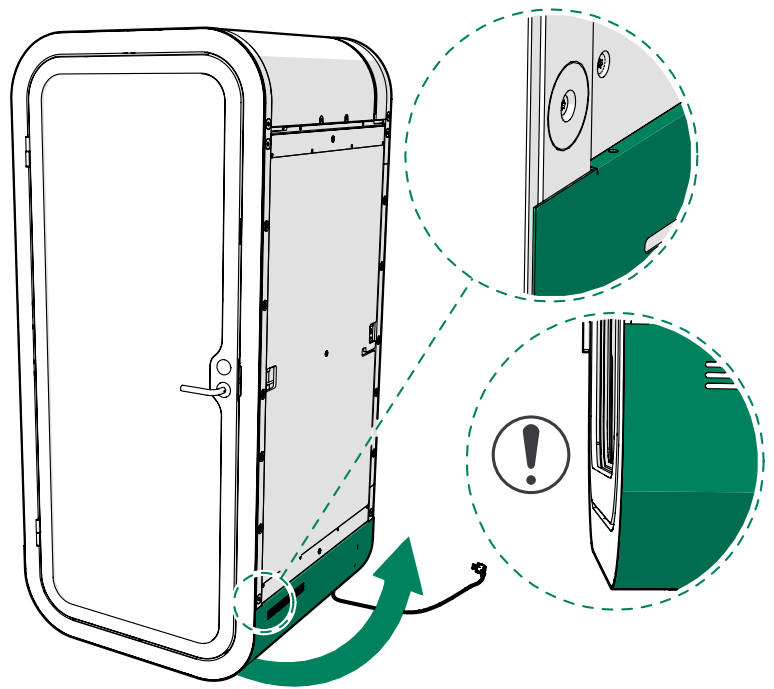
5. 右側の底面ボディカバーをポッドの下にスライドさせてください。

❗ 注：フロアモジュールに電源コードを取り付けた場合は、電源コードを導通性ゴムに通して支えながら本体カバーをスライドさせてください。

6. ボディカバーの折り返し部分を取り付け用の溝に入れてください。



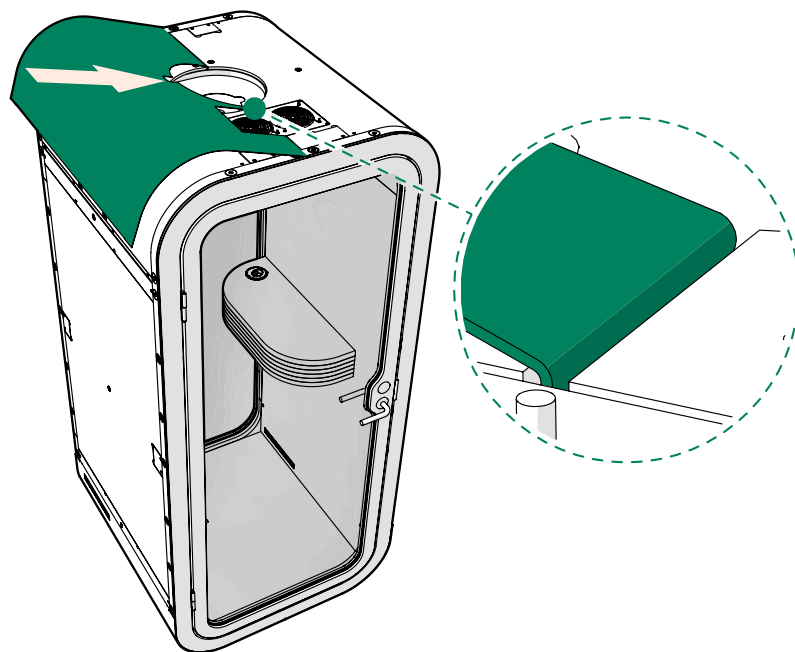
7. 本体カバーを外側と上側に同時に引っ張ってください。カバーの折り返し部分を取り付け用の溝に入れてください。
- ① 注：本体カバーをドアフレームに合わせてください。ボディカバーとドアフレームの間には隙間がないようにしてください。ボディカバーが均等に取り付けられていて、その位置が正しいか確認してください。



13.5 ルーフボディカバーの設置

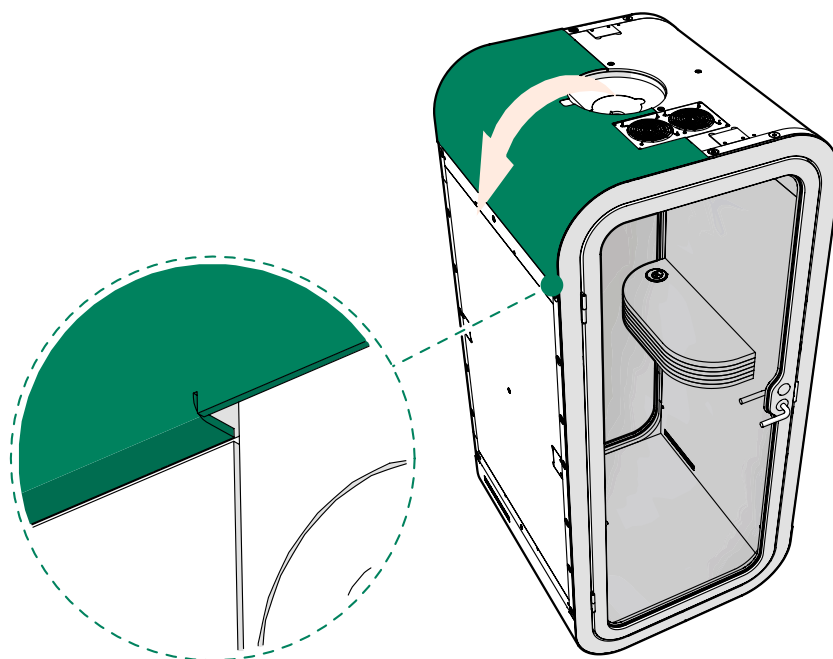
ルーフボディカバーを1つずつ設置してください。

1. ルーフボディカバーの上側の折り返し部分を、ルーフの左側にある取り付け溝に入れてください。



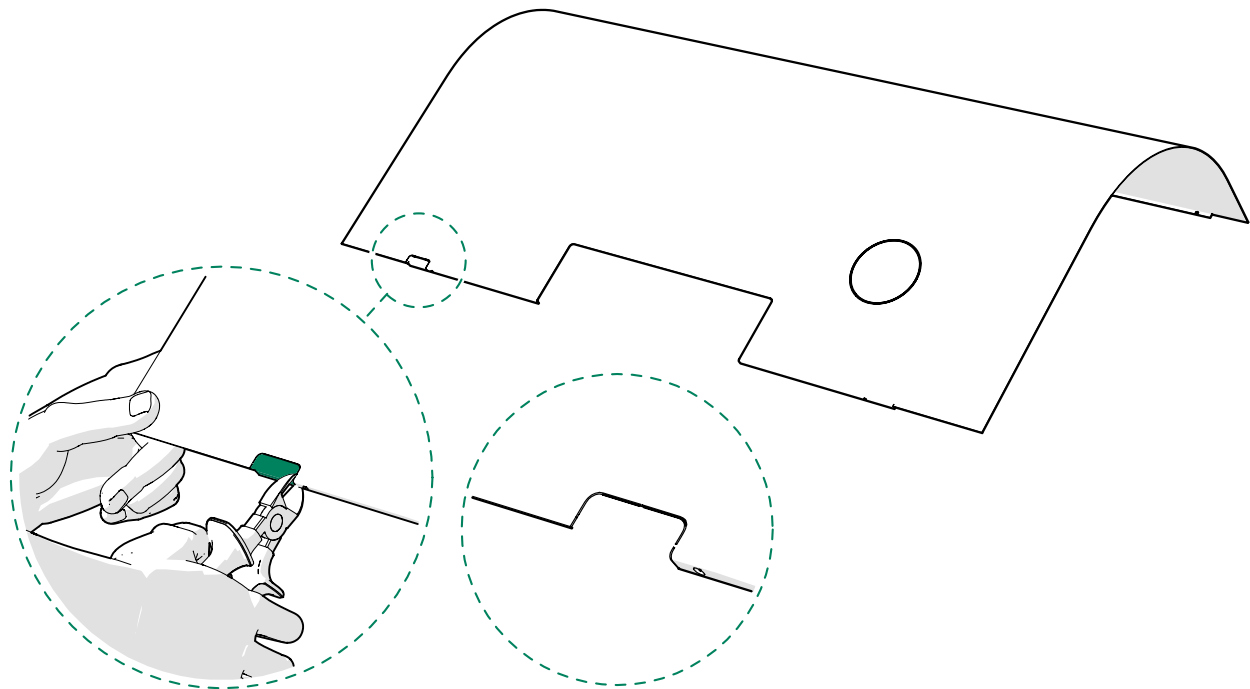
2. ボディカバーを外側と上側に同時に引っ張ってください。ボディカバーの下側の折り返しを、下側の取り付け溝に押し込んでください。

❗ 注：カバーをドアフレームに合わせてください。ボディカバーとドアフレームの間には隙間がないようにしてください。ボディカバーが均等に取り付けられていて、その位置が正しいか確認してください。



3. 電源コードをルーフモジュールに取り付けている場合は、ボディカバーの切り込み部分を切ってください。

❗ 注：初めて設置する時に限り、この作業を行わなくてはなりません。



4. 右側のルーフボディカバーにも1～2の手順を繰り返してください。

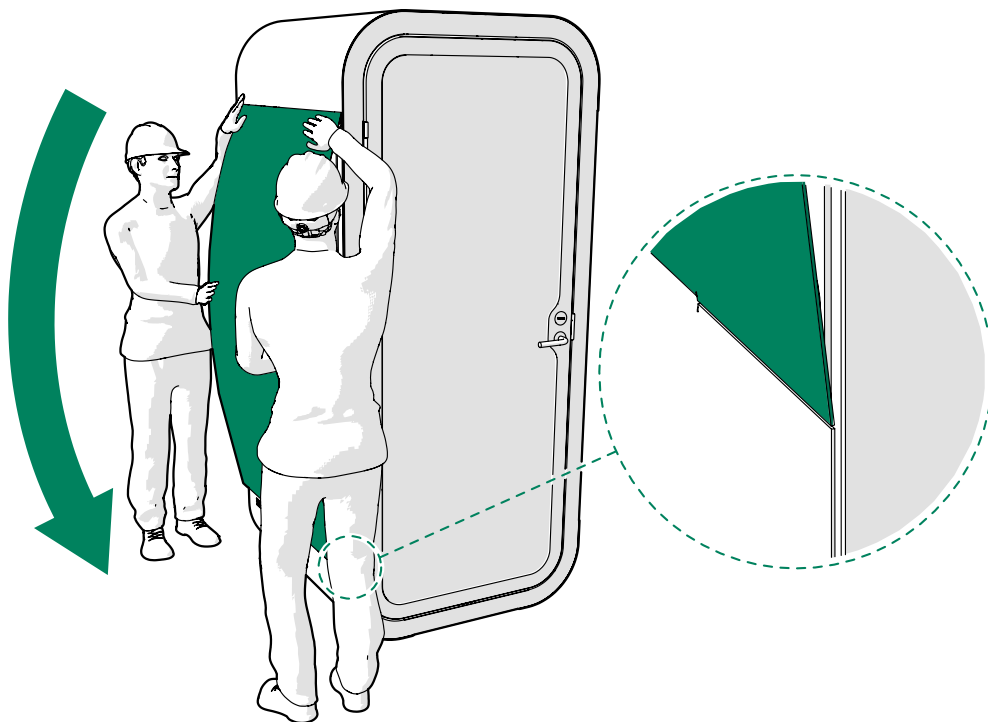
13.6 壁面ボディカバーの設置

1. 片方の本体カバーの端を壁の上部にある溝に入れてください。



2. 片手でボディカバーを上部の溝に押し込み、もう一方の手でボディカバーを外側に軽く曲げてください。本体カバーの下端を壁の下部にある溝にスライドさせ、本体カバーを押し込んでください。

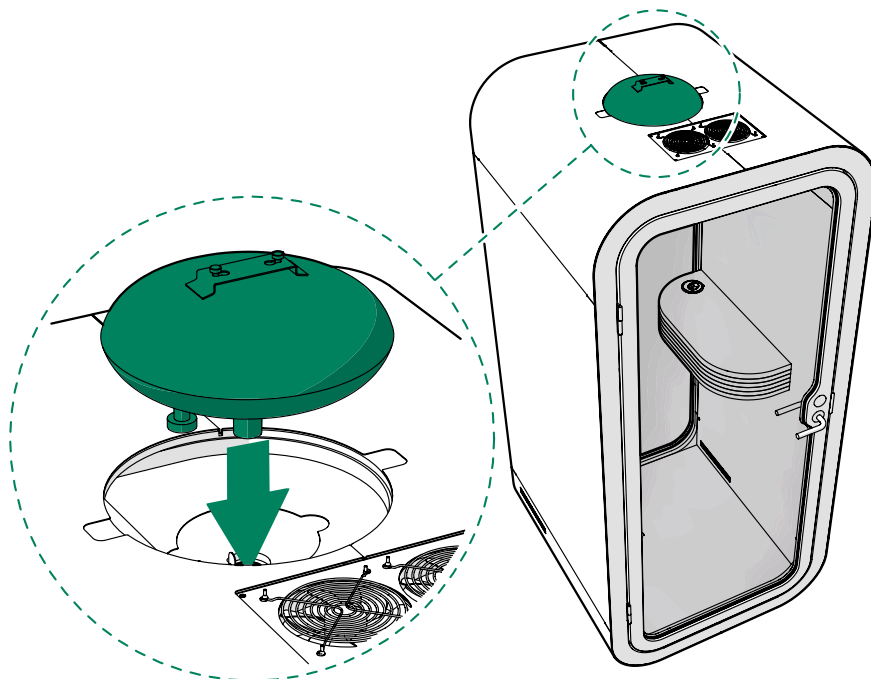
- ❗ 注：電源コードが破損しないように注意してください。
- ❗ 注：カバーをドアフレームとフロアボディカバーに合わせてください。
- ❗ 注：ボディカバーとドアフレームの間には隙間がないようにしてください。
- ❗ 注：ボディカバーが均等に取り付けられていて、その位置が正しいか確認してください。必要に応じて、白色のゴム製ハンマーで壁のカバーを軽くたたいて、位置を合わせてください。



3. もう一方のウォールボディカバーも、同じ手順で取り付けてください。

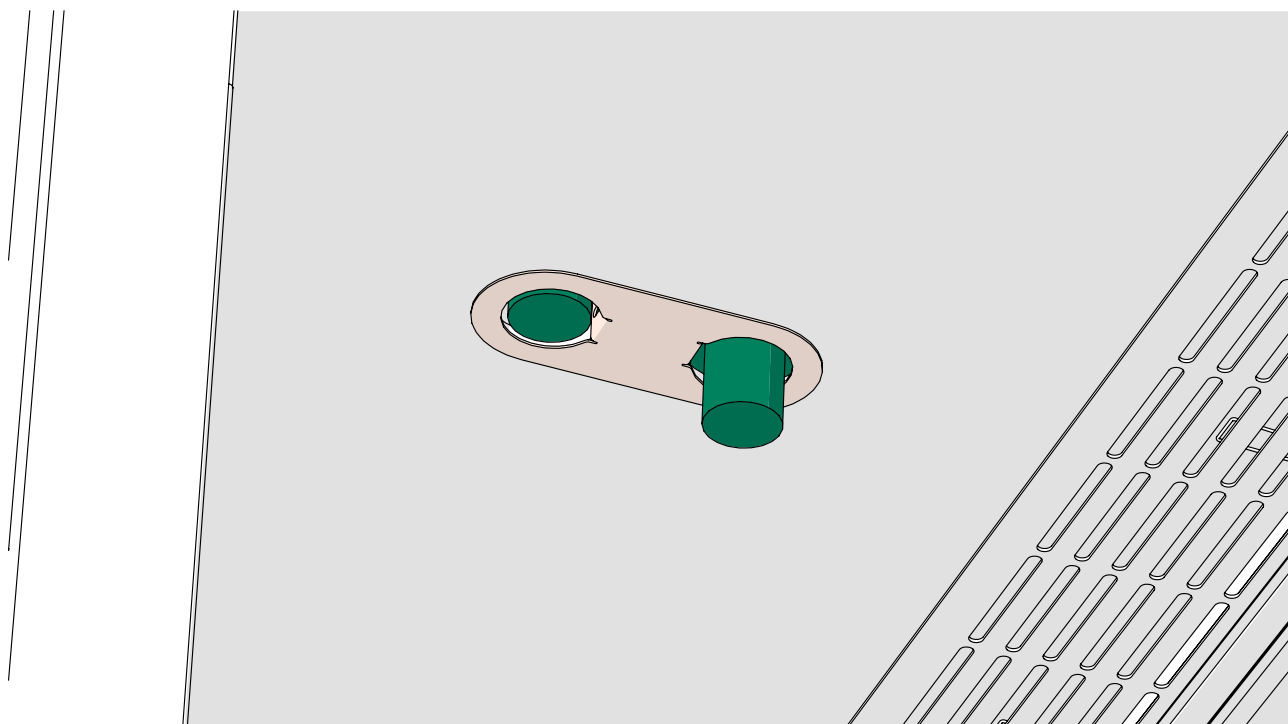
14 スプリンクラーの設置

1. スプリンクラーを屋根の上に設置してください。



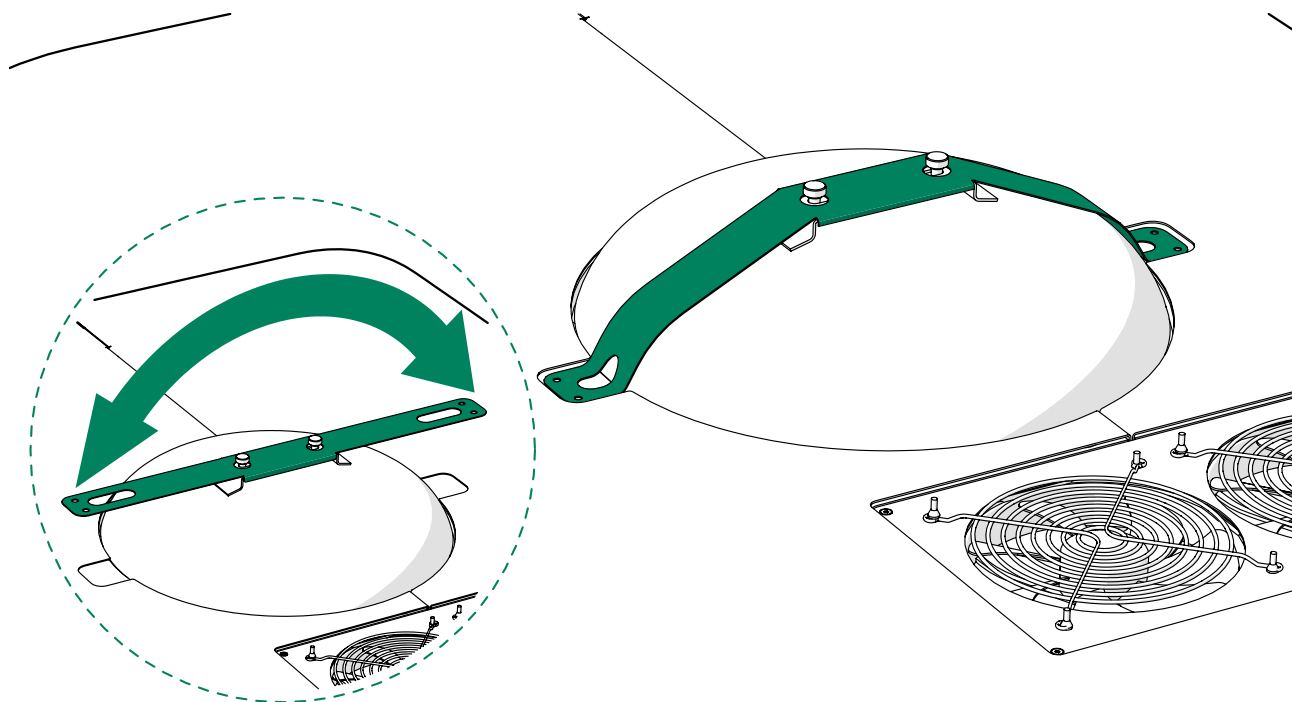
2. スプリンクラーをポッド内からカバープレートの中央に合わせてください。

① ヒント：カバープレートを動かして、スプリンクラーを所定の位置に設置することができます。

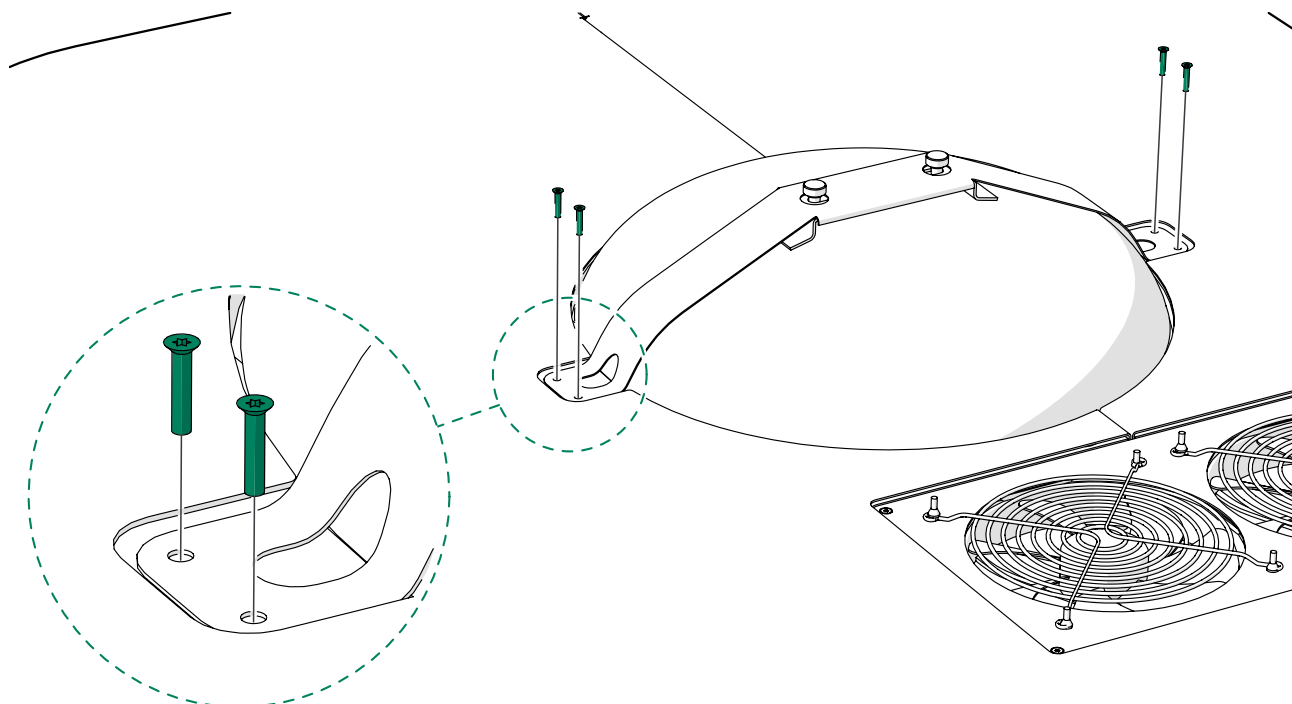


3. スプリングラーをスチールバンドで屋根に固定してください。
スプリングラーのツマミにスチールバンドを当て、手で押し込んで形を整えてください。

① ヒント： 折り返し部分であらかじめバンドを曲げることができます。



4. 3,5x16のネジ (4個) でバンドを屋根に取り付けてください。



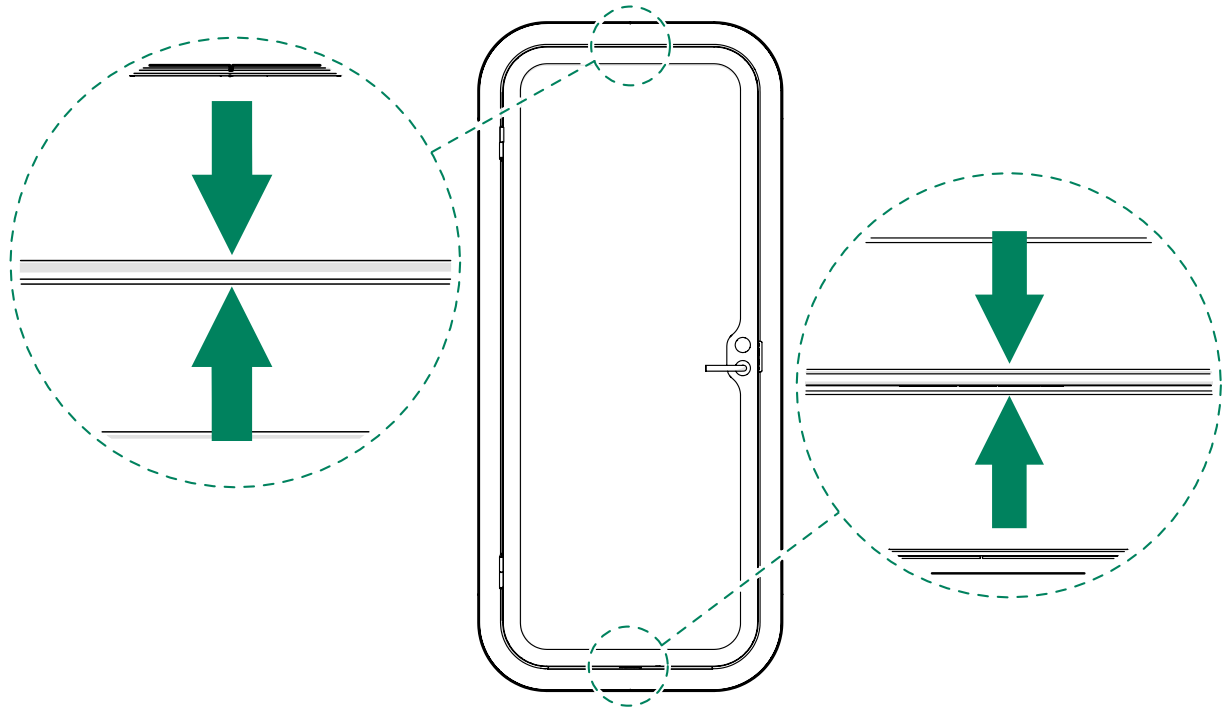
15 最終確認

15.1 ドアの位置確認

ドアが正しい位置にあるか確認してください。

ドアの上部と下部、フレームの間には、同じ分の空きスペースを確保してください。

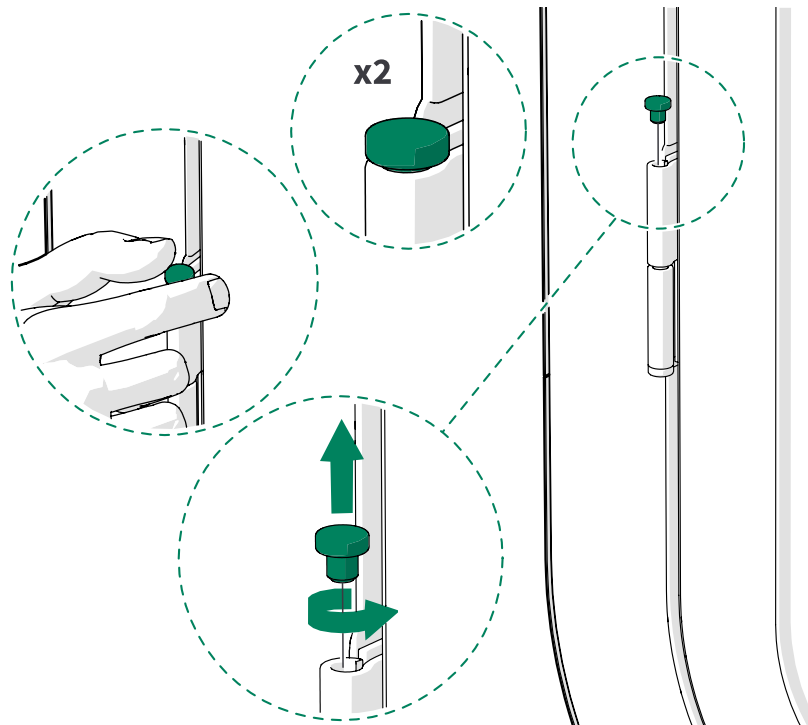
ドアの調整が必要な場合は、こちらをご覧ください。 [ドアの高さ調節](#) (76ページ)



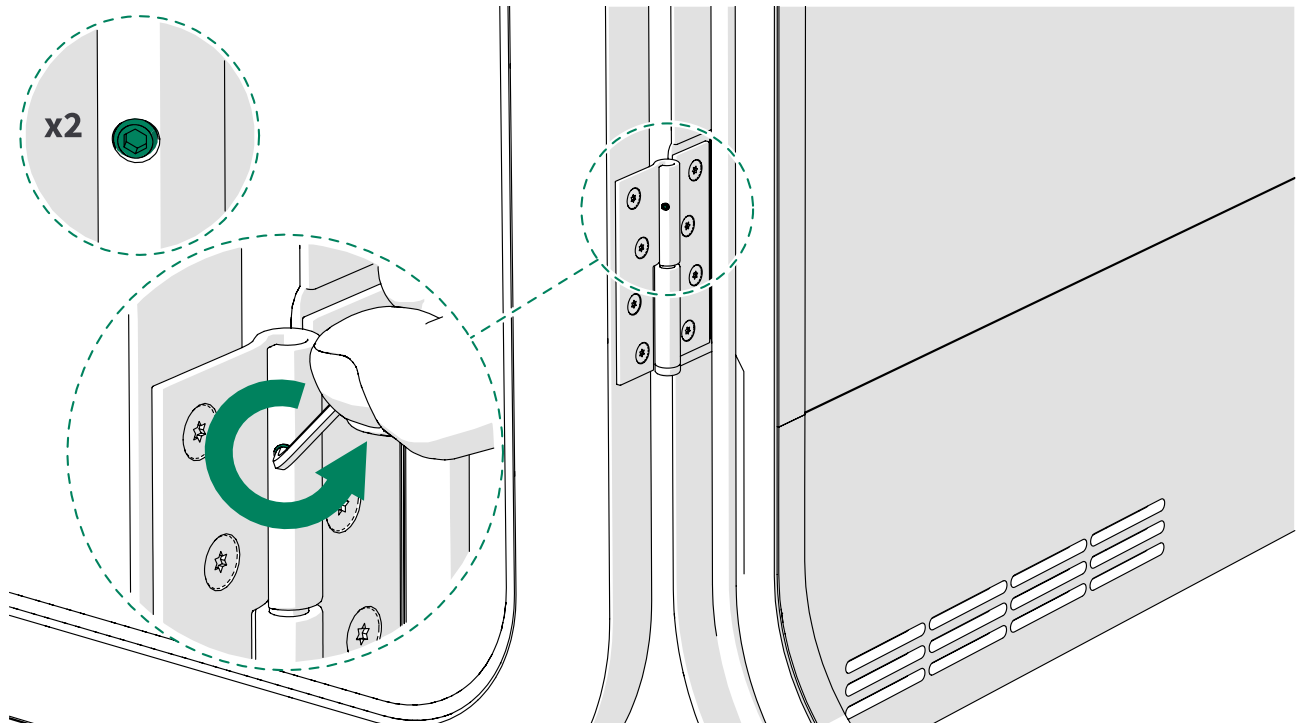
15.2 ドアの高さ調節

ドアが垂直になっているか確認してください。ドアがフレームの真ん中にきていない場合は、真ん中にくるように調整してください。

1. 両方のヒンジからキャップを外してください。



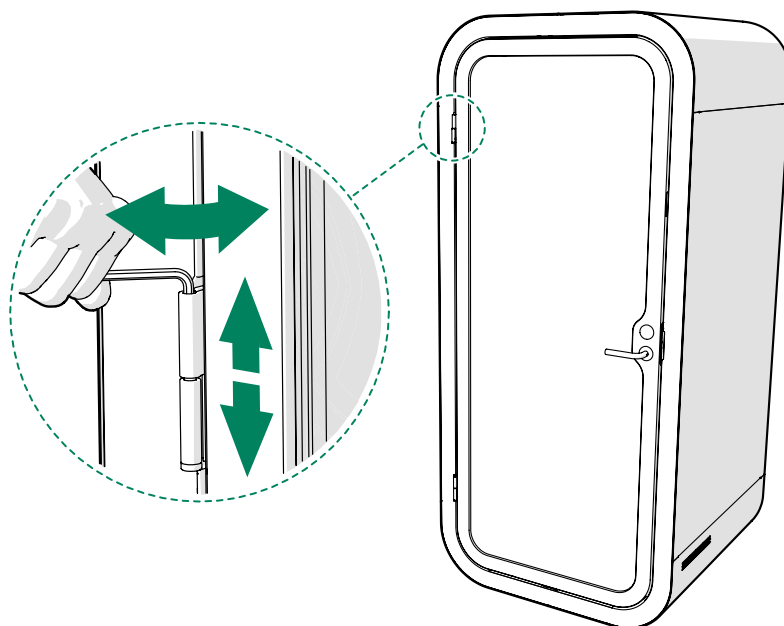
2. ドアを開けて、両方のヒンジの止めネジを緩めてください。



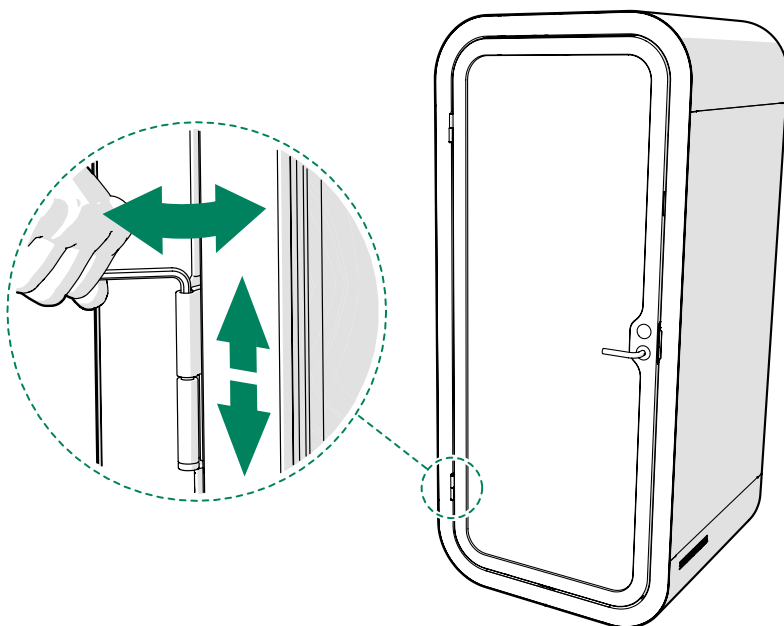
3. ドアを閉めてください。

4. ドアを上げるには、六角レンチを上側のヒンジの上部に差し込み、時計回りに回してください。ドアを下げるには、反時計回りに回してください。

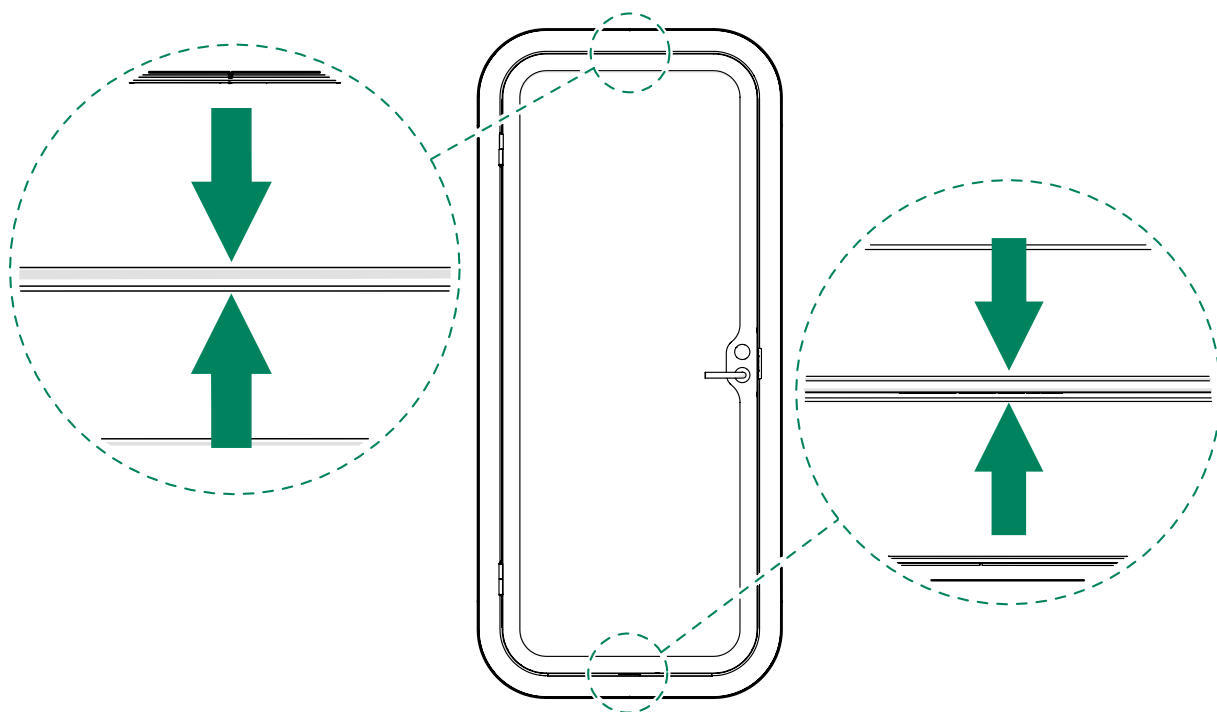
❗ 注：通常、初期設置をした後は、ドアの高さを上げる事はあっても下げる事はありません。



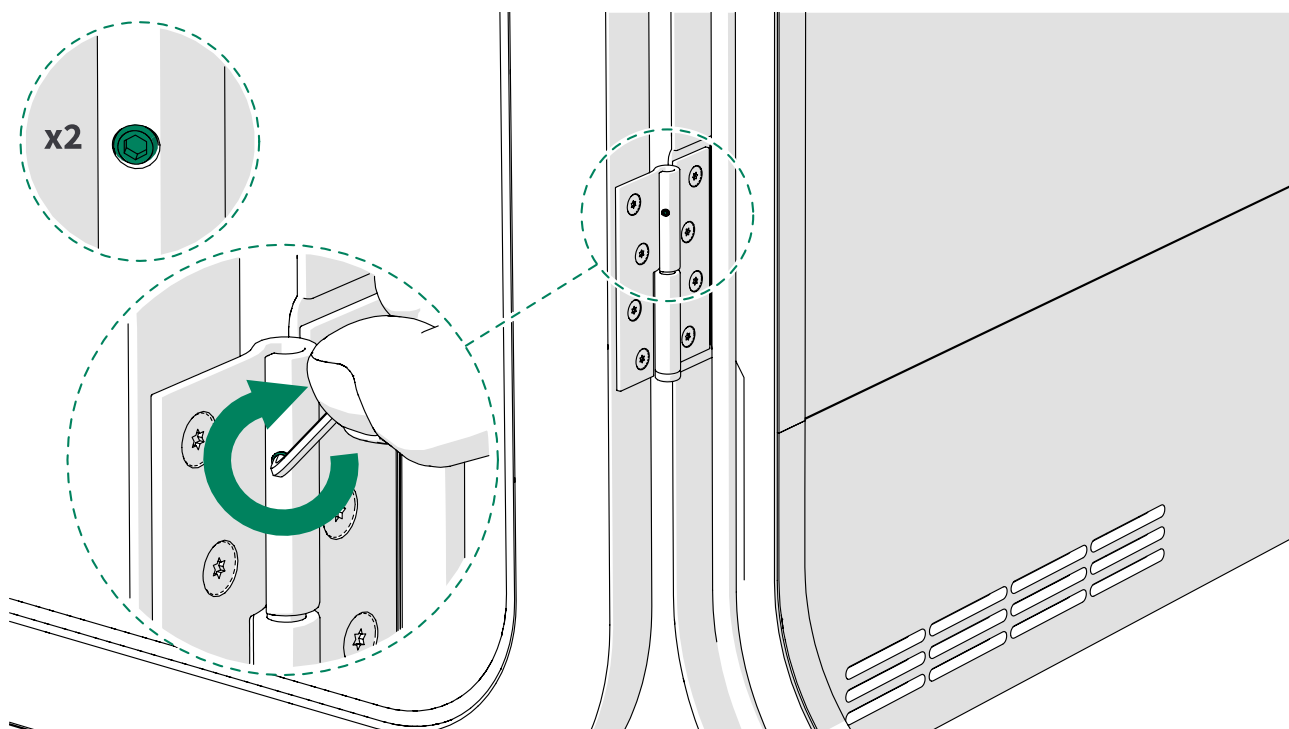
5. 両方のヒンジにかかる荷重が同じになるように、下側のヒンジの高さ設定を適宜調整してください。時計回りに回すと設定値が上がり、反時計回りに回すと設定値が下がります。



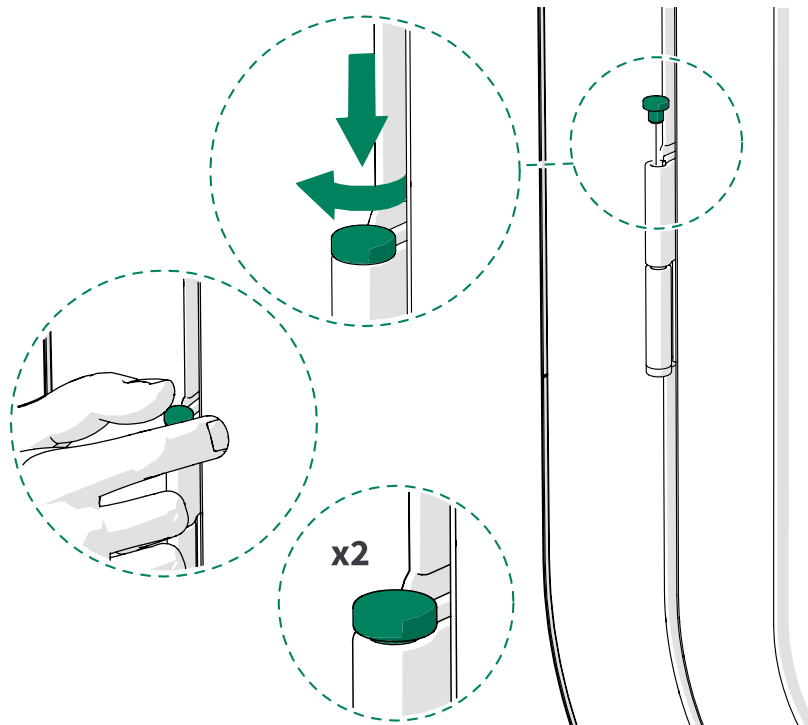
6. ドアが正しい位置にあるか確認してください。



7. ポッドの内側から懐中電灯で照らしてテストしてください。
ドアの継ぎ目から懐中電灯の光が差し込む場合は、ドアを調整してください。
8. 必要に応じて手順4～6を繰り返してください。
9. ドアを閉めてください。
10. 調整が完了したら、ドアを開けてセットスクリューを締めてください。
- ❗ 注：両方のヒンジが同じ高さの設定になっているか確認してください。

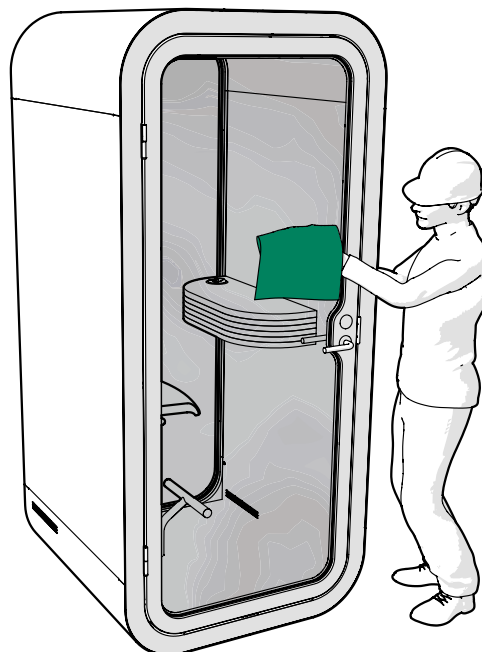


11. 両方のヒンジにキャップを取り付けてください。

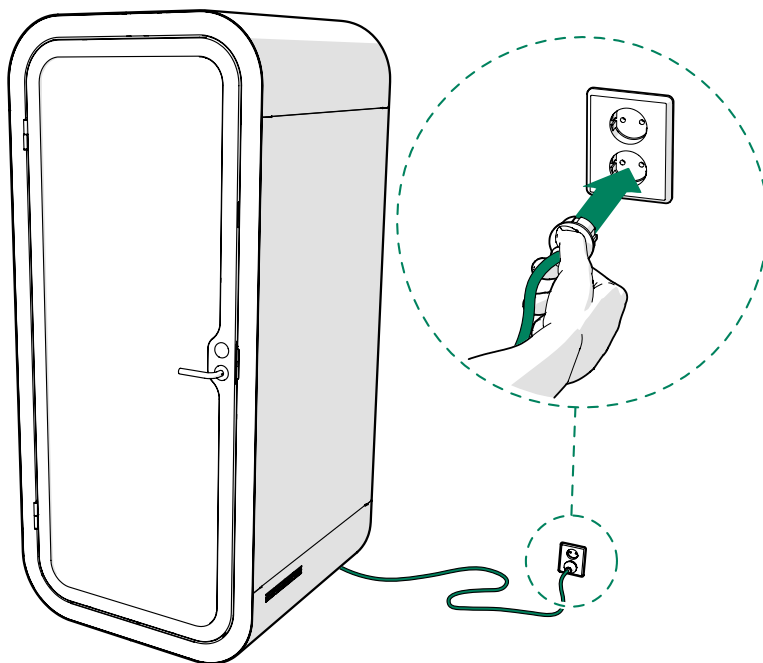


15.3 設置完了

1. 外側と内側の表面を、アルコール系の低刺激性の洗浄液と糸くずの出ない布で洗浄してください。



2. 電源コードを接続してください。



3. 保証書チェックシートに必要事項を記入し、Frameryに送付してください。

❗ 注：保証書は、記入済みの保証書チェックリストがある場合のみ有効です。



16 火災報知器の音を聞こえやすくする方法

火災警報器をポッド内で65dBの音量で聞かせる必要がある場合は、以下の作業を行ってください。

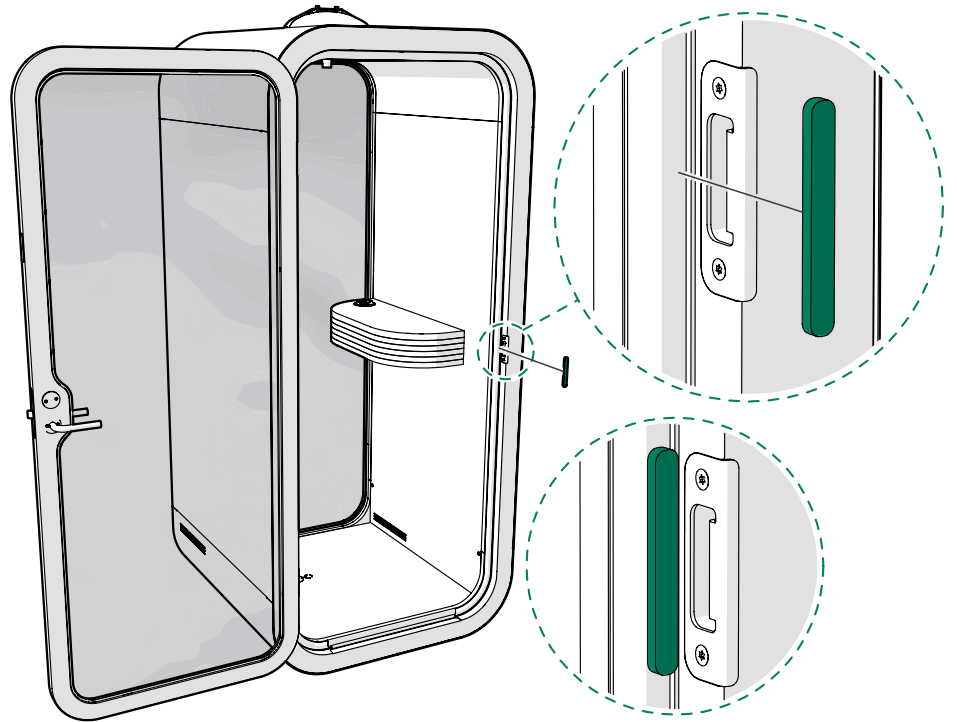
❗ 注：この作業を行うと、ポッドの吸音性が弱くなります。

1. 敷居カバー部分を残した状態でドアシールに切り込みを入れ、周りの部分を取り外してください。

❗ 注：敷居カバー部分のドアシールは取り外さないでください。



2. ゴム製スペーサーを、ストライクプレートの隣のドアフレームに取り付けてください。



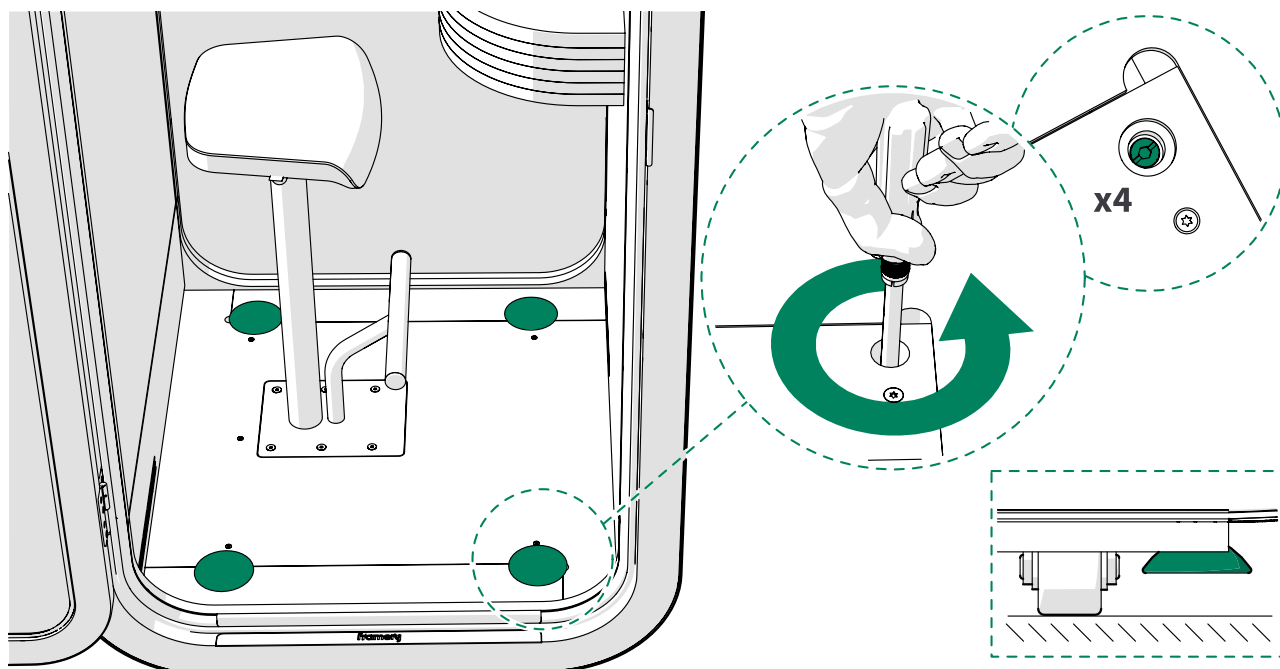
17 ポッドの移動 (別売)

カーペットを取り外してください。

⚠ 警告： 怪我の危険性があります。ポッドがキャスターのみで立っているときは、ポッドの中に入らないでください。

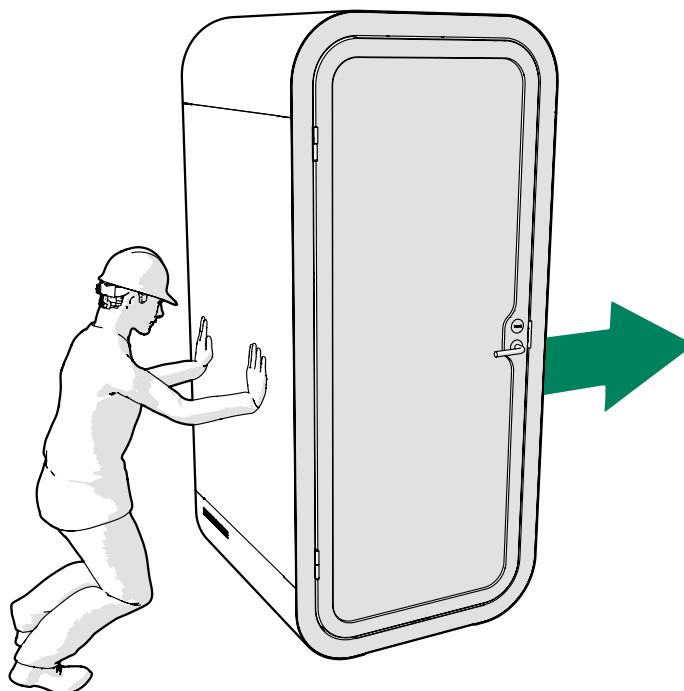
1. 水平調節脚 (4本) を6mm～7mmのマイナス ドライバーを使用して徐々にねじ込み、ポッドがキャスターの上に立つようにしてください。

① ヒント： 水平調節脚用ネジを回すのが硬い場合は、調節している脚に最も近い隅からポッドを一人で押してみてください。



2. ポッドを慎重に押して、新しい場所に移動してください。

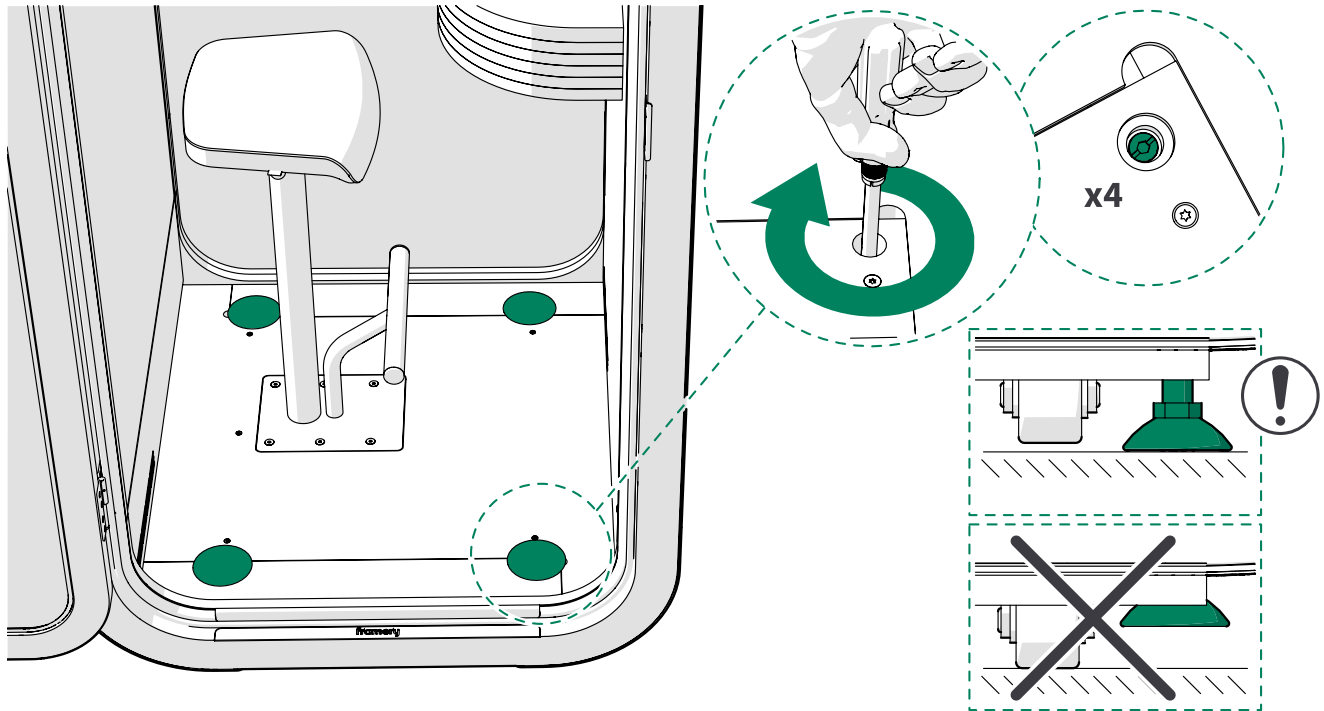
- ① 注：ポッドを垂直方向の真ん中より下に押すだけで、牽引してはいけません。
- ① 注：ポッドは歩行速度でのみ移動してください。
- ① 注：平らな場所だけでポッドを移動させてください。高さ**3mm**以上のものを越えないでください。



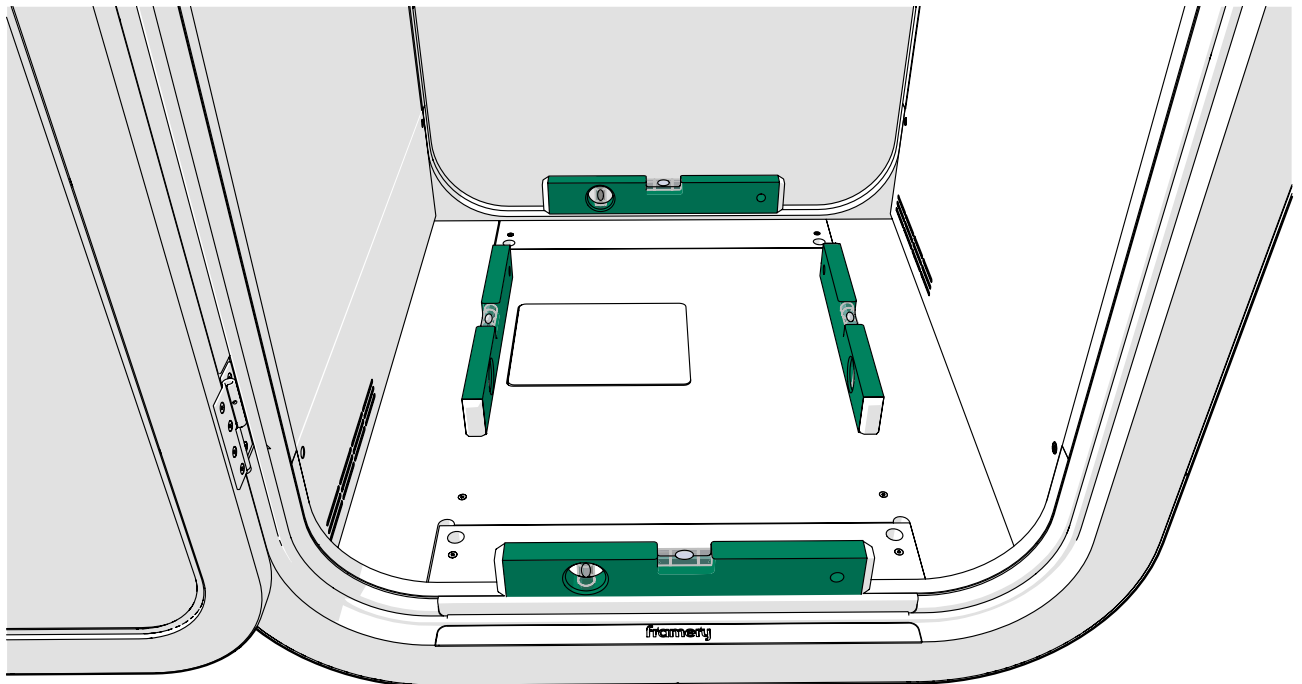
3. 6mm～7mmのマイナス ドライバーを使用して、水平調節脚 (4本) を徐々にねじ込んでください。

水平調節脚がキャスターよりも少し高く出ているのを確認してください。水平調節脚が床に届いたら、調節ネジを回すのが重くなります。

- ① ヒント：水平調節脚用ネジを回すのが硬い場合は、調節している脚に最も近い隅からポッドを一人で押してみてください。



4. 床を水平にし、水平調節脚を最終的な位置までねじ込んでください。
水平調節脚がキャスターよりも少し高く出ているのを確認してください。



5. カーペットを敷いてください。

framery

Framery O Japan

の設置方法

Patamäenkatu 7

33900 Tampere

FINLAND

VAT: FI 23527139